

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	PART1 基礎編 UNIT1 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
2	UNIT2 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
3	UNIT3 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
4	UNIT4 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
5	UNIT4 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
6	UNIT5 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
7	UNIT5 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
8	P161㊸擬音語・擬態語 P162 ㊹カタカナ語 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
9	P173復習&発展ドリル 第1回 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
10	UNIT6 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
11	UNIT6 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
12	PART2 対策編 UNIT1 Ex1～3 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
13	【総復習】 U1～U6の問題ページ を幾つかコピーして配布。再チャレンジ！ 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
14	【総復習】 前回していない問題 ページを幾つかコピーして配布。 + 試験案内 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。	
15	期末試験 週間テスト 復習	期末試験を行い理解度を確認する。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	テキスト23、24課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
17	第3回実践練習、復習 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
18	テキスト25、26課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
19	テキスト27、28課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN2の文字語彙の定着度を感じる。	
20	テキスト29、30課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN3の文字語彙の定着度を感じる。	
21	テキスト31、32課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN4の文字語彙の定着度を感じる。	
22	第4回実践練習、復習、調整 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN5の文字語彙の定着度を感じる。	
23	テキスト33、34課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN6の文字語彙の定着度を感じる。	
24	テキスト35、36課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN7の文字語彙の定着度を感じる。	
25	テキスト37、38課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN8の文字語彙の定着度を感じる。	
26	テキスト39、40課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN9の文字語彙の定着度を感じる。	
27	第5回実践練習、復習、調整 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
28	テキスト41、42課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
29	テキスト43、44課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
30	テキスト45、46課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
31	期末試験 週間テスト	期末試験を行い理解度を確認する。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
32	テキスト47、48課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習 I B（聴解）	学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース 1 年制・2 年制）
学年	1	時限	64 時限

【授業内容・到達目標】
日本語能力試験のN1に合格するための聴解の能力を身につける。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
日本語能力試験 N1

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
日本語能力試験問題集N1聴解 スピードマスター 日本語総まとめ聴解N1
日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解 ニュースの日本語 聴解 50

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	課題理解（p16～17）	課題理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	課題理解
2	ポイント理解（p27～29）	ポイント理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	ポイント理解
3	概要理解（p37）	概要理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	概要理解
4	即時応答（p38）	即時応答の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	即時応答
5	統合理解（p39）	統合理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	統合理解
6	JLPT模試のフィードバック	JLPT模試の問題を振り返り、知識や正答のコツを習得する。	
7	JLPT模試のフィードバック	JLPT模試の問題を振り返り、知識や正答のコツを習得する。	
8	第1回模擬試験（前半）	JLPTの模擬試験を行い、知識や正答のコツを習得する。	
9	第1回模擬試験（後半）	JLPTの模擬試験を行い、知識や正答のコツを習得する。	
10	ポイント理解（p30～31）	ポイント理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
11	概要理解（p37）	概要理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
12	即時応答（p38）	即時応答の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
13	課題理解（p18～20）	課題理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
14	ポイント理解（p32～33）	ポイント理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
15	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
17	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
18	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
19	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
20	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
21	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解 模擬P82～	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
22	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解 模擬P82～	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
23	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
24	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
25	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
26	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
27	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
28	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
29	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
30	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
31	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	
32	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習 IC（読解、文法）
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	128時限

【授業内容・到達目標】
日本語能力試験のN1に合格するための読解の能力と文法の知識、能力を身につける。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
日本語能力試験 N1

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】						
<table border="0"> <tr> <td>新完全マスターN1 文法（前期）</td> <td>日本語能力試験 徹底トレーニング N1 文法（後期）</td> </tr> <tr> <td>読解攻略 日本語能力試験N1（前期）</td> <td>留学生のための 時代を読み解く上級日本語（前期）</td> </tr> <tr> <td>日本語能力試験N1読解 必須パターン（後期）</td> <td>日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解(40日完成)（後期）</td> </tr> </table>	新完全マスターN1 文法（前期）	日本語能力試験 徹底トレーニング N1 文法（後期）	読解攻略 日本語能力試験N1（前期）	留学生のための 時代を読み解く上級日本語（前期）	日本語能力試験N1読解 必須パターン（後期）	日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解(40日完成)（後期）
新完全マスターN1 文法（前期）	日本語能力試験 徹底トレーニング N1 文法（後期）					
読解攻略 日本語能力試験N1（前期）	留学生のための 時代を読み解く上級日本語（前期）					
日本語能力試験N1読解 必須パターン（後期）	日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解(40日完成)（後期）					

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	第1部1課 『読解攻略 日本語能力試験N1』はじめの4題 ガイダンス	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
2	第1部2課 先週の解説 語を問う問題（P12）	Step1:指示 テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
3	第1部3課 Step1:続き	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
4	第1部4課 Step2:キーワードの穴埋め Step3:句や文の穴埋め問題	Step3:句や文 テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
5	問題（1課～4課）総復習+ 文作 Step4:下線部の意味を問う問題 Step5:下線部の理由を問う問題	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
6	第1部5課 JLPT模試のフィードバック	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT模試の問題を振り返り、解き方のコツを習得する。	
7	第1部6課 JLPT模試のフィードバック	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT模試の問題を振り返り、解き方のコツを習得する。	
8	第1部7課 Step6:全体を問う問題、 率をチェックP40	短文正答 テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
9	第1部8課 模擬試験 第1回	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPTの模擬試験を行い、解き方のコツを習得する。	
10	問題（1課～8課）総復習+文作	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。	
11	第1部9課 『留学生のための 時代を読み解く上級日本語』 1, 遠距離結婚P8～	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
12	第1部10課 1, 遠距離結婚P8～	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
13	第1部11課 A.説明文 P43-P53	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
14	第1部12課 A.説明文 P54-P59	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
15	問題（9課～12課）総復習+文作 期末試験	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 期末試験を行い理解度を確認する。	
16	期末試験	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。	

週目		学習目標	キーワード
17	N1 文法練習問題1 (P190) PART2 対策編 第2章 実 戦練習 UNIT 内容理解 (短文) p140~	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
18	N1 文法練習問題2 (P193) UNIT2 内容理解 (中文)	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
19	第1回実践問題 (P246) UNIT3 内容理解 (長文)	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
20	第14回練習問題、29~33 UNIT4 統合理解に挑戦	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
21	第15回練習問題、34~37 第7回、第8 回復テスト UNIT5 主張理解 (長文) に挑戦	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
22	第16回練習問題、38~41 UNIT6 情報検索に挑戦	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
23	第17回練習問題、42~45 第18回練習 問題、46~48 日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解(40日 完成)	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
24	第19回練習問題、49~52 第9回、第10回 復習テスト ①主張理解 N1 ②情報検索 N1	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
25	第20回練習問題、53~56 第21回練習 問題、57~60 復習	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
26	第22回練習問題、61~64 第11回復習テス ト 日本語能力試験N1読解 必須パターン PART1 基礎編 第2章 長	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
27	第23回練習問題、65~69 第12回復習テスト PART1 基礎編 第2章 長文 A UNIT 1	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
28	第24回練習問題、70~73 第25回練習 問題、74~77 PART1 基礎編 第2章 長 文 A UNIT 2	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	論説
29	第13回、14回復習テスト+復習 PART1 基礎編 第2章 長 文B UNIT 1	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	エッセイ
30	第26回練習問題、1~11 PART1 基礎編 第2章 長 文B UNIT 1	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	エッセイ
31	第28回練習問題、1~8 PART1 基礎編 第2章 長 文B UNIT 2	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	小説
32	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習ⅡA（文字・語彙）
学年	2

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	128時限

【授業内容・到達目標】
日本語能力試験のN1に合格するための文字語彙の知識を身につける。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
日本語能力試験 N1

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
日本語能力試験N1語彙 必須パターン（前期） スピードマスターN1語彙（後期）
オリジナル教材 週間テストN1

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	PART1 基礎編 UNIT1 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
2	UNIT2 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
3	UNIT3 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
4	UNIT4 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
5	UNIT4 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
6	UNIT5 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
7	UNIT5 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
8	P161㊸擬音語・擬態語 P162 ㊹カタカナ語 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
9	P173復習&発展ドリル 第1回 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
10	UNIT6 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
11	UNIT6 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
12	PART2 対策編 UNIT1 Ex1～3 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
13	【総復習】 U1～U6の問題ページ を幾つかコピーして配布。再チャレンジ! 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
14	【総復習】 前回していない問題 ページを幾つかコピーして配布。 + 試験案内 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。	
15	期末試験 週間テスト 復習	期末試験を行い理解度を確認する。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	テキスト23、24課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
17	第3回実践練習、復習 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
18	テキスト25、26課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN1の文字語彙の定着度を感じる。	
19	テキスト27、28課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN2の文字語彙の定着度を感じる。	
20	テキスト29、30課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN3の文字語彙の定着度を感じる。	
21	テキスト31、32課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN4の文字語彙の定着度を感じる。	
22	第4回実践練習、復習、調整 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN5の文字語彙の定着度を感じる。	
23	テキスト33、34課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN6の文字語彙の定着度を感じる。	
24	テキスト35、36課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN7の文字語彙の定着度を感じる。	
25	テキスト37、38課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN8の文字語彙の定着度を感じる。	
26	テキスト39、40課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN9の文字語彙の定着度を感じる。	
27	第5回実践練習、復習、調整 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
28	テキスト41、42課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
29	テキスト43、44課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
30	テキスト45、46課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
31	期末試験 週間テスト	期末試験を行い理解度を確認する。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	
32	テキスト47、48課 週間テスト	テキストに出てきた語彙を正確に運用できるようになる。 確認テストを通じてN10の文字語彙の定着度を感じる。	

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	課題理解（p16～17）	課題理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	課題理解
2	ポイント理解（p27～29）	ポイント理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	ポイント理解
3	概要理解（p37）	概要理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	概要理解
4	即時応答（p38）	即時応答の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	即時応答
5	統合理解（p39）	統合理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	統合理解
6	JLPT模試のフィードバック	JLPT模試の問題を振り返り、知識や正答のコツを習得する。	
7	JLPT模試のフィードバック	JLPT模試の問題を振り返り、知識や正答のコツを習得する。	
8	第1回模擬試験（前半）	JLPTの模擬試験を行い、知識や正答のコツを習得する。	
9	第1回模擬試験（後半）	JLPTの模擬試験を行い、知識や正答のコツを習得する。	
10	ポイント理解（p30～31）	ポイント理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
11	概要理解（p37）	概要理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
12	即時応答（p38）	即時応答の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
13	課題理解（p18～20）	課題理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
14	ポイント理解（p32～33）	ポイント理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
15	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
17	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
18	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
19	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
20	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
21	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解 模擬P82～	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
22	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解 模擬P82～	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
23	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
24	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
25	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
26	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
27	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
28	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
29	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
30	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
31	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	
32	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習ⅡC（読解、文法）
学年	2

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	128時限

【授業内容・到達目標】
日本語能力試験のN1に合格するための読解の能力と文法の知識、能力を身につける。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
日本語能力試験 N1

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】						
<table> <tr> <td>新完全マスターN1 文法（前期）</td> <td>日本語能力試験 徹底トレーニング N1 文法（後期）</td> </tr> <tr> <td>読解攻略 日本語能力試験N1（前期）</td> <td>留学生のための 時代を読み解く上級日本語（前期）</td> </tr> <tr> <td>日本語能力試験N1読解 必須パターン（後期）</td> <td>日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解(40日完成)（後期）</td> </tr> </table>	新完全マスターN1 文法（前期）	日本語能力試験 徹底トレーニング N1 文法（後期）	読解攻略 日本語能力試験N1（前期）	留学生のための 時代を読み解く上級日本語（前期）	日本語能力試験N1読解 必須パターン（後期）	日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解(40日完成)（後期）
新完全マスターN1 文法（前期）	日本語能力試験 徹底トレーニング N1 文法（後期）					
読解攻略 日本語能力試験N1（前期）	留学生のための 時代を読み解く上級日本語（前期）					
日本語能力試験N1読解 必須パターン（後期）	日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解(40日完成)（後期）					

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	第1部1課 『読解攻略 日本語能力試験N1』 はじめの4題 ガイダンス	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
2	第1部2課 先週の解説 Step1:指示語を問う問題（P12）	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
3	第1部3課 Step1:続き	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
4	第1部4課 Step2:キーワードの穴埋め Step3:句や文の穴埋め問題	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
5	問題（1課～4課）総復習+ 文作 Step4:下線部の意味を問う問題 Step5:下線部の理由を問う問題	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
6	第1部5課 JLPT模試のフィードバック	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT模試の問題を振り返り、解き方のコツを習得する。	
7	第1部6課 JLPT模試のフィードバック	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT模試の問題を振り返り、解き方のコツを習得する。	
8	第1部7課 Step6:全体を問う問題、 短文正答率をチェックP40	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
9	第1部8課 模擬試験 第1回	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPTの模擬試験を行い、解き方のコツを習得する。	
10	問題（1課～8課）総復習+ 文作	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。	
11	第1部9課 『留学生のための 時代 を読み解く上級日本語』1, 遠距離 結婚P8～	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
12	第1部10課 1, 遠距離結婚P8～	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
13	第1部11課 A.説明文 P43-P53	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
14	第1部12課 A.説明文 P54-P59	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
15	問題（9課～12課）総復習+文作 期末試験	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 期末試験を行い理解度を確認する。	
16	期末試験	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。	

週目		学習目標	キーワード
17	N1文法練習問題1 (P190) PART2 対策編 第2章 実戦練習 UNIT	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
18	N1文法練習問題2 (P193) UNIT2 内容理解 (中文)	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
19	第1回実践問題 (P246) UNIT3 内容理解 (長文)	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
20	第14回練習問題、29～33 UNIT4 統合理解に挑戦	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
21	第15回練習問題、34～37 第7回、第8回復習テスト UNIT5 主張理解 (長文) に挑戦	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
22	第16回練習問題、38～41 UNIT6 情報検索に挑戦	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
23	第17回練習問題、42～45 第18回練習問題、46～48 日本語能力試験N1・N2 試験に出	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
24	第19回練習問題、49～52 第9回、第10回復習テスト ①主張理解 N1 ②情	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
25	第20回練習問題、53～56 第21回練習問題、57～60 復習	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
26	第22回練習問題、61～64 第11回復習テスト 日本語能力試験N1読解 必	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
27	第23回練習問題、65～69 第12回復習テスト PART1 基礎編	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
28	第24回練習問題、70～73 第25回練習問題、74～77 PART1 基礎編	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	論説
29	第13回、14回復習テスト+復習 PART1 基礎編 第2章 長文B UNIT1	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	エッセイ
30	第26回練習問題、1～11 PART1 基礎編 第2章 長文B UNIT1	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	エッセイ
31	第28回練習問題、1～8 PART1 基礎編 第2章 長文B UNIT2	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	小説
32	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	

授業計画（シラバス）

科目名	総合学習 I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>自分の考えや意見をアウトプットできるようになる。 また、自分の意見考えを受験の面接で話せるようになる。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>原稿用紙</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス 自己紹介（1分）	授業について、目的、進め方、なぜ必要なのか、面接のポイントを理解する。 簡単な自己紹介ができる。	
2	今年の目標 （そのために必要なこととともに）	発表の準備として原稿を書くことができる。	目標 抱負
3	今年の目標 （そのために必要なこととともに）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	目標 抱負
4	母国の大学ではなく日本の大学で学ぶ理由	発表の準備として原稿を書くことができる。	専攻
5	母国の大学ではなく日本の大学で学ぶ理由	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	専攻
6	大学で学びたいこと	発表の準備として原稿を書くことができる。	専攻
7	大学で学びたいこと	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	専攻
8	大学卒業後の予定	発表の準備として原稿を書くことができる。	就職
9	大学卒業後の予定	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	就職
10	受験までに行うべきこと	発表の準備として原稿を書くことができる。	予定
11	受験までに行うべきこと	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	予定
12	第一志望の大学を選んだ理由	発表の準備として原稿を書くことができる。	志望校 専攻
13	第一志望の大学を選んだ理由	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	志望校 専攻
14	期末試験（話す） 「第一志望の大学を選んだ理由」	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	志望校 専攻

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
15	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディスカッションを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張し、話し合って意見を深めることができる。	
16	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
17	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
18	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディベートを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張することができる。	
19	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
20	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
21	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディスカッションを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張し、話し合って意見を深めることができる。	
22	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
23	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
24	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディベートを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張することができる。	
25	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
26	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
27	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディスカッションを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張し、話し合って意見を深めることができる。	
28	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
29	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
30	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディベートを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張することができる。	
31	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	

32	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
----	--------------------	------------------------------	--

授業計画（シラバス）

科目名	総合学習Ⅱ
学年	2

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>自分の考えや意見をアウトプットできるようになる。 また、自分の意見考えを受験の面接で話せるようになる。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>原稿用紙</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス 自己紹介（1分）	授業について、目的、進め方、なぜ必要なのか、面接のポイントを理解する。 簡単な自己紹介ができる。	
2	今年の目標 （そのために必要なこととともに）	発表の準備として原稿を書くことができる。	目標 抱負
3	今年の目標 （そのために必要なこととともに）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	目標 抱負
4	母国の大学ではなく日本の大学で学ぶ理由	発表の準備として原稿を書くことができる。	専攻
5	母国の大学ではなく日本の大学で学ぶ理由	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	専攻
6	大学で学びたいこと	発表の準備として原稿を書くことができる。	専攻
7	大学で学びたいこと	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	専攻
8	大学卒業後の予定	発表の準備として原稿を書くことができる。	就職
9	大学卒業後の予定	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	就職
10	受験までに行うべきこと	発表の準備として原稿を書くことができる。	予定
11	受験までに行うべきこと	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	予定
12	第一志望の大学を選んだ理由	発表の準備として原稿を書くことができる。	志望校 専攻
13	第一志望の大学を選んだ理由	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	志望校 専攻
14	期末試験（話す） 「第一志望の大学を選んだ理由」	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	志望校 専攻

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
15	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディスカッションを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張し、話し合って意見を深めることができる。	
16	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
17	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
18	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディベートを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張することができる。	
19	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
20	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
21	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディスカッションを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張し、話し合って意見を深めることができる。	
22	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
23	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
24	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディベートを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張することができる。	
25	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
26	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
27	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディスカッションを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張し、話し合って意見を深めることができる。	
28	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
29	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	
30	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについてディベートを行い、相手の意見を聞きながら自分の意見を主張することができる。	
31	受験について（担当教員が自由に設定）	発表の準備として原稿を書くことができる。	
32	受験について（担当教員が自由に設定）	テーマについて、ポイントを押さえて発表することができる。	

授業計画（シラバス）

科目名	グループ研究ゼミ I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>座学では身に着けられない能力（自主性、積極性、創造性、協調性、コミュニケーション能力、実行力など）を養い、クラス全員で協力する。自分で考えて自分で行動する。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>ノート</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>ノート（PW冊子）</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス 発表テーマを考える	座学とこの授業の違いを理解する。 ノート（PW冊子）の役割を理解する。	
2	テーマの再説明	授業の意図、目的を再確認し理解を深める。	
3	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
4	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
5	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
6	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
7	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
8	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
9	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
10	リハーサル順番決める	発表の準備をする。	
11	リハーサル	発表の準備をする。	
12	予備日	発表の準備をする。	
13	発表	発表をする。	
14	予備日・提出		

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
15	ガイダンス（前期の復習） 発表テーマを考える	授業の意図、目的を再確認し理解を深める。	
16	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
17	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
18	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
19	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
20	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
21	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
22	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
23	発表（1回目）	発表の準備をする。	
24	発表（1回目）	発表の準備をする。	
25	予備日	発表の準備をする。	
26	フィードバック/修正	1回目の発表を振り返り、2回目の発表に向けて修正する。	
27	発表（2回目）	発表の準備をする。	
28	発表（2回目）	発表の準備をする。	
29	予備日	発表の準備をする。	
30	再構築	2回目の発表を振り返り、最終版に向けて修正する。	
31	再構築	2回目の発表を振り返り、最終版に向けて修正する。	
32	提出		

授業計画（シラバス）

科目名	グループ研究ゼミⅡ	学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
学年	2	時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>座学では身に着けられない能力（自主性、積極性、創造性、協調性、コミュニケーション能力、実行力など）を養い、クラス全員で協力する。自分で考えて自分で行動する。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>ノート</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>ノート（PW冊子）</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス 発表テーマを考える	座学とこの授業の違いを理解する。 ノート（PW冊子）の役割を理解する。	
2	テーマの再説明	授業の意図、目的を再確認し理解を深める。	
3	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
4	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
5	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
6	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
7	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
8	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
9	プロジェクト進める	発表の準備をする。	
10	リハーサル順番決める	発表の準備をする。	
11	リハーサル	発表の準備をする。	
12	予備日	発表の準備をする。	
13	発表	発表をする。	
14	予備日・提出		

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
15	ガイダンス（前期の復習） 発表テーマを考える	授業の意図、目的を再確認し理解を深める。	
16	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
17	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
18	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
19	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
20	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
21	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
22	プロジェクトを進める	発表の準備をする。	
23	発表（1回目）	発表の準備をする。	
24	発表（1回目）	発表の準備をする。	
25	予備日	発表の準備をする。	
26	フィードバック/修正	1回目の発表を振り返り、2回目の発表に向けて修正する。	
27	発表（2回目）	発表の準備をする。	
28	発表（2回目）	発表の準備をする。	
29	予備日	発表の準備をする。	
30	再構築	2回目の発表を振り返り、最終版に向けて修正する。	
31	再構築	2回目の発表を振り返り、最終版に向けて修正する。	
32	提出		

授業計画（シラバス）

科目名	日本文化論演習 I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>世の中に関心を持つ。 ニュースの内容が理解できる。 ニュースの内容が要約できる。 ニュースについて、自分の意見を言うことができる。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>新聞記事、インターネットニュース</p> <p>ノート</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス	この授業の意図、目的、なぜ重要なのか、評価方法などの説明を理解する。 新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
2	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
3	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
4	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
5	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
6	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
7	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
8	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
9	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
10	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
11	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
12	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
13	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
14	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
15	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
16	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	夏休みの間に気になった新聞記事→ 発表→意見交換	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
18	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
19	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
20	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
21	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
22	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
23	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
24	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
25	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
26	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
27	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
28	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
29	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
30	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
31	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
32	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	

授業計画（シラバス）

科目名	日本文化論演習Ⅱ
学年	2

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>世の中に関心を持つ。 ニュースの内容が理解できる。 ニュースの内容が要約できる。 ニュースについて、自分の意見を言うことができる。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>新聞記事、インターネットニュース</p> <p>ノート</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス	この授業の意図、目的、なぜ重要なのか、評価方法などの説明を理解する。 新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
2	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
3	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
4	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
5	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
6	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
7	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
8	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
9	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
10	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
11	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
12	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
13	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
14	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
15	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	
16	発表⇒まとめ⇒意見交換⇒解説	新聞記事を要約し意見を述べることができる。	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	夏休みの間に気になった新聞記事→ 発表→意見交換	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
18	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
19	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
20	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
21	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
22	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
23	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
24	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
25	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
26	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
27	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
28	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
29	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
30	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
31	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	
32	発表→まとめ→意見交換→解説	新聞記事を要約し意見を述べるができる。	

授業計画（シラバス）

科目名	小論文 I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>日本留学試験の日本語記述で40点以上を獲得するための能力を身につける。 大学入試の小論文で高得点を獲得するための能力を身につける。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU記述40点以上</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>大学生になるための文章表現練習帳 記述問題テーマ100（完成版） 留学試験記述過去問 大学過去問</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス 「日本の大学に行きたい理由」	「小論文」と「作文」の違いを理解する。 EJUで求められる記述とその理由・受験で小論文を求められる理由を理解する。 出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
2	大学生のための文章表現練習帳 第2課（前半）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
3	大学生のための文章表現練習帳 第2課（後半）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
4	記述問題テーマ100 P4（EJUの筆記の説明）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。 EJUの出題形式に慣れ、EJU記述のコツをつかむ。	
5	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、EJU記述のコツをつかむ。	
6	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、EJU記述のコツをつかむ。	
7	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、EJU記述のコツをつかむ。	
8	大学生のための文章表現練習帳 第3課（前半）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
9	大学生のための文章表現練習帳 第3課（後半）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
10	大学生のための文章表現練習帳 第4課	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
11	大学生のための文章表現練習帳 第4課 グループワーク	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
12	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
13	期末試験	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
14	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
15	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
16	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
17	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、E J U記述のコツをつかむ。	
18	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、E J U記述のコツをつかむ。	
19	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、E J U記述のコツをつかむ。	
20	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
21	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
22	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
23	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
24	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
25	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
26	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
27	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
28	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
29	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
30	期末試験	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
31	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
32	振り返り	学んだことを振り返り、実力を確認する。	

授業計画（シラバス）

科目名	小論文Ⅱ
学年	2

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>日本留学試験の日本語記述で40点以上を獲得するための能力を身につける。 大学入試の小論文で高得点を獲得するための能力を身につける。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU記述40点以上</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>大学生になるための文章表現練習帳 記述問題テーマ100（完成版） 留学試験記述過去問 大学過去問</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス 「日本の大学に行きたい理由」	「小論文」と「作文」の違いを理解する。 EJUで求められる記述とその理由・受験で小論文を求められる理由を理解する。 出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
2	大学生のための文章表現練習帳 第2課（前半）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
3	大学生のための文章表現練習帳 第2課（後半）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
4	記述問題テーマ100 P4（EJUの筆記の説明）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。 EJUの出題形式に慣れ、EJU記述のコツをつかむ。	
5	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、EJU記述のコツをつかむ。	
6	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、EJU記述のコツをつかむ。	
7	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、EJU記述のコツをつかむ。	
8	大学生のための文章表現練習帳 第3課（前半）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
9	大学生のための文章表現練習帳 第3課（後半）	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
10	大学生のための文章表現練習帳 第4課	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
11	大学生のための文章表現練習帳 第4課 グループワーク	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
12	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
13	期末試験	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
14	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
15	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
16	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
17	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、E J U記述のコツをつかむ。	
18	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、E J U記述のコツをつかむ。	
19	EJU記述過去問	EJUの出題形式に慣れ、E J U記述のコツをつかむ。	
20	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
21	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
22	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
23	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
24	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
25	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
26	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
27	記述問題テーマ100 (完成版)	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
28	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
29	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
30	期末試験	出題の意図をくみ取り、深い論述ができる。	
31	大学過去問	大学過去問を実際に解き、実力を確認する。	
32	振り返り	学んだことを振り返り、実力を確認する。	

授業計画（シラバス）

科目名	基礎英語
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
グローバルの時代に対応するため、挨拶や会話などの基本的な英語能力を身につける。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
World Link②: Developing English Fluency

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス 自己紹介 UNIT1 MY LIFE	授業の進め方を確認する。 テキストのVocabularyを理解する。	classmate coworker friennf girlfriend neighbor
2	UNIT1 MY LIFE	テキストのListening とSpeaking を学ぶ。	I'd like to
3	UNIT1 MY LIFE	テキストのGrammar を学ぶ。	always do are ~ing
4	UNIT2 LET'S EAT!	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	delicious frozen sweet tasty spicy yummy
5	UNIT2 LET'S EAT!	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	good sounds good fine with me
6	UNIT3 MYSTERY	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	by chance on purpose more likely to take a chance
7	UNIT3 MYSTERY	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	I bet probably maybe a doubt that
8	UNIT4 TRENDS	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	about approximately almost nearly exactly much a lot
9	UNIT4 TRENDS	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	all most a lot half some none
10	UNIT5 MY NEIGHBORHOOD	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	dish laundry drop of gorcery shopping sweep vacuum
11	UNIT5 MY NEIGHBORHOOD	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	Can you ~ ? Will you ~ ? Could you ~ ?
12	UNIT6 GOALS	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	apply arrange choose consider decide intend plan recommend
13	UNIT6 GOALS	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	I'm sorry I hear that That's too bad How disappointed
14	復習	前期の復習をし、理解度を確認する。	
15	期末試験	期末試験を通じ、知識の定着を確認する。	
16	期末試験のフィードバック 前期のまとめ	学んだことを振り返り、知識の定着を確認する。	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	UNIT7 CELEBRATIONS	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	attend go to host organize
18	UNIT7 CELEBRATIONS	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	Sure, I'd love to That's sounds great
19	UNIT8 ONCE UPON ATIME	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	main character easy to follow predictable contribute
20	UNIT8 ONCE UPON ATIME	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	one day, later, in the end, Really? Oh, no!
21	UNIT9 WORK	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	responsible flexible punctual independently efficient knowledgeable
22	UNIT9 WORK	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	Have you...ed~?
23	UNIT10 STAY IN TOUCH	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	spend time call on get a text
24	UNIT10 STAY IN TOUCH	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	Hi, OO? Can I speak OO? Hang on
25	UNIT11 TECHNOGY	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	advanced affordable durable practical wearable
26	UNIT11 TECHNOGY	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	a lot of peopla say~ Actually, In fact, reality is
27	UNIT12 TRAVEL	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	book ticket apply for~ check in exchange journey travel trip
28	UNIT12 TRAVEL	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	I forgot~ I don't remember must have to have got to
29	調整		
30	期末試験	期末試験を通じ、知識の定着を確認する。	
31	期末試験の復習	学んだことを振り返り、知識の定着を確認する。	
32	1年間のまとめ	1年間学んだことをまとめ、成長を感じる。	

授業計画（シラバス）

科目名	応用英語
学年	2

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
グローバルの時代に対応するため、挨拶や会話などの基本的な英語能力を身につける。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
World Link②: Developing English Fluency

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス 自己紹介 UNIT1 MY LIFE	授業の進め方を確認する。 テキストのVocabularyを理解する。	classmate coworker friennf girlfriend neighbor
2	UNIT1 MY LIFE	テキストのListening とSpeaking を学ぶ。	I'd like to
3	UNIT1 MY LIFE	テキストのGrammar を学ぶ。	always do are ~ing
4	UNIT2 LET'S EAT!	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	delicious frozen sweet tasty spicy yummy
5	UNIT2 LET'S EAT!	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	good sounds good fine with me
6	UNIT3 MYSTERY	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	by chance on purpose more likely to take a chance
7	UNIT3 MYSTERY	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	I bet probably maybe a doubt that
8	UNIT4 TRENDS	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	about approximately almost nearly exactly much a lot
9	UNIT4 TRENDS	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	all most a lot half some none
10	UNIT5 MY NEIGHBORHOOD	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	dish laundry drop of gorcery shopping sweep vacuum
11	UNIT5 MY NEIGHBORHOOD	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	Can you ~ ? Will you ~ ? Could you ~ ?
12	UNIT6 GOALS	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	apply arrange choose consider decide intend plan recommend
13	UNIT6 GOALS	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	I'm sorry I hear that That's too bad How disappointed
14	復習	前期の復習をし、理解度を確認する。	
15	期末試験	期末試験を通じ、知識の定着を確認する。	
16	期末試験のフィードバック 前期のまとめ	学んだことを振り返り、知識の定着を確認する。	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	UNIT7 CELEBRATIONS	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	attend go to host organize
18	UNIT7 CELEBRATIONS	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	Sure, I'd love to That's sounds great
19	UNIT8 ONCE UPON ATIME	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	main character easy to follow predictable contribute
20	UNIT8 ONCE UPON ATIME	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	one day, later, in the end, Really? Oh, no!
21	UNIT9 WORK	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	responsible flexible punctual independently efficient knowledgeable
22	UNIT9 WORK	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	Have you...ed~?
23	UNIT10 STAY IN TOUCH	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	spend time call on get a text
24	UNIT10 STAY IN TOUCH	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	Hi, OO? Can I speak OO? Hang on
25	UNIT11 TECHNOGY	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	advanced affordable durable practical wearable
26	UNIT11 TECHNOGY	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	a lot of peopla say~ Actually, In fact, reality is
27	UNIT12 TRAVEL	テキストのVocabularyとListening を学ぶ。	book ticket apply for~ check in exchange journey travel trip
28	UNIT12 TRAVEL	テキストのSpeakingとGrammar を学ぶ。	I forgot~ I don't remember must have to have got to
29	調整		
30	期末試験	期末試験を通じ、知識の定着を確認する。	
31	期末試験の復習	学んだことを振り返り、知識の定着を確認する。	
32	1年間のまとめ	1年間学んだことをまとめ、成長を感じる。	

授業計画（シラバス）

科目名	キャリアデザイン I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①学生が進路決定できるように様々な知識を伝えていく。（主に進路について：自己分析、受験についての情報、志望理由書、面接）</p> <p>②学生が自発的に行動できるように導く。</p> <p>③学園やクラスへの帰属意識を高め、メンター、講師も巻き込んで、学生同士がお互いに高め合っている雰囲気を作る。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>なし</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・メンターの紹介 ・自己紹介 ・エール学園のルール	エール学園のルールを身につける。	メンター キャリアデザイン CD
2	・面談事前調査票 ・個人目標 ・GWについて	個人面談の準備をする。 GWの過ごし方について学ぶ。	個人面談 個人目標
3	・受験に関する言葉	受験に関する言葉を学び、受験のスケジュールを立てる準備をする。	募集要項 出願 出願資格 専願 併願 資料請求 推薦書
4	・DiSCについて	性格診断を行い、自分について理解する。	自己分析 DiSC
5	・受験に成功した人・失敗した人	受験に成功した人・失敗した人の経験から、合格するために必要なことを学ぶ。	面接対策 受験準備
6	・受験のスケジュール	受験のスケジュールを自分で作成し、道筋を明確にする。	オープンキャンパス 志望理由書 資料請求
7	・校外学習について①	校外学習の意義とルールを学ぶ。	校外学習 クラスコミュニティ
8	・校外学習について②	校外学習を振り返って、学んだことを共有し学びを深める。	校外学習 クラスコミュニティ
9	・オープンキャンパスについて ・進路オリエンについて①	オープンキャンパスに参加する意義を学ぶ。 進路オリエンテーションについて学ぶ。	オープンキャンパス 説明会 オリエンテーション
10	・進路オリエンについて②	進路オリエンテーションを振り返って、仕入れた情報を共有し知識を深める。	オリエンテーション 説明会
11	・国際交流祭について①	国際交流祭の意義を学ぶ。 国際交流祭の準備をする。	国際交流祭 クラスコミュニティ
12	・国際交流祭について② ・講師アンケート	国際交流祭を振り返って、感じたことを共有し学びを深める。	国際交流祭 クラスコミュニティ
13	・志望理由書について① ・夏休みにやることの確認	志望理由書について学び、進路決定に活かす。 夏休みを有意義に過ごすための心構えを学ぶ。	志望理由書 自己管理
14	・志望理由書について②	志望理由書についてフィードバックし進路決定に活かす。	志望理由書
15	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	・面接のマナー ・面接でよく聞かれる質問について	面接のマナーを理解する。 面接でよく聞かれる質問を確認し、進路決定に活かす。	面接 面接官 控室 マナー 志望理由
17	・面接前の確認	面接直前にやるべきことを理解する。	面接
18	・面接で気をつけること	面接の際に注意することを理解する。	面接
19	・自己PRについて ・JLPT模試について	面接官に自己PRできるようになる。	自己PR 強み 弱み
20	・自己PRの発表 ・受験報告書について	面接官に自己PRする練習をし、進路決定に活かす。 先輩が書いた受験報告書を読み、知識を身につける。	自己PR 強み 弱み 受験報告書
21	・留学について考える	留学のきっかけや意味について考え、自己分析を深める。	留学 自己分析
22	・今までの自分	今までの自分について振り返り、自己分析を深める。	自己分析
23	・これからの自分	これからの自分について考え、自己分析を深める。	自己分析 目標 将来像
24	・在留資格の取消	ビザのルールについて学び、留学生としての意識を高める。	ビザ 留学生 在留資格 入国管理局 不法滞在
25	・地域清掃について（導入）	地域清掃などの地域貢献活動の意義を学ぶ。	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
26	・地域清掃について（実施）	地域清掃などの地域貢献活動をしやりがいを感じる。	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
27	・地域清掃について（振り返り）	地域清掃などの地域貢献活動を通じて学んだことをまとめ共有し、学びを深める。	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
28	・冬休みについて ・年賀状を作ろう	冬休みを有意義に過ごすための心構えを学ぶ。 お世話になった人への年賀状を作成し、支えてくれた周りの人々の思いに気付く。	自己管理 年賀状
29	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	
30	・エール学園の思い出	エール学園の思い出について振り返り、卒業後の生活につなげる。	思い出
31	自由		
32	自由		

授業計画（シラバス）

科目名	キャリアデザインⅡ
学年	2

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①学生が進路決定できるように様々な知識を伝えていく。（主に進路について：自己分析、受験についての情報、志望理由書、面接）</p> <p>②学生が自発的に行動できるように導く。</p> <p>③学園やクラスへの帰属意識を高め、メンター、講師も巻き込んで、学生同士がお互いに高め合っている雰囲気を作る。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>なし</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・メンターの紹介 ・自己紹介 ・エール学園のルール	エール学園のルールを身につける。	メンター キャリアデザイン CD
2	・面談事前調査票 ・個人目標 ・GWについて	個人面談の準備をする。 GWの過ごし方について学ぶ。	個人面談 個人目標
3	・受験に関する言葉	受験に関する言葉を学び、受験のスケジュールを立てる準備をする。	募集要項 出願 出願資格 専願 併願 資料請求 推薦書
4	・DiSCについて	性格診断を行い、自分について理解する。	自己分析 DiSC
5	・受験に成功した人・失敗した人	受験に成功した人・失敗した人の経験から、合格するために必要なことを学ぶ。	面接対策 受験準備
6	・受験のスケジュール	受験のスケジュールを自分で作成し、道筋を明確にする。	オープンキャンパス 志望理由書 資料請求
7	・校外学習について①	校外学習の意義とルールを学ぶ。	校外学習 クラスコミュニティ
8	・校外学習について②	校外学習を振り返って、学んだことを共有し学びを深める。	校外学習 クラスコミュニティ
9	・オープンキャンパスについて ・進路オリエンについて①	オープンキャンパスに参加する意義を学ぶ。 進路オリエンテーションについて学ぶ。	オープンキャンパス 説明会 オリエンテーション
10	・進路オリエンについて②	進路オリエンテーションを振り返って、仕入れた情報を共有し知識を深める。	オリエンテーション 説明会
11	・国際交流祭について①	国際交流祭の意義を学ぶ。 国際交流祭の準備をする。	国際交流祭 クラスコミュニティ
12	・国際交流祭について② ・講師アンケート	国際交流祭を振り返って、感じたことを共有し学びを深める。	国際交流祭 クラスコミュニティ
13	・志望理由書について① ・夏休みにやることの確認	志望理由書について学び、進路決定に活かす。 夏休みを有意義に過ごすための心構えを学ぶ。	志望理由書 自己管理
14	・志望理由書について②	志望理由書についてフィードバックし進路決定に活かす。	志望理由書
15	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	・面接のマナー ・面接でよく聞かれる質問について	面接のマナーを理解する。 面接でよく聞かれる質問を確認し、進路決定に活かす。	面接 面接官 控室 マナー 志望理由
17	・面接前の確認	面接直前にやるべきことを理解する。	面接
18	・面接で気をつけること	面接の際に注意することを理解する。	面接
19	・自己PRについて ・JLPT模試について	面接官に自己PRできるようになる。	自己PR 強み 弱み
20	・自己PRの発表 ・受験報告書について	面接官に自己PRする練習をし、進路決定に活かす。 先輩が書いた受験報告書を読み、知識を身につける。	自己PR 強み 弱み 受験報告書
21	・留学について考える	留学のきっかけや意味について考え、自己分析を深める。	留学 自己分析
22	・今までの自分	今までの自分について振り返り、自己分析を深める。	自己分析
23	・これからの自分	これからの自分について考え、自己分析を深める。	自己分析 目標 将来像
24	・在留資格の取消	ビザのルールについて学び、留学生としての意識を高める。	ビザ 留学生 在留資格 入国管理局 不法滞在
25	・地域清掃について（導入）	地域清掃などの地域貢献活動の意義を学ぶ。	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
26	・地域清掃について（実施）	地域清掃などの地域貢献活動をしやりがいを感じる。	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
27	・地域清掃について（振り返り）	地域清掃などの地域貢献活動を通じて学んだことをまとめ共有し、学びを深める。	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
28	・冬休みについて ・年賀状を作ろう	冬休みを有意義に過ごすための心構えを学ぶ。 お世話になった人への年賀状を作成し、支えてくれた周りの人々の思いに気付く。	自己管理 年賀状
29	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	
30	・エール学園の思い出	エール学園の思い出について振り返り、卒業後の生活につなげる。	思い出
31	自由		
32	自由		

授業計画（シラバス）

科目名	留学試験対策
学年	1,2（選択）

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>日本留学試験の問題形式に慣れ、実力をつける。 日本留学試験日本語320点以上を取得するための能力を身につける。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU日本語320点以上</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU日本留学試験 過去問</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
2	聴読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
3	聴解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
4	調整	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
5	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
6	EJU模試 フィードバック	学内で実施したEJU模試のフィードバックを通じ、知識を定着させて実力をつける。	
7	聴読解・聴解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
8	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
9	聴読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
10	聴解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
11	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
12	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
13	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
14	聴読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
15	期末試験	期末試験を行い実力を確認する。	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
16	聴解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
17	EJU模試 フィードバック	学内で実施したEJU模試のフィードバックを通じ、知識を定着させて実力をつける。	
18	聴解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
19	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
20	聴読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
21	聴解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
22	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
23	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
24	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
25	聴読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
26	聴読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
27	聴解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
28	聴解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
29	読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
30	聴読解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	
31	期末試験	期末試験を行い実力を確認する。	
32	聴解	EJUの出題形式に慣れ、実力をつける。	

授業計画（シラバス）

科目名	基礎文法
学年	1,2（選択）

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
日本語能力試験のN1に合格するための読解の能力と文法の知識、能力を身につける。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
日本語能力試験 N1

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
日本語能力試験直前対策N1

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	第1回 模擬テスト 第2回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
2	第1回 模擬テスト 第2回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
3	第1回 模擬テスト 第2回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
4	第1回 模擬テスト 第2回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
5	第3回 模擬テスト 第4回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
6	第3回 模擬テスト 第4回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
7	JLPT模試 フィードバック	学内で実施したJLPT模試のフィードバックを通じ、知識を定着させて実力をつける。	
8	JLPT模試 フィードバック	学内で実施したJLPT模試のフィードバックを通じ、知識を定着させて実力をつける。	
9	第3回 模擬テスト 第4回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
10	第3回 模擬テスト 第4回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
11	第5回 模擬テスト 第6回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
12	第5回 模擬テスト 第6回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
13	第5回 模擬テスト 第6回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
14	第5回 模擬テスト 第6回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
15	期末試験	期末試験を行い実力を確認する。	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
16	第7回 模擬テスト 第8回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
17	第7回 模擬テスト 第8回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
18	第7回 模擬テスト 第8回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
19	第7回 模擬テスト 第8回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
20	第9回 模擬テスト 第10回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
21	第9回 模擬テスト 第10回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
22	第9回 模擬テスト 第10回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
23	第9回 模擬テスト 第10回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
24	第11回 模擬テスト 第12回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
25	第11回 模擬テスト 第12回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
26	第11回 模擬テスト 第12回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
27	第11回 模擬テスト 第12回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
28	第13回 模擬テスト 第14回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
29	第13回 模擬テスト 第14回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
30	第13回 模擬テスト 第14回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
31	第13回 模擬テスト 第14回 模擬テスト	JLPTの出題形式に慣れ、実力をつける。	
32	期末試験	期末試験を行い実力を確認する。	

授業計画（シラバス）

科目名	基礎読解・聴解	学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
学年	1,2（選択）	時限	64時限

【授業内容・到達目標】
日本語能力試験のN1に合格するための読解の能力を身につける。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
日本語能力試験 N1

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】	
読解攻略 日本語能力試験N1（前期）	留学生のための 時代を読み解く上級日本語（前期）
日本語能力試験N1読解 必須パターン（後期）	日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解(40日完成)（後期）

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	『読解攻略 日本語能力試験N1』 はじめの4題 ガイダンス	JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
2	先週の解説 Step1:指示語を問う問題（P12）	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
3	Step1:続き	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
4	Step2:キーワードの穴埋め Step3:句や文の穴埋め問題	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
5	Step4:下線部の意味を問う問題 Step5:下線部の理由を問う問題	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
6	JLPT模試のフィードバック	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT模試の問題を振り返り、解き方のコツを習得する。	
7	JLPT模試のフィードバック	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT模試の問題を振り返り、解き方のコツを習得する。	
8	Step6:全体を問う問題、 短文正答率をチェックP40	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPT読解問題の解き方のコツをつかむ。	
9	模擬試験 第1回	テキストに出てきた文法を正確に運用できるようになる。 JLPTの模擬試験を行い、解き方のコツを習得する。	
10	『留学生のための 時代を読み解く 上級日本語』 1, 遠距離結婚P8～	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
11	1, 遠距離結婚P8～	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
12	A.説明文 P43-P53	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
13	A.説明文 P54-P59	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
14	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	
15	PART2 対策編 第2章 実戦練習 UNIT 内容理解（短文） p140～	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
16	UNIT2 内容理解（中文）	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	

週目		学習目標	キーワード
17	UNIT3 内容理解(長文)	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
18	UNIT4 統合理解に挑戦	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
19	UNIT5 主張理解(長文)に挑戦	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
20	UNIT6 情報検索に挑戦	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
21	日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解(40日完成) ①内容理解(長文) N1 ②	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
22	①主張理解 N1 ②情報検索 N1	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
23	復習	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
24	日本語能力試験N1読解 必須パターン PART 1 基礎編	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
25	PART 1 基礎編 第2章 長文A UNIT 1	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	
26	PART 1 基礎編 第2章 長文A UNIT 2	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	論説
27	PART 1 基礎編 第2章 長文B UNIT 1	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	エッセイ
28	PART 1 基礎編 第2章 長文B UNIT 1	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	エッセイ
29	PART 1 基礎編 第2章 長文B UNIT 2	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	小説
30	A. PART 1 基礎編 第2章 長文B UNIT 3	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	紀行文
31	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	
32	A. PART 1 基礎編 第2章 長文B UNIT 3	様々な分野の読解問題に触れ、解き方のコツをつかむ。	紀行文

授業計画（シラバス）

科目名	物理
学年	1,2（選択）

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
物理学を学習する。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
EJU物理

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
チャレンジ理科（物理） [改訂版]

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・力学① ・熱学①	・力学の基本 ・気体の法則	・運動と力 ・理想気体の状態方程式
2	・力学② ・熱学②	・速度と加速度 ・気体の状態変化	・速度、加速度 ・定積変化、変圧変化、等温変化、断熱変化
3	・力学③ ・熱学③	・落体の運動 ・熱と仕事①	・落体の運動、放物運動（斜方投射・水平投射） ・熱力学第一法則
4	・力学④ ・熱学④	・摩擦力と空気抵抗 ・モル比熱	・重力、摩擦力、抗力 ・定積モル比熱と定圧モル比熱
5	・力学⑤ ・熱学⑤	・運動の法則（いろいろな力、力のつりあい） ・熱と仕事②	・張力、弾性力、力の合成・分解 ・熱効率
6	・力学⑥ ・熱学⑥	・運動の法則（運動方程式） ・熱と仕事	・ニュートンの運動の3法則 熱力学第二法則
7	・力学⑦ ・波動①	・問題演習（運動） ・波	・静止摩擦力、動摩擦力、空気の抵抗 ・正弦波
8	・力学⑧ ・波動②	・仕事 ・音	・仕事の原理、仕事率 ・ドップラー効果
9	・力学⑨ ・波動③	・力学的エネルギー ・光	運動エネルギー、位置エネルギー ・スペクトル
10	・力学⑩ ・波動④	・仕事とエネルギーの関係 ・21世紀の物理学革命	・仕事とエネルギー
11	・力学⑪ ・原子①	・力学的エネルギー保存の法則 ・光電効果	・力学的エネルギー保存の法則 ・光電効果
12	・力学⑫ ・原子②	・問題演習（外力がする仕事） ・原子の構造	・外力 ・水素原子の構造
13	・力学⑬ ・原子③	・運動量と力積 ・原子核①	・運動量、力積 ・核反応
14	・力学⑭ ・原子④	・運動量保存の法則 ・原子核②	・運動量保存則 ・放射線、半減期
15	・力学⑮ ・電気と電磁気①	・問題演習（力積と運動量） ・電場	・力積と運動量 ・電界と電位
16	・力学⑯ ・電気と電磁気② 期末試験	・物体の衝突 ・コンデンサー① 期末試験	・衝突と分裂 ・コンデンサー

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	・力学⑬ ・電気と電磁気③	・反発係数 ・コンデンサー②	・反発係数、弾性衝突・非弾性衝突 ・誘電体
18	・力学⑭ ・電気と電磁気④	・等速円運動 ・直流回路①	・各速度、周期と回転数、向心力 ・オームの法則、ジュール熱
19	・力学⑮ ・電気と電磁気⑤	・慣性力 ・直流回路②	・慣性力、遠心力 ・キルヒホッフの法則
20	・力学⑯ ・電気と電磁気⑥	・単振動 ・電流と磁場	・単振動、ばね振り子、単振り子 ・電界、ローレンツ力
21	・力学⑰ ・電気と電磁気⑦	・万有引力の法則 ・電磁誘導と電磁波	・ケプラーの法則、 ・ファラデーの電磁誘導の法則、自己誘導
22	・力学⑱ ・電気と電磁気⑧	・剛体の力学 ・交流回路と電磁波	・力のモーメント、合力、偶力、剛体のつりあい ・リアクタンス
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
30	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
31	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
32	大学物理学への導入	大学物理学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	化学
学年	1,2（選択）

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
化学を学習する。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
EJU化学

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
エクセル化学総合版 新課程

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	有機化学	有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、	異性体、元素分析、組成式、炭化水素の反応経路図
2	有機化学	酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物	アルコール、エステル、セッケン、芳香族炭化水素、フェノール類
3	物質の変化	モル計算、溶液の濃度	原子量・分子量・式量、物質質量、モル質量、モル濃度
4	物質の変化	結晶格子、物質の三態	結晶、気体、液体、個体、状態変化
5	物質	気体	ボイル・シャルルの法則
6	物質	気体	気体の状態方程式
7	物質	固体の溶解度	飽和溶液、再結晶
8	物質	気体の溶解度	ヘンリーの法則
9	物質	希薄溶液	希薄溶液
10	物質	酸・塩基	水素イオン、中和
11	物質	熱化学	反応熱、ヘスの法則
12	物質	化学反応速度	反応速度式
13	物質	化学平衡	化学平衡の法則
14	物質	化学平衡	ルシャトリエの原理
15	物質	酸化還元	酸化数、酸化剤と還元剤、酸化還元反応
16	物質 期末試験	電池・電気分解 期末試験	ダニエル電池、陽極・陰極、ファラデーの法則

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	無機化学	無機物質	非金属元素、典型金属元素、遷移元素
18	無機化学	無機物質	金属イオンの分離と推定、無機物質と人間生活
19	高分子化合物	天然分子化学	糖
20	高分子化合物	天然分子化学	アミノ酸とタンパク質・核酸
21	高分子化合物	合成高分子化学	合成繊維、合成樹脂、合成ゴム
22	高分子化合物	合成高分子化学	機能性高分子化合物、有機化合物と人間生活
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学化学への導入	大学化学への導入	
30	大学化学への導入	大学化学への導入	
31	大学化学への導入	大学化学への導入	
32	大学化学への導入	大学化学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	生物
学年	1,2（選択）

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
生物学を学習する。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
EJU生物

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	細胞と遺伝子①	生物の多様性と共通性	細胞、顕微鏡とマイクロメーター、ATPと酵素、光合成と呼吸
2	生命現象と物質①	細胞と分子①	タンパク質、細胞膜と細胞骨格、抗体と生体防御
3	生命現象と物質①	細胞と分子①	発酵、細菌の炭酸同化、窒素同化、
4	細胞と遺伝子②	遺伝子とそのはたらき	DNAの構造、ゲノム、遺伝情報
5	生命現象と物質①	遺伝情報とその発見	DNAとその複製、形質発現と調節、バイオテクノロジー
6	生殖と発生①	生殖と遺伝	減数分裂と染色体、染色体と遺伝子組換え
7	生殖と発生②	発生とそのしくみ	卵割、誘導、形態形成と遺伝子、植物の生殖と発生
8	生物の体内環境の維持①	体内環境	体液、細胞膜、腎臓と肝臓
9	生物の体内環境の維持②	体内環境の調節と免疫	自律神経、ホルモン、免疫
10	生物の環境応答①	動物の刺激の受容と反応	ニューロン、受容器、中枢神経系と末梢神経系、効果器
11	生物の環境応答①	植物の環境応答	刺激に対する植物の反応
12	生物の環境応答①	植物の環境応答	発芽と成長の調節
13	生物の多様性と生態系①	植生とその移り変わり	植物の遷移
14	生物の多様性と生態系①	植生とその移り変わり	気候とバイオーム
15	生物の多様性と生態系②	生態系とその保全	食物連鎖、物質循環とエネルギーの流れ
16	生物の多様性と生態系② 期末試験	生態系とその保全 期末試験	生態系の平衡と人間活動

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	生態系と環境①	生物群衆と生態系	個体群と環境、個体群内・個体群間の相互作用
18	生態系と環境①	生物群衆と生態系	生態系の物質収支
19	生物の進化と系統①	生物の起源と進化	海での生物の誕生、陸への進出
20	生物の進化と系統①	生物の起源と進化	進化の証拠、進化の仕組み
21	生物の進化と系統①	生物の系統と分類	細菌ドメインと古細菌ドメイン
22	生物の進化と系統①	生物の系統と分類	真核生物ドメイン（原生物界・植物界・菌界・動物界）
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
30	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
31	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
32	大学生物学への導入	大学生物学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	TOEFL受験対策
学年	1,2（選択）

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
TOEFL

【他科目・他クラスとの関連可能要素】
英語（国公立）

【使用テキスト・教材、参考文献】

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	TOEFLとは何か	TOEFLの試験を理解する。	
2	リーディングセッション①	TOEFLのリーディングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
3	リーディングセッション②	リーディングセッション問題演習①	
4	リーディングセッション③	リーディングセッション問題演習②	
5	リスニングセッション①	TOEFLのリスニングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
6	リスニングセッション②	リスニングセッション問題演習①	
7	リスニングセッション③	リスニングセッション問題演習②	
8	ライティングセッション①	TOEFLのライティングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
9	ライティングセッション②	ライティングセッション問題演習①	
10	ライティングセッション③	ライティングセッション問題演習②	
11	スピーキングセッション①	TOEFLのスピーキングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
12	スピーキングセッション②	スピーキングセッション問題演習①	
13	スピーキングセッション③	スピーキングセッション問題演習②	
14	総合問題演習①	リーディング・リスニングセッション問題演習	
15	総合問題演習②	ライティング・スピーキングセッション問題演習	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	前期のみ	前期のみ	
18	前期のみ	前期のみ	
19	前期のみ	前期のみ	
20	前期のみ	前期のみ	
21	前期のみ	前期のみ	
22	前期のみ	前期のみ	
23	前期のみ	前期のみ	
24	前期のみ	前期のみ	
25	前期のみ	前期のみ	
26	前期のみ	前期のみ	
27	前期のみ	前期のみ	
28	前期のみ	前期のみ	
29	前期のみ	前期のみ	
30	前期のみ	前期のみ	
31	前期のみ	前期のみ	
32	前期のみ	前期のみ	

授業計画（シラバス）

科目名	総合科目
学年	1,2（選択）

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
世界と日本の地理・歴史・経済・政治・社会を学習する。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
EJU総合科目

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
ハイレベル総合科目 改定第二版

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	地理①	地球儀と地図、世界の地理的環境	標準時時差、地理情報、世界の地形、世界の気候、世界の植生
2	地理②	世界の国々、世界の資源と産業	世界の国々、世界の産業、世界の資源とエネルギー、世界の交通と通信
3	地理③	人口と都市・村落、世界の生活・文化・宗教	世界の人口、世界の都市・村落、衣食住、言語と宗教
4	地理④	自然環境と災害・防災、日本の国土と環境、日本の産業と貿易	世界の自然災害、防災、日本の国土・環境・気候・産業・貿易、交通・通信
5	歴史①	市民革命と産業革命、国民国家の形成	市民革命と産業革命、ウィーン体制、南北戦争
6	歴史②	帝国主義と植民地化、日本の近代化とアジア	帝国主義時代の欧米列強、日本の近代化
7	歴史③	第一次世界大戦とロシア革命、世界恐慌から第二次世界大戦へ、冷戦と現代の世界	第一次世界大戦、世界恐慌、第二次世界大戦、冷戦体制、日本の戦後史
8	現代の経済	経済体制、経済循環と現代の企業	資本主義経済、社会主義経済、国民経済と経済循環、現代の企業
9	現代の経済	市場と価格、国民所得と景気変動	市場経済の仕組み、国民所得、経済成長
10	現代の経済	金融政策、財政政策	金融政策、金融問題、財政の機能と政策
11	現代の経済	日本経済の歩み、日本経済の諸問題	第二次世界大戦前後の日本経済、中小企業・消費者・労働問題
12	現代の経済	国際経済（1）－貿易と為替	貿易と国際収支、外国為替相場
13	現代の経済	国際経済（2）－国際経済の仕組み①	国際貿易体制
14	現代の経済	国際経済（2）－国際経済の仕組み②	自由貿易協定と経済連携協定
15	現代の政治	民主主義の基本原則	民主政治の成立、近代民主政治の基本原則
16	現代の政治 期末試験	世界の政治制度 期末試験	議院内閣制と大統領制

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	現代の政治	日本国憲法、日本の統治機構	国民主権、基本的人権と法の支配、平和主義、国会、内閣、裁判所
18	現代の政治	政党と政党政治、現代政治の諸問題	日本の政党政治、行政機能の拡大と民主化、選挙と政治参加
19	現代の国際社会	国際連合と国際機構	国際法、国際連盟、国際連合と国際機構
20	現代の国際社会	国際平和と国際協力、南北問題	国連平和維持活動、軍縮の歩み、南北問題、南南問題
21	現代の国際社会	民族問題、地球環境問題	人種・民族問題、エスニシティ、難民問題、地球環境問題と環境保全
22	現代の社会	現代社会の特質、日本の人口と少子・高齢化社会、社会保障制度	大衆社会、管理社会、情報社会、高齢社会・少子社会、sy会保障と社会福祉
23	現代の社会	多文化理解、生命倫理、不平等の是正、食料・エネルギー・環境問題	多文化主義・バイオエシックス、法の下の平等、食料問題、エネルギー問題
24	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文①（生物多様性）	生物多様性、外来種、絶滅危惧種
25	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文②（食品ロス）	食品ロス、食料問題、子ども食堂
26	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文③（少子高齢化）	少子化・高齢化・地域社会
27	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文④（経済のグローバル化）	経済のグローバル化のメリット、デメリット
28	大学経済学への導入	ゲーム理論入門①	利得行列、囚人のジレンマ
29	大学経済学への導入	ゲーム理論入門②	戦略形、ゲームナッシュ均衡
30	大学経済学への導入	ゲーム理論入門③	展開系ゲーム
31	大学政治学への導入	政治思想・政治哲学①	自由主義と民主主義
32	大学政治学への導入	政治思想・政治哲学②	功利主義、正義

授業計画（シラバス）

科目名	数学 I
学年	1,2（選択）

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
数学 I Aを学習する。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
EJU数学コース I

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	図形と計量①	三角比①	正弦、余弦、接弦
2	図形と計量②	三角比②	三角比の相互関係
3	図形と計量③	三角比と図形①	正弦定理
4	図形と計量④	三角比と図形②	余弦定理
5	図形と計量⑤	三角比と図形③	図形の計量
6	2次関数①	2次関数とそのグラフ①	2次関数の値の変化
7	2次関数②	2次関数とそのグラフ②	2次関数の値の最大・最小
8	2次関数③	2次関数とそのグラフ③	2次関数の決定
9	2次関数④	2次方程式・2次不等式①	2次方程式の解
10	2次関数⑤	2次方程式・2次不等式①	2次関数のグラフと2次方程式
11	場合の数と確率①	場合の数①	集合の要素の個数
12	場合の数と確率②	場合の数②	和の法則
13	場合の数と確率③	場合の数③	積の法則
14	場合の数と確率④	場合の数④	数列
15	場合の数と確率⑤	場合の数⑤	組み合わせ
16	場合の数と確率⑥ 期末試験	確率① 期末試験	確率とその基本的な性質

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	場合の数と確率⑦	確率②	独立な試行と確率
18	場合の数と確率⑧	確率③	条件付き確率
19	図形の性質①	平面図形①	三角形の性質
20	図形の性質②	平面図形②	円の性質
21	図形の性質③	空間図形①	直線と平面
22	図形の性質④	空間図形②	多面体
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
29	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
30	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
31	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
32	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	

授業計画（シラバス）

科目名	数学Ⅱ
学年	1,2（選択）

学科・コース	応用日本語学科（進学日本語コース1年制・2年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
数学ⅡBⅢを学習する。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
EJU数学コースⅡ

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	三角関数①	弧度法	弧度法
2	三角関数②	正弦定理・余弦定理	正弦、余弦、正接
3	三角関数③	加法定理	加法定理、積、和の書きかえ
4	指数・対数関数①	指数関数①	指数の拡張
5	指数・対数関数②	指数関数②	指数関数のグラフ
6	指数・対数関数③	対数関数①	対数の性質、対数関数のグラフ
7	指数・対数関数④	対数関数②	常用対数
8	微分・積分の考え①	微積の考え①	微分係数と導関数
9	微分・積分の考え②	微積の考え②	接線、関数値の増減
10	微分・積分の考え③	積分の考え①	不定積分と定積分
11	微分・積分の考え④	積分の考え②	面積
12	微分法①	導関数	関数の和・差・積・商の関数、合成関数、逆関数
13	微分法②	導関数の応用	速度、加速度
14	積分法①	不定積分①	置換積分法
15	積分法①	不定積分①	置換積分法
16	積分法③ 期末試験	定積分① 期末試験	定積分の置換積分・奇関数・偶関数の定積分

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	積分法④	定積分②	定積分の部分積分
18	積分法⑤	積分の応用	面積、体積、長さ
19	数列①	数列とその和	等差数列、等比数列
20	数列②	漸化式と数学的帰納法	漸化式、数学的帰納法
21	ベクトル①	平面上のベクトル	ベクトルの演算、ベクトルの内積
22	ベクトル②	空間座標とベクトル	空間座標、空間ベクトル
23	複素数平面①	複素数の図表示・極形式	点の図示、偏角
24	複素数平面②	ドモアブルの定理	ドモアブルの定理
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
30	大学数学への導入	大学数学への導入	
31	大学数学への導入	大学数学への導入	
32	大学数学への導入	大学数学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1A
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①JLPT出題基準となる語彙、または重要度の高い語彙（頻度値・親密度値の高い語彙）を能動的に学習する。 ②①の語彙を体系的に理解する。 ③①の語彙の、コロケーションを考え、類義語との使い分けができるようになる。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>JLPT N1</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>考える漢字・語彙 上級編</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	1課	導入	
2	1課	体系理解	
3	1課	類義語とコロケーション	
4	2課	導入	
5	2課	体系理解	
6	2課	類義語とコロケーション	
7	3課	導入	
8	3課	体系理解	
9	3課	類義語とコロケーション	
10	4課	導入	
11	4課	体系理解	
12	4課	類義語とコロケーション	
13	5課	導入	
14	5課	体系理解	
15	5課	類義語とコロケーション	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	6課	導入、体系理解	
18	6課	類義語とコロケーション	
19	7課	導入、体系理解	
20	7課	類義語とコロケーション	
21	8課	導入、体系理解	
22	8課	類義語とコロケーション	
23	9課	導入、体系理解	
24	9課	類義語とコロケーション	
25	10課	導入、体系理解	
26	10課	類義語とコロケーション	
27	11課	導入、体系理解	
28	11課	類義語とコロケーション	
29	12課	導入、体系理解	
30	1 2課	類義語とコロケーション	
31	総復習	総復習	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	学国語学習1B
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学進学後の授業に対応できる実践的な聴解力を身につける。読解の問題を読んでわかるだけでなく、聞いて理解し、発話、ディスカッションに発展させる力を同時に養う。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU読解・聴解・聴読解</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU過去問</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	EJU過去問演習①	EJU過去問演習読解①	
2	EJU過去問演習②	EJU過去問演習聴読解①	
3	EJU過去問演習③	EJU過去問演習聴解①	
4	EJU過去問演習④	EJU過去問演習読解②	
5	EJU過去問演習⑤	EJU過去問演習聴読解②	
6	EJU過去問演習⑥	EJU過去問演習聴解②	
7	EJU過去問演習⑦	EJU過去問演習読解③	
8	EJU過去問演習⑧	EJU過去問演習聴読解③	
9	EJU過去問演習⑨	EJU過去問演習聴解③	
10	EJU過去問演習⑩	EJU過去問演習読解④	
11	EJU過去問演習⑪	EJU過去問演習聴読解④	
12	EJU過去問演習⑫	EJU過去問演習聴解④	
13	EJU過去問演習⑬	EJU過去問演習読解⑤	
14	EJU過去問演習⑭	EJU過去問演習聴読解⑤	
15	EJU過去問演習⑮	EJU過去問演習聴解⑤	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	EJU過去問演習⑯	EJU過去問演習読解⑥	
18	EJU過去問演習⑰	EJU過去問演習聴読解⑥	
19	EJU過去問演習⑱	EJU過去問演習聴解⑥	
20	EJU過去問演習⑲	EJU過去問演習読解⑦	
21	EJU過去問演習⑳	EJU過去問演習聴読解⑦	
22	EJU過去問演習㉑	EJU過去問演習聴解⑦	
23	グループディスカッション①	グループディスカッション①	
24	グループディスカッション②	グループディスカッション②	
25	グループディスカッション③	グループディスカッション③	
26	グループディスカッション④	グループディスカッション④	
27	グループディスカッション⑤	グループディスカッション⑤	
28	グループディスカッション⑥	グループディスカッション⑥	
29	グループディスカッション⑦	グループディスカッション⑦	
30	グループディスカッション⑧	グループディスカッション⑧	
31	グループディスカッション⑨	グループディスカッション⑨	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1C
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①日本語の文章に慣れること、文法知識と語彙を増やすこと、背景知識を増やすこと ②①の結果、EJU日本語科目高得点取得、大学受験対応、大学進学後の授業に対応すること</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>上級者のための日本語読解ワークブック</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・異文化理解① ・日本語の世界①	・異文化の狭間で生きる ・ヤマトコトバ	
2	・異文化理解② ・日本語の世界②	・迫られる意識改革 ・日本語の一人称はなぜ多い	
3	・異文化理解③ ・日本語の世界③	・日本人の行動パターン ・方言の見直し	
4	・異文化理解④ ・日本の文化①	・お箸の文化 ・豊かな縄文文化	
5	・環境と人間① ・日本の文化②	・暮らしの木 ・日本の仕切	
6	・環境と人間② ・日本の文化③	・破局が来る前に ・羞恥心はどこへ消えた？	
7	・環境と人間③ ・日本の文化④	・環境問題の発端 ・形の美	
8	・環境と人間④ ・日本人の行動様式①	・日本最後のトキ ・赤信号、みんなで渡れば怖くない	
9	・ITと情報社会① ・日本人の行動様式②	・情報社会に生きる ・「べた靴」現象とひきこもり	
10	・ITと情報社会② ・日本人の行動様式③	・コミュニケーション下手の日本人 ・逆立ち現象	
11	・ITと情報社会③ ・言語とコミュニケーション①	・「情報伝達」という神話 ・社会と言語	
12	・ITと情報社会④ ・言語とコミュニケーション②	・O×式の弊害 ・「名づけ」という行動	
13	・調整 ・言語とコミュニケーション③	・調整 ・言語の習得	
14	調整	調整	
15	調整	調整	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	・生物と自然① ・心理と哲学①	・植物の生き方 ・固定観念	
18	・生物と自然② ・心理と哲学②	海の森 ・仮面の役割	
19	・科学と技術① ・心理と哲学③	・科学への夢は語れるか ・自由であること	
20	・科学と技術② ・心理と哲学④	・科学の知 ・歴史とは何か	
21	・科学と技術③ ・教育と学び①	・研究者の戒め ・「個性」を煽られる子ども	
22	・現代の社会① ・教育と学び②	・貧困の定義 ・学びの主体性	
23	・現代の社会② ・教育と学び③	・高度成長がもたらしたもの ・学ぶ喜び	
24	・現代の社会③ ・教育と学び④	・高齢化社会のもう一つの視点 ・嫉と感化	
25	・現代の社会④ ・報道とマスコミ①	・社会学とは何か ・犯罪報道について	
26	・余暇と娯楽① ・報道とマスコミ②	・女子マラソン ・報道写真の真実	
27	・余暇と娯楽② ・報道とマスコミ③	・メルヘンの知恵 ・メディアの虚実	
28	・余暇と娯楽③ ・調整	・一人旅の魅力 ・調整	
29	調整	調整	
30	調整	調整	
31	調整	調整	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	小論文
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学進学後の授業に対応できる論述力を身につける。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU記述</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU過去問記述、基礎からベストex.小論文</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス・レベルチェック 「昨年の振り返り」400字	「小論文」とは？受験で求められるものは？	
2	「昨年振り返り」によるレベル チェックと添削	出題の意図をくみ取り深い論述ができているか	
3	EJU記述過去問	小論文実践	
4	EJU記述過去問	小論文実践	
5	EJU記述過去問	小論文実践	
6	EJU記述過去問	小論文実践	
7	EJU記述過去問	小論文実践	
8	EJU記述過去問	小論文実践	
9	EJU記述過去問	小論文実践	
10	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
11	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
12	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
13	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
14	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
15	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	EJU記述過去問	小論文実践	
18	EJU記述過去問	小論文実践	
19	EJU記述過去問	小論文実践	
20	EJU記述過去問	小論文実践	
21	EJU記述過去問	小論文実践	
22	EJU記述過去問	小論文実践	
23	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
24	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
25	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
26	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
27	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
28	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
29	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
30	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
31	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	英語（有名私大）
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	128時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>日本の高校生が学ぶ英文法を理解し、英文和訳・和文英訳の力を身につける。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEIC</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>TOEFL受験対策</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>高校リード問題集 英語 I</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	文型	第1文型～第5文型	
2	文の種類	平叙文、疑問文、付加疑問文、否定疑問文、命令文、感嘆文	
3	基本時制	現在時制、過去時制、未来表現、現在進行形、過去進行形、未来進行形	
4	完了形	現在完了、現在完了進行形、過去完了、過去完了進行形	
5	助動詞	助動詞の種類と用法、その他の助動詞、助動詞+完了形	
6	受動態	能動態と受動態、助動詞と受動態、受動態の時制、受動態と文型、群動詞の受動態	
7	問題練習①	まとめテスト①	
8	不定詞	基本3用法、不定詞を含む重要表現、不定詞の否定形完了形受動態、原形不定詞	
9	動名詞	動名詞の用法、動名詞と不定詞、動名詞の否定形完了形受動態意味上の主語、動名詞を含む慣用表現	
10	分詞	分詞の形容詞的用法、SVC(C=分詞)、SVOC(C=分詞)、分詞の慣用表現	
11	使役動詞知覚動詞	使役動詞、知覚動詞、分詞を伴う近く動詞	
12	分詞構文	分詞構文の用法、完了形の分詞構文、否定の分詞構文、独立分詞構文	
13	問題練習②	まとめテスト②	
14	関係代名詞	関係代名詞の格変化、thatの用法、関係代名詞の省略、関係代名詞whatの用法、関係代名詞の非限定用法	
15	関係副詞	関係副詞where,when（制限用法と非制限用法）、関係副詞why,how	
16	比較 期末試験	比較変化、原級による比較、比較級による比較、最上級による比較 期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	問題練習③	まとめテスト③	
18	仮定法	仮定法過去、仮定法過去完了、「もし〜がなければ」	
19	接続詞	等位接続詞、従位接続詞、間接疑問文	
20	句と節	句、節、単文、重文、複文、文の書きかえ	
21	話法	時制の一致、話法の転換 (平叙文命令文疑問文感嘆文)	
22	問題練習④	まとめテスト④	
23	名詞、冠詞	名詞の種類複数形所有格、不定冠詞の用法、定冠詞の用法、冠詞の位置と省略	
24	代名詞	人称代名詞、所有代名詞、再帰代名詞、支持用法、疑問代名詞、不定代名詞	
25	形容詞、副詞	形容詞の用法、数量を表す形容詞、副詞の用法と位置、疑問副詞	
26	強調、否定	強調、否定語、準否定語、部分否定、二重否定、慣用表現	
27	前置詞	前置詞の用法と種類、付帯状況のwith、群前置詞、成句を作る前置詞	
28	問題練習⑤	まとめテスト⑤	
29	発音とアクセント	発音、同音異義語、アクセント、文の強勢	
30	問題練習⑥	総合問題①、総合問題②	
31	問題練習⑦	総合問題③、総合問題④	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	文系数学
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	128時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>日本の高校生が学ぶ英文法を理解し、英文和訳・和文英訳の力を身につける。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU数学コース I</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>なし</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	図形と計量①	三角比①	正弦、余弦、接弦
2	図形と計量②	三角比②	三角比の相互関係
3	図形と計量③	三角比と図形①	正弦定理
4	図形と計量④	三角比と図形②	余弦定理
5	図形と計量⑤	三角比と図形③	図形の計量
6	2次関数①	2次関数とそのグラフ①	2次関数の値の変化
7	2次関数②	2次関数とそのグラフ②	2次関数の値の最大・最小
8	2次関数③	2次関数とそのグラフ③	2次関数の決定
9	2次関数④	2次方程式・2次不等式①	2次方程式の解
10	2次関数⑤	2次方程式・2次不等式①	2次関数のグラフと2次方程式
11	場合の数と確率①	場合の数①	集合の要素の個数
12	場合の数と確率②	場合の数②	和の法則
13	場合の数と確率③	場合の数③	積の法則
14	場合の数と確率④	場合の数④	数列
15	場合の数と確率⑤	場合の数⑤	組み合わせ
16	場合の数と確率⑥ 期末試験	確率① 期末試験	確率とその基本的な性質

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	場合の数と確率⑦	確率②	独立な試行と確率
18	場合の数と確率⑧	確率③	条件付き確率
19	図形の性質①	平面図形①	三角形の性質
20	図形の性質②	平面図形②	円の性質
21	図形の性質③	空間図形①	直線と平面
22	図形の性質④	空間図形②	多面体
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
29	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
30	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
31	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
32	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	

授業計画（シラバス）

科目名	総合科目
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	192時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>世界と日本の地理・歴史・経済・政治・社会を学習する。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU総合科目</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>ハイレベル総合科目 改定第二版</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	地理①	地球儀と地図、世界の地理的環境	標準時時差、地理情報、世界の地形、世界の気候、世界の植生
2	地理②	世界の国々、世界の資源と産業	世界の国々、世界の産業、世界の資源とエネルギー、世界の交通と通信
3	地理③	人口と都市・村落、世界の生活・文化・宗教	世界の人口、世界の都市・村落、衣食住、言語と宗教
4	地理④	自然環境と災害・防災、日本の国土と環境、日本の産業と貿易	世界の自然災害、防災、日本の国土・環境・気候・産業・貿易、交通・通信
5	歴史①	市民革命と産業革命、国民国家の形成	市民革命と産業革命、ウィーン体制、南北戦争
6	歴史②	帝国主義と植民地化、日本の近代化とアジア	帝国主義時代の欧米列強、日本の近代化
7	歴史③	第一次世界大戦とロシア革命、世界恐慌から第二次世界大戦へ、冷戦と現代の世界	第一次世界大戦、世界恐慌、第二次世界大戦、冷戦体制、日本の戦後史
8	現代の経済	経済体制、経済循環と現代の企業	資本主義経済、社会主義経済、国民経済と経済循環、現代の企業
9	現代の経済	市場と価格、国民所得と景気変動	市場経済の仕組み、国民所得、経済成長
10	現代の経済	金融政策、財政政策	金融政策、金融問題、財政の機能と政策
11	現代の経済	日本経済の歩み、日本経済の諸問題	第二次世界大戦前後の日本経済、中小企業・消費者・労働問題
12	現代の経済	国際経済（1）－貿易と為替	貿易と国際収支、外国為替相場
13	現代の経済	国際経済（2）－国際経済の仕組み①	国際貿易体制
14	現代の経済	国際経済（2）－国際経済の仕組み②	自由貿易協定と経済連携協定
15	現代の政治	民主主義の基本原則	民主政治の成立、近代民主政治の基本原則
16	現代の政治 期末試験	世界の政治制度 期末試験	議院内閣制と大統領制

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	現代の政治	日本国憲法、日本の統治機構	国民主権、基本的人権と法の支配、平和主義、国会、内閣、裁判所
18	現代の政治	政党と政党政治、現代政治の諸問題	日本の政党政治、行政機能の拡大と民主化、選挙と政治参加
19	現代の国際社会	国際連合と国際機構	国際法、国際連盟、国際連合と国際機構
20	現代の国際社会	国際平和と国際協力、南北問題	国連平和維持活動、軍縮の歩み、南北問題、南南問題
21	現代の国際社会	民族問題、地球環境問題	人種・民族問題、エスニシティ、難民問題、地球環境問題と環境保全
22	現代の社会	現代社会の特質、日本の人口と少子・高齢化社会、社会保障制度	大衆社会、管理社会、情報社会、高齢社会・少子社会、sy会保障と社会福祉
23	現代の社会	多文化理解、生命倫理、不平等の是正、食料・エネルギー・環境問題	多文化主義・バイオエシックス、法の下の平等、食料問題、エネルギー問題
24	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文①（生物多様性）	生物多様性、外来種、絶滅危惧種
25	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文②（食品ロス）	食品ロス、食料問題、子ども食堂
26	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文③（少子高齢化）	少子化・高齢化・地域社会
27	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文④（経済のグローバル化）	経済のグローバル化のメリット、デメリット
28	大学経済学への導入	ゲーム理論入門①	利得行列、囚人のジレンマ
29	大学経済学への導入	ゲーム理論入門②	戦略形、ゲームナッシュ均衡
30	大学経済学への導入	ゲーム理論入門③	展開系ゲーム
31	大学政治学への導入	政治思想・政治哲学①	自由主義と民主主義
32	大学政治学への導入	政治思想・政治哲学②	功利主義、正義

授業計画（シラバス）

科目名	キャリアデザイン I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①学生が進路決定できるように様々な知識を伝えていく。（主に進路について：自己分析、受験についての情報、志望理由書、面接）</p> <p>②学生が自発的に行動できるように導く。</p> <p>③学園やクラスへの帰属意識を高め、メンター、講師も巻き込んで、学生同士がお互いに高め合っている雰囲気を作る。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・メンターの紹介 ・エール学園のルール ・クラスのルール	エール学園のルールを身につける。	メンター キャリアデザイン CD
2	・面談事前調査票 ・日本の大学のランク	個人面談の準備をする。 日本の大学のランクや評価を知る	個人面談 大学ランク
3	・大学受験に英語が必要な大学と、 必要ない大学	大学受験に英語が必要な大学と、必要ない大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	英語、TOEFL、TOEIC、IELTS
4	・DiSCについて	性格診断を行い、自分について理解する。	自己分析 DiSC
5	早期出願国公立・難関私大	早めの受験雰囲気醸成する 自分の現在の持ち点を振り返る	早期出願
6	・EJUその他科目が少ない国公立大学	EJUその他科目が少ない（特に文系にとって数学）大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	数学
7	・校外学習について①	校外学習の意義とルールを学ぶ。	校外学習 クラスコミュニティ
8	・校外学習について②	校外学習を振り返って、学んだことを共有し学びを深める。	校外学習 クラスコミュニティ
9	・EJU模試講評とEJUの勉強法 ・進路オリエンについて	EJU模試講評で、強味弱みを理解し、今後の勉強方法を考える。 進路オリエンテーションについて学ぶ。	模擬試験 オリエンテーション
10	・面接練習	国公立・難関私大の面接に求められる面接マナーを理解する	面接マナー
11	・国際交流祭について①	国際交流祭の意義を学ぶ。 国際交流祭の準備をする。	国際交流祭 クラスコミュニティ
12	・国際交流祭について② ・講師アンケート	国際交流祭を振り返って、感じたことを共有し学びを深める。	国際交流祭 クラスコミュニティ
13	・面接シート内容①	勉強以外にしたいことなど、基本的な質問への答え方を理解する	勉強以外にしたいこと、経費思弁
14	・面接シート内容②	日本留学理由、その大学・学部を選んだ理由など、面接の根幹的質問への答え方を理解する	来日理由、志望理由
15	・期末試験 ・英語の試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。 英語試験への理解を深める	TOEFL、TOEIC、IELTS

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	・面接のない国公立大学	面接が苦手な場合でも、国公立大学を受験できることを理解し、受験の科目の型を学。	面接なし
17	大学受験への準備	英語・数学を使うか、EJU・二次試験・面接・小論文重視かなどの評価の配点まで含めて、条件に適した複数の適正校の受験の大切さを理解する。	受験の科目配点
18	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
19	・国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
20	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
21	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
22	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
23	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
24	・在留資格の取消 ・国公立大学募集要項	ビザのルールについて学び、留学生としての意識を高める。 国公立大学受験の準備をする	ビザ 留学生 在留資格 入国管理局 不法滞在
25	・地域清掃について（導入） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動の意義を学ぶ。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
26	・地域清掃について（実施） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動をしやりがいを感じる。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
27	・地域清掃について（振り返り） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動を通じて学んだことをまとめ共有し、学びを深める。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
28	日本の就活について	日本の就職活動について理解する	就活
29	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	
30	面接マナー等振り返り	入試直前に、再度面接マナーを振り返る	面接
31	大学進学後について（大学生活・院試・就職活動・就職後）	メンター自身の経験等を話すことで、大学進学後の具体的なイメージを持ち、前向きに受験に挑む	大学生生活
32	1年の振り返り	これまでの日本での生活を振り返り、自信を持つ	これまでの総括

授業計画（シラバス）

科目名	TOEFL受験対策
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEFL</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>英語（国公立）</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	TOEFLとは何か	TOEFLの試験を理解する。	
2	リーディングセッション①	TOEFLのリーディングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
3	リーディングセッション②	リーディングセッション問題演習①	
4	リーディングセッション③	リーディングセッション問題演習②	
5	リスニングセッション①	TOEFLのリスニングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
6	リスニングセッション②	リスニングセッション問題演習①	
7	リスニングセッション③	リスニングセッション問題演習②	
8	ライティングセッション①	TOEFLのライティングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
9	ライティングセッション②	ライティングセッション問題演習①	
10	ライティングセッション③	ライティングセッション問題演習②	
11	スピーキングセッション①	TOEFLのスピーキングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
12	スピーキングセッション②	スピーキングセッション問題演習①	
13	スピーキングセッション③	スピーキングセッション問題演習②	
14	総合問題演習①	リーディング・リスニングセッション問題演習	
15	総合問題演習②	ライティング・スピーキングセッション問題演習	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	前期のみ	前期のみ	
18	前期のみ	前期のみ	
19	前期のみ	前期のみ	
20	前期のみ	前期のみ	
21	前期のみ	前期のみ	
22	前期のみ	前期のみ	
23	前期のみ	前期のみ	
24	前期のみ	前期のみ	
25	前期のみ	前期のみ	
26	前期のみ	前期のみ	
27	前期のみ	前期のみ	
28	前期のみ	前期のみ	
29	前期のみ	前期のみ	
30	前期のみ	前期のみ	
31	前期のみ	前期のみ	
32	前期のみ	前期のみ	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1A
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	32時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>JLPT N1</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>考える漢字・語彙 上級編</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	1課	導入	
2	1課	体系理解	
3	1課	類義語とコロケーション	
4	2課	導入	
5	2課	体系理解	
6	2課	類義語とコロケーション	
7	3課	導入	
8	3課	体系理解	
9	3課	類義語とコロケーション	
10	4課	導入	
11	4課	体系理解	
12	4課	類義語とコロケーション	
13	5課	導入	
14	5課	体系理解	
15	5課	類義語とコロケーション	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	6課	導入、体系理解	
18	6課	類義語とコロケーション	
19	7課	導入、体系理解	
20	7課	類義語とコロケーション	
21	8課	導入、体系理解	
22	8課	類義語とコロケーション	
23	9課	導入、体系理解	
24	9課	類義語とコロケーション	
25	10課	導入、体系理解	
26	10課	類義語とコロケーション	
27	11課	導入、体系理解	
28	11課	類義語とコロケーション	
29	12課	導入、体系理解	
30	1 2課	類義語とコロケーション	
31	総復習	総復習	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	学国語学習1B
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	32時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU読解・聴解・聴読解</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU過去問</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	EJU過去問演習①	EJU過去問演習読解①	
2	EJU過去問演習②	EJU過去問演習聴読解①	
3	EJU過去問演習③	EJU過去問演習聴解①	
4	EJU過去問演習④	EJU過去問演習読解②	
5	EJU過去問演習⑤	EJU過去問演習聴読解②	
6	EJU過去問演習⑥	EJU過去問演習聴解②	
7	EJU過去問演習⑦	EJU過去問演習読解③	
8	EJU過去問演習⑧	EJU過去問演習聴読解③	
9	EJU過去問演習⑨	EJU過去問演習聴解③	
10	EJU過去問演習⑩	EJU過去問演習読解④	
11	EJU過去問演習⑪	EJU過去問演習聴読解④	
12	EJU過去問演習⑫	EJU過去問演習聴解④	
13	EJU過去問演習⑬	EJU過去問演習読解⑤	
14	EJU過去問演習⑭	EJU過去問演習聴読解⑤	
15	EJU過去問演習⑮	EJU過去問演習聴解⑤	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	EJU過去問演習⑯	EJU過去問演習読解⑥	
18	EJU過去問演習⑰	EJU過去問演習聴読解⑥	
19	EJU過去問演習⑱	EJU過去問演習聴解⑥	
20	EJU過去問演習⑲	EJU過去問演習読解⑦	
21	EJU過去問演習⑳	EJU過去問演習聴読解⑦	
22	EJU過去問演習㉑	EJU過去問演習聴解⑦	
23	グループディスカッション①	グループディスカッション①	
24	グループディスカッション②	グループディスカッション②	
25	グループディスカッション③	グループディスカッション③	
26	グループディスカッション④	グループディスカッション④	
27	グループディスカッション⑤	グループディスカッション⑤	
28	グループディスカッション⑥	グループディスカッション⑥	
29	グループディスカッション⑦	グループディスカッション⑦	
30	グループディスカッション⑧	グループディスカッション⑧	
31	グループディスカッション⑨	グループディスカッション⑨	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1C
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>上級者のための日本語読解ワークブック</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・異文化理解①	・異文化の狭間で生きる	
2	・異文化理解②	・迫られる意識改革	
3	・異文化理解③	・日本人の行動パターン	
4	・異文化理解④	・お箸の文化	
5	・環境と人間①	・暮らしの木	
6	・環境と人間②	・破局が来る前に	
7	・環境と人間③	・環境問題の発端	
8	・環境と人間④	・日本最後のトキ	
9	・ITと情報社会①	・情報社会に生きる	
10	・ITと情報社会②	・コミュニケーション下手の日本人	
11	・ITと情報社会③	・「情報伝達」という神話	
12	・ITと情報社会④	・O×式の弊害	
13	・調整	・調整	
14	調整	調整	
15	調整	調整	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	・生物と自然①	・植物の生き方	
18	・生物と自然②	海の森	
19	・科学と技術①	・科学への夢は語れるか	
20	・科学と技術②	・科学の知	
21	・科学と技術③	・研究者の戒め	
22	・現代の社会①	・貧困の定義	
23	・現代の社会②	・高度成長がもたらしたもの	
24	・現代の社会③	・高齢化社会のもう一つの視点	
25	・現代の社会④	・社会学とは何か	
26	・余暇と娯楽①	・女子マラソン	
27	・余暇と娯楽②	・メルヘンの知恵	
28	・余暇と娯楽③	・一人旅の魅力	
29	調整	調整	
30	調整	調整	
31	調整	調整	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	数学Ⅱ
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	192時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU数学コースⅡ</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	三角関数①	弧度法	弧度法
2	三角関数②	正弦定理・余弦定理	正弦、余弦、正接
3	三角関数③	加法定理	加法定理、積、和の書きかえ
4	指数・対数関数①	指数関数①	指数の拡張
5	指数・対数関数②	指数関数②	指数関数のグラフ
6	指数・対数関数③	対数関数①	対数の性質、対数関数のグラフ
7	指数・対数関数④	対数関数②	常用対数
8	微分・積分の考え①	微積の考え①	微分係数と導関数
9	微分・積分の考え②	微積の考え②	接線、関数値の増減
10	微分・積分の考え③	積分の考え①	不定積分と定積分
11	微分・積分の考え④	積分の考え②	面積
12	微分法①	導関数	関数の和・差・積・商の関数、合成関数、逆関数
13	微分法②	導関数の応用	速度、加速度
14	積分法①	不定積分①	置換積分法
15	積分法①	不定積分①	置換積分法
16	積分法③ 期末試験	定積分① 期末試験	定積分の置換積分・奇関数・偶関数の定積分

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	積分法④	定積分②	定積分の部分積分
18	積分法⑤	積分の応用	面積、体積、長さ
19	数列①	数列とその和	等差数列、等比数列
20	数列②	漸化式と数学的帰納法	漸化式、数学的帰納法
21	ベクトル①	平面上のベクトル	ベクトルの演算、ベクトルの内積
22	ベクトル②	空間座標とベクトル	空間座標、空間ベクトル
23	複素数平面①	複素数の図表示・極形式	点の図示、偏角
24	複素数平面②	ドモアブルの定理	ドモアブルの定理
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
30	大学数学への導入	大学数学への導入	
31	大学数学への導入	大学数学への導入	
32	大学数学への導入	大学数学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	英語（有名私立）
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	128時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEIC</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>TOEFL受験対策</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>高校リード問題集 英語 I</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	文型	第1文型～第5文型	
2	文の種類	平叙文、疑問文、付加疑問文、否定疑問文、命令文、感嘆文	
3	基本時制	現在時制、過去時制、未来表現、現在進行形、過去進行形、未来進行形	
4	完了形	現在完了、現在完了進行形、過去完了、過去完了進行形	
5	助動詞	助動詞の種類と用法、その他の助動詞、助動詞+完了形	
6	受動態	能動態と受動態、助動詞と受動態、受動態の時制、受動態と文型、群動詞の受動態	
7	問題練習①	まとめテスト①	
8	不定詞	基本3用法、不定詞を含む重要表現、不定詞の否定形完了形受動態、原形不定詞	
9	動名詞	動名詞の用法、動名詞と不定詞、動名詞の否定形完了形受動態意味上の主語、動名詞を含む慣用表現	
10	分詞	分詞の形容詞的用法、SVC(C=分詞)、SVOC(C=分詞)、分詞の慣用表現	
11	使役動詞知覚動詞	使役動詞、知覚動詞、分詞を伴う近く動詞	
12	分詞構文	分詞構文の用法、完了形の分詞構文、否定の分詞構文、独立分詞構文	
13	問題練習②	まとめテスト②	
14	関係代名詞	関係代名詞の格変化、thatの用法、関係代名詞の省略、関係代名詞whatの用法、関係代名詞の非限定用法	
15	関係副詞	関係副詞where,when（制限用法と非制限用法）、関係副詞why,how	
16	比較 期末試験	比較変化、原級による比較、比較級による比較、最上級による比較 期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	問題練習③	まとめテスト③	
18	仮定法	仮定法過去、仮定法過去完了、「もし〜がなければ」	
19	接続詞	等位接続詞、従位接続詞、間接疑問文	
20	句と節	句、節、単文、重文、複文、文の書きかえ	
21	話法	時制の一致、話法の転換（平叙文命令文疑問文感嘆文）	
22	問題練習④	まとめテスト④	
23	名詞、冠詞	名詞の種類複数形所有格、不定冠詞の用法、定冠詞の用法、冠詞の位置と省略	
24	代名詞	人称代名詞、所有代名詞、再帰代名詞、支持用法、疑問代名詞、不定代名詞	
25	形容詞、副詞	形容詞の用法、数量を表す形容詞、副詞の用法と位置、疑問副詞	
26	強調、否定	強調、否定語、準否定語、部分否定、二重否定、慣用表現	
27	前置詞	前置詞の用法と種類、付帯状況のwith、群前置詞、成句を作る前置詞	
28	問題練習⑤	まとめテスト⑤	
29	発音とアクセント	発音、同音異義語、アクセント、文の強勢	
30	問題練習⑥	総合問題①、総合問題②	
31	問題練習⑦	総合問題③、総合問題④	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	キャリアデザイン I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・メンターの紹介 ・エール学園のルール ・クラスのルール	エール学園のルールを身につける。	メンター キャリアデザイン CD
2	・面談事前調査票 ・日本の大学のランク	個人面談の準備をする。 日本の大学のランクや評価を知る	個人面談 大学ランク
3	・大学受験に英語が必要な大学と、 必要ない大学	大学受験に英語が必要な大学と、必要ない大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	英語、TOEFL、TOEIC、IELTS
4	・DiSCについて	性格診断を行い、自分について理解する。	自己分析 DiSC
5	早期出願国公立・難関私大	早めの受験雰囲気醸成する 自分の現在の持ち点を振り返る	早期出願
6	・EJUその他科目が少ない国公立大学	EJUその他科目が少ない（特に文系にとって数学）大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	数学
7	・校外学習について①	校外学習の意義とルールを学ぶ。	校外学習 クラスコミュニティ
8	・校外学習について②	校外学習を振り返って、学んだことを共有し学びを深める。	校外学習 クラスコミュニティ
9	・EJU模試講評とEJUの勉強法 ・進路オリエンについて	EJU模試講評で、強味弱みを理解し、今後の勉強方法を考える。 進路オリエンテーションについて学ぶ。	模擬試験 オリエンテーション
10	・面接練習	国公立・難関私大の面接に求められる面接マナーを理解する	面接マナー
11	・国際交流祭について①	国際交流祭の意義を学ぶ。 国際交流祭の準備をする。	国際交流祭 クラスコミュニティ
12	・国際交流祭について② ・講師アンケート	国際交流祭を振り返って、感じたことを共有し学びを深める。	国際交流祭 クラスコミュニティ
13	・面接シート内容①	勉強以外にしたいことなど、基本的な質問への答え方を理解する	勉強以外にしたいこと、経費思弁
14	・面接シート内容②	日本留学理由、その大学・学部を選んだ理由など、面接の根幹的質問への答え方を理解する	来日理由、志望理由
15	・期末試験 ・英語の試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。 英語試験への理解を深める	TOEFL、TOEIC、IELTS

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	・面接のない国公立大学	面接が苦手な場合でも、国公立大学を受験できることを理解し、受験の科目の型を学。	面接なし
17	大学受験への準備	英語・数学を使うか、EJU・二次試験・面接・小論文重視かなどの評価の配点まで含めて、条件に適した複数の適正校の受験の大切さを理解する。	受験の科目配点
18	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
19	・国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
20	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
21	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
22	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
23	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
24	・在留資格の取消 ・国公立大学募集要項	ビザのルールについて学び、留学生としての意識を高める。 国公立大学受験の準備をする	ビザ 留学生 在留資格 入国管理局 不法滞在
25	・地域清掃について（導入） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動の意義を学ぶ。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
26	・地域清掃について（実施） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動をしやりがいを感じる。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
27	・地域清掃について（振り返り） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動を通じて学んだことをまとめ共有し、学びを深める。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
28	日本の就活について	日本の就職活動について理解する	就活
29	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	
30	面接マナー等振り返り	入試直前に、再度面接マナーを振り返る	面接
31	大学進学後について（大学生活・院試・就職活動・就職後）	メンター自身の経験等を話すことで、大学進学後の具体的なイメージを持ち、前向きに受験に挑む	大学生生活
32	1年の振り返り	これまでの日本での生活を振り返り、自信を持つ	これまでの総括

授業計画（シラバス）

科目名	物理
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	160時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU物理</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>チャレンジ理科〈物理〉 [改訂版]</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・力学① ・熱学①	・力学の基本 ・気体の法則	・運動と力 ・理想気体の状態方程式
2	・力学② ・熱学②	・速度と加速度 ・気体の状態変化	・速度、加速度 ・定積変化、変圧変化、等温変化、断熱変化
3	・力学③ ・熱学③	・落体の運動 ・熱と仕事①	・落体の運動、放物運動（斜方投射・水平投射） ・熱力学第一法則
4	・力学④ ・熱学④	・摩擦力と空気抵抗 ・モル比熱	・重力、摩擦力、抗力 ・定積モル比熱と定圧モル比熱
5	・力学⑤ ・熱学⑤	・運動の法則（いろいろな力、力のつりあい） ・熱と仕事②	・張力、弾性力、力の合成・分解 ・熱効率
6	・力学⑥ ・熱学⑥	・運動の法則（運動方程式） ・熱と仕事	・ニュートンの運動の3法則 熱力学第二法則
7	・力学⑦ ・波動①	・問題演習（運動） ・波	・静止摩擦力、動摩擦力、空気の抵抗 ・正弦波
8	・力学⑧ ・波動②	・仕事 ・音	・仕事の原理、仕事率 ・ドップラー効果
9	・力学⑨ ・波動③	・力学的エネルギー ・光	運動エネルギー、位置エネルギー ・スペクトル
10	・力学⑩ ・波動④	・仕事とエネルギーの関係 ・21世紀の物理学革命	・仕事とエネルギー
11	・力学⑪ ・原子①	・力学的エネルギー保存の法則 ・光電効果	・力学的エネルギー保存の法則 ・光電効果
12	・力学⑫ ・原子②	・問題演習（外力がする仕事） ・原子の構造	・外力 ・水素原子の構造
13	・力学⑬ ・原子③	・運動量と力積 ・原子核①	・運動量、力積 ・核反応
14	・力学⑭ ・原子④	・運動量保存の法則 ・原子核②	・運動量保存則 ・放射線、半減期
15	・力学⑮ ・電気と電磁気①	・問題演習（力積と運動量） ・電場	・力積と運動量 ・電界と電位
16	・力学⑯ ・電気と電磁気② 期末試験	・物体の衝突 ・コンデンサー① 期末試験	・衝突と分裂 ・コンデンサー

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	・力学⑬ ・電気と電磁気③	・反発係数 ・コンデンサー②	・反発係数、弾性衝突・非弾性衝突 ・誘電体
18	・力学⑭ ・電気と電磁気④	・等速円運動 ・直流回路①	・各速度、周期と回転数、向心力 ・オームの法則、ジュール熱
19	・力学⑮ ・電気と電磁気⑤	・慣性力 ・直流回路②	・慣性力、遠心力 ・キルヒホッフの法則
20	・力学⑯ ・電気と電磁気⑥	・単振動 ・電流と磁場	・単振動、ばね振り子、単振り子 ・電界、ローレンツ力
21	・力学⑰ ・電気と電磁気⑦	・万有引力の法則 ・電磁誘導と電磁波	・ケプラーの法則、 ・ファラデーの電磁誘導の法則、自己誘導
22	・力学⑱ ・電気と電磁気⑧	・剛体の力学 ・交流回路と電磁波	・力のモーメント、合力、偶力、剛体のつりあい ・リアクタンス
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
30	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
31	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
32	大学物理学への導入	大学物理学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	化学
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	160時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU化学</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>エクセル化学総合版 新課程</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	有機化学	有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、	異性体、元素分析、組成式、炭化水素の反応経路図
2	有機化学	酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物	アルコール、エステル、セッケン、芳香族炭化水素、フェノール類
3	物質の変化	モル計算、溶液の濃度	原子量・分子量・式量、物質質量、モル質量、モル濃度
4	物質の変化	結晶格子、物質の三態	結晶、気体、液体、個体、状態変化
5	物質	気体	ボイル・シャルルの法則
6	物質	気体	気体の状態方程式
7	物質	固体の溶解度	飽和溶液、再結晶
8	物質	気体の溶解度	ヘンリーの法則
9	物質	希薄溶液	希薄溶液
10	物質	酸・塩基	水素イオン、中和
11	物質	熱化学	反応熱、ヘスの法則
12	物質	化学反応速度	反応速度式
13	物質	化学平衡	化学平衡の法則
14	物質	化学平衡	ルシャトリエの原理
15	物質	酸化還元	酸化数、酸化剤と還元剤、酸化還元反応
16	物質 期末試験	電池・電気分解 期末試験	ダニエル電池、陽極・陰極、ファラデーの法則

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	無機化学	無機物質	非金属元素、典型金属元素、遷移元素
18	無機化学	無機物質	金属イオンの分離と推定、無機物質と人間生活
19	高分子化合物	天然分子化学	糖
20	高分子化合物	天然分子化学	アミノ酸とタンパク質・核酸
21	高分子化合物	合成高分子化学	合成繊維、合成樹脂、合成ゴム
22	高分子化合物	合成高分子化学	機能性高分子化合物、有機化合物と人間生活
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学化学への導入	大学化学への導入	
30	大学化学への導入	大学化学への導入	
31	大学化学への導入	大学化学への導入	
32	大学化学への導入	大学化学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	生物
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	160時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU生物</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	細胞と遺伝子①	生物の多様性と共通性	細胞、顕微鏡とマイクロメーター、ATPと酵素、光合成と呼吸
2	生命現象と物質①	細胞と分子①	タンパク質、細胞膜と細胞骨格、抗体と生体防御
3	生命現象と物質①	細胞と分子①	発酵、細菌の炭酸同化、窒素同化、
4	細胞と遺伝子②	遺伝子とそのはたらき	DNAの構造、ゲノム、遺伝情報
5	生命現象と物質①	遺伝情報とその発見	DNAとその複製、形質発現と調節、バイオテクノロジー
6	生殖と発生①	生殖と遺伝	減数分裂と染色体、染色体と遺伝子組換え
7	生殖と発生②	発生とそのしくみ	卵割、誘導、形態形成と遺伝子、植物の生殖と発生
8	生物の体内環境の維持①	体内環境	体液、細胞膜、腎臓と肝臓
9	生物の体内環境の維持②	体内環境の調節と免疫	自律神経、ホルモン、免疫
10	生物の環境応答①	動物の刺激の受容と反応	ニューロン、受容器、中枢神経系と末梢神経系、効果器
11	生物の環境応答①	植物の環境応答	刺激に対する植物の反応
12	生物の環境応答①	植物の環境応答	発芽と成長の調節
13	生物の多様性と生態系①	植生とその移り変わり	植物の遷移
14	生物の多様性と生態系①	植生とその移り変わり	気候とバイオーム
15	生物の多様性と生態系②	生態系とその保全	食物連鎖、物質循環とエネルギーの流れ
16	生物の多様性と生態系② 期末試験	生態系とその保全 期末試験	生態系の平衡と人間活動

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	生態系と環境①	生物群衆と生態系	個体群と環境、個体群内・個体群間の相互作用
18	生態系と環境①	生物群衆と生態系	生態系の物質収支
19	生物の進化と系統①	生物の起源と進化	海での生物の誕生、陸への進出
20	生物の進化と系統①	生物の起源と進化	進化の証拠、進化の仕組み
21	生物の進化と系統①	生物の系統と分類	細菌ドメインと古細菌ドメイン
22	生物の進化と系統①	生物の系統と分類	真核生物ドメイン (原生生物界・植物界・菌界・動物界)
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
30	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
31	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
32	大学生物学への導入	大学生物学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	TOEFL受験対策
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（有名私立大学進学コース1年制）（理系）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEFL</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>英語（国公立）</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>なし</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	TOEFLとは何か	TOEFLの試験を理解する。	
2	リーディングセッション①	TOEFLのリーディングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
3	リーディングセッション②	リーディングセッション問題演習①	
4	リーディングセッション③	リーディングセッション問題演習②	
5	リスニングセッション①	TOEFLのリスニングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
6	リスニングセッション②	リスニングセッション問題演習①	
7	リスニングセッション③	リスニングセッション問題演習②	
8	ライティングセッション①	TOEFLのライティングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
9	ライティングセッション②	ライティングセッション問題演習①	
10	ライティングセッション③	ライティングセッション問題演習②	
11	スピーキングセッション①	TOEFLのスピーキングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
12	スピーキングセッション②	スピーキングセッション問題演習①	
13	スピーキングセッション③	スピーキングセッション問題演習②	
14	総合問題演習①	リーディング・リスニングセッション問題演習	
15	総合問題演習②	ライティング・スピーキングセッション問題演習	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	前期のみ	前期のみ	
18	前期のみ	前期のみ	
19	前期のみ	前期のみ	
20	前期のみ	前期のみ	
21	前期のみ	前期のみ	
22	前期のみ	前期のみ	
23	前期のみ	前期のみ	
24	前期のみ	前期のみ	
25	前期のみ	前期のみ	
26	前期のみ	前期のみ	
27	前期のみ	前期のみ	
28	前期のみ	前期のみ	
29	前期のみ	前期のみ	
30	前期のみ	前期のみ	
31	前期のみ	前期のみ	
32	前期のみ	前期のみ	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習 I A（文字・語彙）
学年	1年

学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>語彙を学ぶ授業である本授業では、さまざまなタイプの文章を扱い、知らない言葉でも用例から意味を推測したり、使われ方のルールを見つけ出すという実践的な内容を通して学んでもらう。現実生活に基づいた言語学習を教室内で追体験して再確認してもらうことで、文字や語彙の学習には受験対策としての暗記とは別の方法があることを知り、学習の楽しさを再確認してもらう。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>考える語彙・漢字 超級編</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	授業概要の説明	授業の目的を理解する	
2	1課	狂言「舟船」より	
3	1課	狂言「舟船」より	
4	2課	漫画「エロイカより愛をこめて」より	
5	2課	漫画「エロイカより愛をこめて」より	
6	3課	随筆「足寄」より	
7	3課	随筆「足寄」より	
8	1～3課 復習とまとめ		
9	4課	戯曲「マクベス」より	
10	4課	戯曲「マクベス」より	
11	5課	詩「雪」より	
12	5課	詩「雪」より	
13	6課	童話「三枚の雪の葉」より	
14	6課	童話「三枚の雪の葉」より	
15	4～6課 復習とまとめ		
16	期末試験		

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	7課	小説「濡れかけた兄妹」より	
18	7課	小説「濡れかけた兄妹」より	
19	8課	評論「身体感覚を取り戻す」より	
20	8課	評論「身体感覚を取り戻す」より	
21	9課	短歌「一握の砂」より	
22	9課	短歌「一握の砂」より	
23	7～9課 復習とまとめ		
24	10課	旅行ガイド「古寺に行く」より	
25	10課	旅行ガイド「古寺に行く」より	
26	11課	小説「むじな」より	
27	11課	小説「むじな」より	
28	12課	随筆「カワセミを待つおやじたち」より	
29	12課	随筆「カワセミを待つおやじたち」より	
30	10～12課 復習とまとめ		
31	1～12課 振り返り	ここまでの授業体験を振り返る	
32	期末試験		

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習 I B（聴解）
学年	1年

学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>日本語能力試験のN1に合格するための聴解の能力を身につける。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>日本語能力試験 N1</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>日本語能力試験問題集N1聴解 スピードマスター 日本語総まとめ聴解N1</p> <p>日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解 ニュースの日本語 聴解 50</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	課題理解（p16～17）	課題理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	課題理解
2	ポイント理解（p27～29）	ポイント理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	ポイント理解
3	概要理解（p37）	概要理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	概要理解
4	即時応答（p38）	即時応答の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	即時応答
5	統合理解（p39）	統合理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	統合理解
6	JLPT模試のフィードバック	JLPT模試の問題を振り返り、知識や正答のコツを習得する。	
7	JLPT模試のフィードバック	JLPT模試の問題を振り返り、知識や正答のコツを習得する。	
8	第1回模擬試験（前半）	JLPTの模擬試験を行い、知識や正答のコツを習得する。	
9	第1回模擬試験（後半）	JLPTの模擬試験を行い、知識や正答のコツを習得する。	
10	ポイント理解（p30～31）	ポイント理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
11	概要理解（p37）	概要理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
12	即時応答（p38）	即時応答の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
13	課題理解（p18～20）	課題理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
14	ポイント理解（p32～33）	ポイント理解の問題に慣れ、正答のコツをつかむ。	
15	前期振り返り・復習		
16	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
18	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
19	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
20	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
21	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の問題を解き、正答のコツをつかむ。	
22	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解 模擬P82～	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
23	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解 模擬P82～	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
24	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
25	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
26	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
27	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
28	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
29	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
30	ニュースの日本語 聴解 50	ニュースで出てくる日本語を理解し、ニュース文の聞き取りに慣れる。	
31	日本語能力試験N1・N2 試験に出る聴解	実際のJLPT形式の模擬試験を解き、問題に慣れる。	
32	期末試験	期末試験を行い理解度を確認する。	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習 I C（読解、文法）	学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
学年	1年	時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学学部教養レベルの読解能力と文法の運用能力を身につけることを目的にすると同時に、本授業ではそれぞれのテーマに沿ったディスカッションを定期的に行っていく。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>上級者のための日本語読解ワークブック</p> <p>授業内で指示</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・異文化理解① ・日本語の世界①	・異文化の狭間で生きる ・ヤマトコトバ	
2	・異文化理解② ・日本語の世界②	・迫られる意識改革 ・日本語の一人称はなぜ多い	
3	・異文化理解③ ・日本語の世界③	・日本人の行動パターン ・方言の見直し	
4	・異文化理解④ ・日本の文化①	・お箸の文化 ・豊かな縄文文化	
5	セッション：異文化理解	異文化理解をテーマにディスカッション	
6	・環境と人間① ・日本の文化②	・暮らしの木 ・日本の仕切	
7	・環境と人間② ・日本の文化③	・破局が来る前に ・羞恥心はどこへ消えた？	
8	・環境と人間③ ・日本の文化④	・環境問題の発端 ・形の美	
9	・環境と人間④ ・日本人の行動様式①	・日本最後のトキ ・赤信号、みんなで渡れば怖くない	
10	セッション：環境問題	環境問題をテーマにディスカッション	
11	・ITと情報社会① ・日本人の行動様式②	・情報社会に生きる ・「べた靴」現象とひきこもり	
12	・ITと情報社会② ・日本人の行動様式③	・コミュニケーション下手の日本人 ・逆立ち現象	
13	・ITと情報社会③ ・言語とコミュニケーション①	・「情報伝達」という神話 ・社会と言語	
14	・ITと情報社会④ ・言語とコミュニケーション②	・O×式の弊害 ・「名づけ」という行動	
15	セッション：情報社会	情報社会をテーマにディスカッション	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	・生物と自然① ・心理と哲学①	・植物の生き方 ・固定観念	
18	・生物と自然② ・心理と哲学②	海の森 ・仮面の役割	
19	・科学と技術① ・心理と哲学③	・科学への夢は語れるか ・自由であること	
20	・科学と技術② ・心理と哲学④	・科学の知 ・歴史とは何か	
21	・科学と技術③ ・教育と学び①	・研究者の戒め ・「個性」を煽られる子ども	
22	セッション：自然と科学議出	自然と科学技術をテーマにディスカッション	
23	・現代の社会① ・教育と学び②	・貧困の定義 ・学びの主体性	
24	・現代の社会② ・教育と学び③	・高度成長がもたらしたもの ・学ぶ喜び	
25	・現代の社会③ ・教育と学び④	・高齢化社会のもう一つの視点 ・嫉と感化	
26	・現代の社会④	・社会学とは何か ・犯罪報道について	
27	セッション：教育	教育をテーマにディスカッション	
28	・余暇と娯楽① ・報道とマスコミ①	・女子マラソン ・報道写真の真実	
29	・余暇と娯楽② ・報道とマスコミ②	・メルヘンの知恵 ・メディアの虚実	
30	・余暇と娯楽③ ・報道とマスコミ③	・一人旅の魅力 ・調整	
31	セッション：マスメディア	マスメディアをテーマにディスカッション	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	総合英語
学年	1年

学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
時限	128時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学院受験に必要なTOEIC受験対策授業を中心に、英語で考え英語で話す力をつける。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEIC</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>授業内で指示</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	授業概要の説明	授業の目的とスケジュール	
2	TOEICの基本問題校正	TOIECの問題形式を理解する	
3	写真描写問題対策①	写真描写問題の特徴を理解する	
4	写真描写問題対策②	写真描写問題の特徴を理解する	
5	応答問題対策①	応答問題の特徴を理解する	
6	応答問題対策②	応答問題の特徴を理解する	
7	3～6 復習問題	ここまでの復習を行う	
8	会話をしてみよう①	クラスメイトとの会話を行う	
9	会話をしてみよう②	身の回りのこと、日常を話す	
10	会話問題対策①	会話問題の特徴を理解する	
11	会話問題対策②	会話問題の特徴を理解する	
12	会話問題対策③	会話問題の特徴を理解する	
13	会話問題対策④	会話問題の特徴を理解する	
14	8～9 復習	ここまでの復習を行う 会話練習も行う	
15	前期まとめ	前期で取り上げた問題形式を理解	
16	前期末試験		

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	説明文問題対策①	説明文問題の特徴を理解する	
18	説明文問題対策①	説明文問題の特徴を理解する	
19	説明文問題対策①	説明文問題の特徴を理解する	
20	17～19 復習	ここまでの復習を行う 自分で考えていることを表現する会話の練習	
21	長文穴埋め対策①	長文読解に挑戦する①	
22	長文穴埋め対策②	長文穴埋め問題の特徴を理解する	
23	長文穴埋め対策③	長文穴埋め問題の特徴を理解する	
24	21～24 復習	ここまでの復習を行う 自分で考えていることを表現する会話の練習	
25	長文読解対策①	長文読解に挑戦する②	
26	長文読解対策②	長文読解問題の特徴を理解する	
27	長文読解対策③	長文読解問題の特徴を理解する	
28	長文読解対策④	長文読解問題の特徴を理解する	
29	26～28 復習	ここまでの復習を行う	
30	後期まとめ	後期のまとめ（読解）	
31	年間まとめ	年間まとめと試験対策	
32	後期末試験		

授業計画（シラバス）

科目名	グループ研究ゼミ I
学年	1年

学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
時限	160時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>自然科学・社会科学・人文科学の各専門分野ゼミに分かれ、進学志望大学院で自ら研究する研究テーマを定め、自らの研究計画を作成することを第一の目的とする。また自分の研究計画の発表も行う。担当教員と相談する中で研究計画を作成していくが、基本的にごちからからテーマを与えることはせず、自らが大学院で研究したいと思うテーマを決めて研究計画の作成を進めてもらう。また、本授業の目的の一つは、自らが意図していることを論理的に口頭や文書で第三者に説明するための訓練を行うことにある。さらに他者の発表・報告を聞いた者はそれに対して発展性のある批判ができるように学術的コミュニケーションの訓練も行う。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>『研究計画作成法』、他は授業内で適宜指示する。</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	研究計画の基本①	研究計画書を書く目的を考える	
2	研究計画の基本②	研究計画書の構成を学ぶ	
3	研究計画の基本③	研究計画書の文体を確認する	
4	研究計画の基本④	研究計画書で使われる表現を学ぶ	
5	研究計画作成①	研究課題を考える	
6	研究計画作成②	研究課題を絞り込む	
7	研究計画作成③	研究目的を書く	
8	研究計画作成④	研究動機・背景を書く	
9	研究計画作成⑤	研究意義を書く①	
10	研究計画作成⑥	研究意義を書く②	
11	研究計画作成⑦	引用の仕方を学ぶ	
12	研究計画作成⑧	研究論文、先行研究を読む①	
13	研究計画作成⑨	研究論文、先行研究を読む②	
14	研究計画作成⑩	参考文献リストを作成する	
15	研究計画作成⑪	ここまでのまとめ	
16	期末試験		

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	研究計画作成⑫	研究方法を実例から学ぶ	
18	研究計画作成⑬	研究方法を実例から学ぶ	
19	研究計画作成⑭	研究方法を考える	
20	プレゼン準備①	研究計画を他の人に伝える方法を学ぶ	
21	プレゼン準備②	発表資料を準備する	
22	プレゼン準備③	発表資料を準備する	
23	研究計画発表①	研究計画を発表する。クラスメイトの発表を聞き、議論を行う。	
24	研究計画発表②	研究計画を発表する。クラスメイトの発表を聞き、議論を行う。	
25	研究計画発表③	研究計画を発表する。クラスメイトの発表を聞き、議論を行う。	
26	研究計画発表④	研究計画を発表する。クラスメイトの発表を聞き、議論を行う。	
27	研究計画発表⑤	研究計画を発表する。クラスメイトの発表を聞き、議論を行う。	
28	研究計画発表振り返り①	研究発表会の振り返りを行う。クラスメイトの発表で参考になった点を考える。	
29	研究計画発表振り返り②	研究発表会の振り返りを行う。クラスメイトの発表で参考になった点を考え、自らの計画に活かす	
30	研究計画ブラッシュアップ①	研究発表会を通じ学んだ事を活かして、研究計画をブラッシュアップする	
31	研究計画ブラッシュアップ②	研究計画を完成させる	
32	後期試験		

授業計画（シラバス）

科目名	小論文
学年	1年

学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学院レベルにふさわしい論述力を身につけ、論理的な文章を書けるようにする</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>グループ研究ゼミ I</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>適宜指示</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	授業概要の説明	授業の進め方を説明する。	
2	小論文の基礎	小論文の構成を理解する。	
3	テーマ①-1	与えられたテーマを、まず自分で考え300字程度の文章にしてみる。	
4	テーマ①-2	テーマについて小グループで議論を行い、他の意見を知る。	
5	テーマ①-3	テーマについて議論を行う。	
6	テーマ①-4	議論を踏まえて、自分の意見を300字に落とし込む	
7	テーマ①-5	返却されたものを参考に文章を完成させる。	
8	テーマ②-1	与えられたテーマを、まず自分で考え400字程度の文章にしてみる。	
9	テーマ②-2	テーマについて小グループ、クラス全体で議論を行う。	
10	テーマ②-3	議論を踏まえて、400字に落とし込み、課題として提出する	
11	テーマ②-4	全体に対してフィードバック 返却された課題とフィードバックを参考に文章を完成させる。	
12	テーマ③-1	与えられたテーマを、まず自分で考え600字程度の文章にしてみる。	
13	テーマ③-2	テーマについて小グループ、クラス全体で議論を行う。	
14	テーマ③-3	議論を踏まえて、600字に落とし込み、課題として提出する	
15	テーマ③-4	全体に対してフィードバック 返却された課題とフィードバックを参考に文章を完成させる。	
16	期末試験		

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	テーマ④-1	与えられたテーマを、まず自分で考えて800字の文章にしてみる。	
18	テーマ④-2	テーマについて小グループ、クラス全体で議論を行う。	
19	テーマ④-3	議論を踏まえて、800字に落とし込み、課題として提出する	
20	テーマ④-4	全体に対してフィードバック 返却された課題とフィードバックを参考に文章を完成させる。	
21	テーマ⑤-1	与えられたテーマを、まず自分で考えて1000字の文章にしてみる。	
22	テーマ⑤-2	テーマについて小グループ、クラス全体で議論を行う。	
23	テーマ⑤-3	議論を踏まえて、1000字に落とし込む。 適宜個別指導を行う。	
24	テーマ⑤-4	議論を踏まえて、1000字に落とし込む。 適宜個別指導を行う。	
25	テーマ⑤-5	議論を踏まえて、1000字に落とし込む。 適宜個別指導を行う。 課題として提出する。	
26	テーマ⑤-6	全体に対してフィードバック 返却された課題とフィードバックを参考に文章を完成させる。	
27	テーマ⑥-1	与えられたテーマを、まず自分で1000字の文章にしてみる。	
28	テーマ⑥-2	テーマについて小グループ、クラス全体で議論を行う。	
29	テーマ⑥-3	議論を踏まえて、1000字に落とし込む。	
30	テーマ⑥-4	議論を踏まえて、1000字に落とし込み、課題として提出する	
31	テーマ⑥-5	全体に対してフィードバック 返却された課題とフィードバックを参考に文章を完成させる。	
32	期末試験		

授業計画（シラバス）

科目名	講読・発表
学年	1年

学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
時限	64時限

【授業内容・到達目標】
定められた

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

授業計画（シラバス）

科目名	キャリアデザイン I
学年	1年

学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①大学院進学志望者に対して進学指導、およびその一環として、現在から大学院修了後までを視野に入れ、自己分析・理解を進めながら「なりたい自分」「つくす自分」を実現する。</p> <p>②学生が自発的に行動できるように導く。</p> <p>③学園やクラスへの帰属意識を高め、メンター、講師も巻き込んで、学生同士がお互いに高め合っていける雰囲気を作る。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>なし</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	大学院進学について 導入編①	キャリアデザインの位置づけを理解させる。	
2	大学院進学について 導入編②	大学院進学に係る基礎用語を確認する。	
3	大学院進学について 導入編③	大学院に進学する目的を考える 大学入試と大学院入試の違いを理解する。	
4	大学院進学について 導入編④	先輩の成功事例・失敗事例をもとに半年と1年のスケジュールを作成する	
5	自己分析①	DISCを通じて、自己分析を行い、自分の強み・弱みを理解する	
6	自己分析②	DISCの結果を自分で分析にクラスメイトに話してみる。	
7	情報収集①	大学院の情報収集手段を紹介する	
8	情報収集②	教授・研究者の探し方を紹介する	
9	研究計画書①	研究計画書の提出が事前に求められる意味を考える	
10	研究計画書②	研究計画書の例を見て、その基本構成を理解する	
11	研究計画書③	教授とのコミュニケーションを始めるツールであるという視点から自らの研究計画書を見直す	
12	事前連絡と面接①	教授への事前連絡の方法、メール連絡の基本的なマナーを再確認する	
13	事前連絡と面接②	教授と会ったときの基本的なマナーを再確認する	
14	伝える力①	独りよがりではなく、他者の共感を呼ぶ伝え方、内容を考え研究に活かせるようにする	
15	伝える力②	有名なスピーチが、なぜ人の心を揺さぶるのかを考え、そこから自分の生き方も振り返る	
16	後期末試験		

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	前期の振り返り	前期の自分の行動を振り返り、当初のスケジュールとの差をみる。	
18	伝える力③	教授に自分の考えていることが伝わる言葉、表現を考える。	
19	研究計画書④	ここまでやったことを使いながら、自らの研究計画書を見直してみる。	
20	研究計画書⑤	自らの発見があれば、それをクラスメイトに共有する	
21	先輩に聞く①	OBOGとの交流	
22	先輩に聞く②	OBOGとの交流	
23	受験に向けて①	受験準備を行う	
24	受験に向けて②	受験準備を行う	
25	受験に向けて③	受験準備を行う	
26	地域清掃について（導入） 受験に向けて④	地域清掃などの地域貢献活動の意義を学ぶ。 受験準備を行う	
27	地域清掃について（実施） 受験に向けて⑤	地域清掃などの地域貢献活動をしやりがいを感じる。 受験準備を行う	
28	地域清掃について（振り返り）	地域貢献活動を通じて学んだことをまとめ共有し、学びを深める。 受験準備を行う	
29	期末試験		
30	大学院進学後について①	大学院進学後の具体的なイメージを持つ	
31	大学院進学後について②	大学院進学後の具体的なイメージを持つ	
32	1年の振り返り	この1年を振り返り、成長を感じ、卒業後の研究・生活に自信を持つ	

授業計画（シラバス）

科目名	政治・経済	学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
学年	1年	時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>社会科学系の大学院進学志望者のために、高校・大学で学習する基本的な政治・経済・経営理論の総括を行う。この授業では専門的な領域までに入ることはせず、講義各回では概論を解説することになるが、そこでは、それぞれの理論や議論を理解することが期待される。また自らの研究テーマ、専門領域以外で行われている理論や議論を知ること、今後の研究のために視野と知見を広げることが目的である。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席・平常点・期末試験で評価する。 前期のみの開講</p>

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>グループ研究ゼミ I</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>授業内で適宜指示する。</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	経済学概論	ミクロ経済とマクロ経済について理解する	経済学
2	経済学概論	ミクロ経済学概論	経済学
3	経済学概論	マクロ経済学概論	経済学
4	経済学概論	古典派、マルクス派経済理論	経済学
5	経済学概論	ケインズ派、ポスト・ケインズ派経済理論	経済学
6	経済学概論	ゲーム理論入門	経済学
7	経済学概論	経済史概論	経済学
8	経済学概論	日本経済史	経済学
9	経済学概論	アジア経済史	経済学
10	経済学概論	経済学概論 総括、およびグループ討議	経済学
11	経営学概論	経営学概論	経営学
12	経営学概論	統計学基礎	経営学
13	経営学概論	経営戦略	経営学
14	経営学概論	経営戦略 1	経営学
15	経営学概論	経営戦略 2	経営学
16	経営学概論	経営組織 1	経営学

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	経営学概論	経営戦略 2	経営学
18	経営学概論	マーケティング・マネジメント 1	経営学
19	経営学概論	マーケティング・マネジメント 2	経営学
20	経営学概論	経営学概論総括、およびグループ討議	経済学
21	政治学概論	国家と政府 1	政治学
22	政治学概論	国家と政府 2	政治学
23	政治学概論	政党と政党制 1	政治学
24	政治学概論	政党と政党制 2	政治学
25	政治学概論	政策 1	政治学
26	政治学概論	政策 2	政治学
27	政治学概論	国際関係と国際政治 1	政治学
28	政治学概論	国際関係と国際政治 2	政治学
29	政治学概論	マスメディア 1	政治学
30	政治学概論	マスメディア 2	政治学
31	政治学概論	政治学概論総括、およびグループ討議	政治学
32	総括	総括：社会科学	社会科学

授業計画（シラバス）

科目名	数学 I・II
学年	1年

学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>理系大学院進学志望者を対象として、大学学部で学習する数学の入門・基礎から応用までを総括し、大学院入試に備える。数学という科目の楽しさを再認識させるだけでなく、実践力、つまり、計算に習熟し、大学院入試・口頭試問に耐えうる思考力と応用力を鍛える。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>グループ研究ゼミ I</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>大学数学の総括 エール学園</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	微分：基礎、極限	数列と関数の極限	微分
2	微分：微分の基本	微分の基本を理解する	微分
3	多変数関数の偏導関数.	多変数関数の偏導関数.	微分
4	Taylor 展開とMaclaurin 展開	多変数関数のTaylor 展開, Maclourin 展開	微分
5	多変数関数の極値	条件付多変数関数の極値	微分
6	積分：基本	置換積分、部分積分、広義の定積分	積分
7	重積分	変数変換、広義の重積分	積分
8	積分：応用	立体の体積、回転体の表面積、曲面積	積分
9	微分方程式	解法の基本を理解する	積分
10	偏微分方程式	熱伝導・弦の振動の偏微分方程式	積分
11	線形代数学	行列の演算、1次変換、線形代数	線形代数
12	ラプラス変換	変換の公式	ラプラス変換
13	ラプラス変換	微分方程式への応用	ラプラス変換
14	ラプラス変換	ヘビサイド関数とディラックのデルタ関数	ラプラス変換
15	フーリエ解析	フーリエ級数	フーリエ解析
16	フーリエ解析	フーリエ積分	フーリエ解析

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	フーリエ解析	フーリエ変換	フーリエ解析
18	複素数解析	複素関数	複素数解析
19	複素数解析	微分、積分	複素数解析
20	複素数解析	特異点・留数	複素数解析
21	複素数解析	m 位の零点・n 位の極	複素数解析
22	統計学	事象と確率	統計学
23	統計学	確率変数	統計学
24	統計学	資料の整理	統計学
25	統計学	平均値と分散・標準偏差	統計学
26	統計学	共分散と相関係数	統計学
27	統計学	種々の理論的分布	統計学
28	統計学	区間推定	統計学
29	統計学	有意差の検定	統計学
30	EXCEL による統計実務	区間推定	統計学
31	EXCEL による統計実務	有意差の検定	統計学
32	総括	大学数学の総括	大学数学

授業計画（シラバス）

科目名	TOEFL受験対策
学年	1年

学科・コース	応用日本語学科（大学院進学コース1年制）
時限	32時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学院受験に必要なTOEFL受験対策授業。TOEFLでの高得点を旨す。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEFL</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>なし</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	TOEFLとは何か	TOEFLの試験を理解する。	
2	リーディングセッション①	TOEFLのリーディングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
3	リーディングセッション②	リーディングセッション問題演習①	
4	リーディングセッション③	リーディングセッション問題演習②	
5	リスニングセッション①	TOEFLのリスニングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
6	リスニングセッション②	リスニングセッション問題演習①	
7	リスニングセッション③	リスニングセッション問題演習②	
8	ライティングセッション①	TOEFLのライティングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
9	ライティングセッション②	ライティングセッション問題演習①	
10	ライティングセッション③	ライティングセッション問題演習②	
11	スピーキングセッション①	TOEFLのスピーキングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
12	スピーキングセッション②	スピーキングセッション問題演習①	
13	スピーキングセッション③	スピーキングセッション問題演習②	
14	総合問題演習①	リーディング・リスニングセッション問題演習	
15	総合問題演習②	ライティング・スピーキングセッション問題演習	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	前期のみ	前期のみ	
18	前期のみ	前期のみ	
19	前期のみ	前期のみ	
20	前期のみ	前期のみ	
21	前期のみ	前期のみ	
22	前期のみ	前期のみ	
23	前期のみ	前期のみ	
24	前期のみ	前期のみ	
25	前期のみ	前期のみ	
26	前期のみ	前期のみ	
27	前期のみ	前期のみ	
28	前期のみ	前期のみ	
29	前期のみ	前期のみ	
30	前期のみ	前期のみ	
31	前期のみ	前期のみ	
32	前期のみ	前期のみ	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1A
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①JLPT出題基準となる語彙、または重要度の高い語彙（頻度値・親密度値の高い語彙）を能動的に学習する。 ②①の語彙を体系的に理解する。 ③①の語彙の、コロケーションを考え、類義語との使い分けができるようになる。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>JLPT N1</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>考える漢字・語彙 上級編</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	1課	導入	
2	1課	体系理解	
3	1課	類義語とコロケーション	
4	2課	導入	
5	2課	体系理解	
6	2課	類義語とコロケーション	
7	3課	導入	
8	3課	体系理解	
9	3課	類義語とコロケーション	
10	4課	導入	
11	4課	体系理解	
12	4課	類義語とコロケーション	
13	5課	導入	
14	5課	体系理解	
15	5課	類義語とコロケーション	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	6課	導入、体系理解	
18	6課	類義語とコロケーション	
19	7課	導入、体系理解	
20	7課	類義語とコロケーション	
21	8課	導入、体系理解	
22	8課	類義語とコロケーション	
23	9課	導入、体系理解	
24	9課	類義語とコロケーション	
25	10課	導入、体系理解	
26	10課	類義語とコロケーション	
27	11課	導入、体系理解	
28	11課	類義語とコロケーション	
29	12課	導入、体系理解	
30	1 2課	類義語とコロケーション	
31	総復習	総復習	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	学国語学習1B
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学進学後の授業に対応できる実践的な聴解力を身につける。読解の問題を読んでわかるだけでなく、聞いて理解し、発話、ディスカッションに発展させる力を同時に養う。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU読解・聴解・聴読解</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU過去問</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	EJU過去問演習①	EJU過去問演習読解①	
2	EJU過去問演習②	EJU過去問演習聴読解①	
3	EJU過去問演習③	EJU過去問演習聴解①	
4	EJU過去問演習④	EJU過去問演習読解②	
5	EJU過去問演習⑤	EJU過去問演習聴読解②	
6	EJU過去問演習⑥	EJU過去問演習聴解②	
7	EJU過去問演習⑦	EJU過去問演習読解③	
8	EJU過去問演習⑧	EJU過去問演習聴読解③	
9	EJU過去問演習⑨	EJU過去問演習聴解③	
10	EJU過去問演習⑩	EJU過去問演習読解④	
11	EJU過去問演習⑪	EJU過去問演習聴読解④	
12	EJU過去問演習⑫	EJU過去問演習聴解④	
13	EJU過去問演習⑬	EJU過去問演習読解⑤	
14	EJU過去問演習⑭	EJU過去問演習聴読解⑤	
15	EJU過去問演習⑮	EJU過去問演習聴解⑤	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	EJU過去問演習⑯	EJU過去問演習読解⑥	
18	EJU過去問演習⑰	EJU過去問演習聴読解⑥	
19	EJU過去問演習⑱	EJU過去問演習聴解⑥	
20	EJU過去問演習⑲	EJU過去問演習読解⑦	
21	EJU過去問演習⑳	EJU過去問演習聴読解⑦	
22	EJU過去問演習㉑	EJU過去問演習聴解⑦	
23	グループディスカッション①	グループディスカッション①	
24	グループディスカッション②	グループディスカッション②	
25	グループディスカッション③	グループディスカッション③	
26	グループディスカッション④	グループディスカッション④	
27	グループディスカッション⑤	グループディスカッション⑤	
28	グループディスカッション⑥	グループディスカッション⑥	
29	グループディスカッション⑦	グループディスカッション⑦	
30	グループディスカッション⑧	グループディスカッション⑧	
31	グループディスカッション⑨	グループディスカッション⑨	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1C
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①日本語の文章に慣れること、文法知識と語彙を増やすこと、背景知識を増やすこと ②①の結果、EJU日本語科目高得点取得、大学受験対応、大学進学後の授業に対応すること</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>上級者のための日本語読解ワークブック</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・異文化理解① ・日本語の世界①	・異文化の狭間で生きる ・ヤマトコトバ	
2	・異文化理解② ・日本語の世界②	・迫られる意識改革 ・日本語の一人称はなぜ多い	
3	・異文化理解③ ・日本語の世界③	・日本人の行動パターン ・方言の見直し	
4	・異文化理解④ ・日本の文化①	・お箸の文化 ・豊かな縄文文化	
5	・環境と人間① ・日本の文化②	・暮らしの木 ・日本の仕切	
6	・環境と人間② ・日本の文化③	・破局が来る前に ・羞恥心はどこへ消えた？	
7	・環境と人間③ ・日本の文化④	・環境問題の発端 ・形の美	
8	・環境と人間④ ・日本人の行動様式①	・日本最後のトキ ・赤信号、みんなで渡れば怖くない	
9	・ITと情報社会① ・日本人の行動様式②	・情報社会に生きる ・「べた靴」現象とひきこもり	
10	・ITと情報社会② ・日本人の行動様式③	・コミュニケーション下手の日本人 ・逆立ち現象	
11	・ITと情報社会③ ・言語とコミュニケーション①	・「情報伝達」という神話 ・社会と言語	
12	・ITと情報社会④ ・言語とコミュニケーション②	・O×式の弊害 ・「名づけ」という行動	
13	・調整 ・言語とコミュニケーション③	・調整 ・言語の習得	
14	調整	調整	
15	調整	調整	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	・生物と自然① ・心理と哲学①	・植物の生き方 ・固定観念	
18	・生物と自然② ・心理と哲学②	海の森 ・仮面の役割	
19	・科学と技術① ・心理と哲学③	・科学への夢は語れるか ・自由であること	
20	・科学と技術② ・心理と哲学④	・科学の知 ・歴史とは何か	
21	・科学と技術③ ・教育と学び①	・研究者の戒め ・「個性」を煽られる子ども	
22	・現代の社会① ・教育と学び②	・貧困の定義 ・学びの主体性	
23	・現代の社会② ・教育と学び③	・高度成長がもたらしたもの ・学ぶ喜び	
24	・現代の社会③ ・教育と学び④	・高齢化社会のもう一つの視点 ・嫉と感化	
25	・現代の社会④ ・報道とマスコミ①	・社会学とは何か ・犯罪報道について	
26	・余暇と娯楽① ・報道とマスコミ②	・女子マラソン ・報道写真の真実	
27	・余暇と娯楽② ・報道とマスコミ③	・メルヘンの知恵 ・メディアの虚実	
28	・余暇と娯楽③ ・調整	・一人旅の魅力 ・調整	
29	調整	調整	
30	調整	調整	
31	調整	調整	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	小論文
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学進学後の授業に対応できる論述力を身につける。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU記述</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU過去問記述、基礎からベストex.小論文</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス・レベルチェック 「昨年の振り返り」400字	「小論文」とは？受験で求められるものは？	
2	「昨年振り返り」によるレベル チェックと添削	出題の意図をくみ取り深い論述ができているか	
3	EJU記述過去問	小論文実践	
4	EJU記述過去問	小論文実践	
5	EJU記述過去問	小論文実践	
6	EJU記述過去問	小論文実践	
7	EJU記述過去問	小論文実践	
8	EJU記述過去問	小論文実践	
9	EJU記述過去問	小論文実践	
10	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
11	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
12	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
13	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
14	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
15	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	EJU記述過去問	小論文実践	
18	EJU記述過去問	小論文実践	
19	EJU記述過去問	小論文実践	
20	EJU記述過去問	小論文実践	
21	EJU記述過去問	小論文実践	
22	EJU記述過去問	小論文実践	
23	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
24	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
25	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
26	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
27	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
28	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
29	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
30	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
31	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	英語（国公立）
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>日本の高校生が学ぶ英文法を理解し、英文和訳・和文英訳の力を身につける。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEIC</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>TOEFL受験対策</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>高校リード問題集 英語 I</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	文型	第1文型～第5文型	
2	文の種類	平叙文、疑問文、付加疑問文、否定疑問文、命令文、感嘆文	
3	基本時制	現在時制、過去時制、未来表現、現在進行形、過去進行形、未来進行形	
4	完了形	現在完了、現在完了進行形、過去完了、過去完了進行形	
5	助動詞	助動詞の種類と用法、その他の助動詞、助動詞+完了形	
6	受動態	能動態と受動態、助動詞と受動態、受動態の時制、受動態と文型、群動詞の受動態	
7	問題練習①	まとめテスト①	
8	不定詞	基本3用法、不定詞を含む重要表現、不定詞の否定形完了形受動態、原形不定詞	
9	動名詞	動名詞の用法、動名詞と不定詞、動名詞の否定形完了形受動態意味上の主語、動名詞を含む慣用表現	
10	分詞	分詞の形容詞的用法、SVC(C=分詞)、SVOC(C=分詞)、分詞の慣用表現	
11	使役動詞知覚動詞	使役動詞、知覚動詞、分詞を伴う近く動詞	
12	分詞構文	分詞構文の用法、完了形の分詞構文、否定の分詞構文、独立分詞構文	
13	問題練習②	まとめテスト②	
14	関係代名詞	関係代名詞の格変化、thatの用法、関係代名詞の省略、関係代名詞whatの用法、関係代名詞の非限定用法	
15	関係副詞	関係副詞where,when（制限用法と非制限用法）、関係副詞why,how	
16	比較 期末試験	比較変化、原級による比較、比較級による比較、最上級による比較 期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	問題練習③	まとめテスト③	
18	仮定法	仮定法過去、仮定法過去完了、「もし〜がなければ」	
19	接続詞	等位接続詞、従位接続詞、間接疑問文	
20	句と節	句、節、単文、重文、複文、文の書きかえ	
21	話法	時制の一致、話法の転換（平叙文命令文疑問文感嘆文）	
22	問題練習④	まとめテスト④	
23	名詞、冠詞	名詞の種類複数形所有格、不定冠詞の用法、定冠詞の用法、冠詞の位置と省略	
24	代名詞	人称代名詞、所有代名詞、再帰代名詞、支持用法、疑問代名詞、不定代名詞	
25	形容詞、副詞	形容詞の用法、数量を表す形容詞、副詞の用法と位置、疑問副詞	
26	強調、否定	強調、否定語、準否定語、部分否定、二重否定、慣用表現	
27	前置詞	前置詞の用法と種類、付帯状況のwith、群前置詞、成句を作る前置詞	
28	問題練習⑤	まとめテスト⑤	
29	発音とアクセント	発音、同音異義語、アクセント、文の強勢	
30	問題練習⑥	総合問題①、総合問題②	
31	問題練習⑦	総合問題③、総合問題④	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	文系数学
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>数学ⅠAを学習する。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU数学コースⅠ</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	図形と計量①	三角比①	正弦、余弦、接弦
2	図形と計量②	三角比②	三角比の相互関係
3	図形と計量③	三角比と図形①	正弦定理
4	図形と計量④	三角比と図形②	余弦定理
5	図形と計量⑤	三角比と図形③	図形の計量
6	2次関数①	2次関数とそのグラフ①	2次関数の値の変化
7	2次関数②	2次関数とそのグラフ②	2次関数の値の最大・最小
8	2次関数③	2次関数とそのグラフ③	2次関数の決定
9	2次関数④	2次方程式・2次不等式①	2次方程式の解
10	2次関数⑤	2次方程式・2次不等式①	2次関数のグラフと2次方程式
11	場合の数と確率①	場合の数①	集合の要素の個数
12	場合の数と確率②	場合の数②	和の法則
13	場合の数と確率③	場合の数③	積の法則
14	場合の数と確率④	場合の数④	数列
15	場合の数と確率⑤	場合の数⑤	組み合わせ
16	場合の数と確率⑥ 期末試験	確率① 期末試験	確率とその基本的な性質

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	場合の数と確率⑦	確率②	独立な試行と確率
18	場合の数と確率⑧	確率③	条件付き確率
19	図形の性質①	平面図形①	三角形の性質
20	図形の性質②	平面図形②	円の性質
21	図形の性質③	空間図形①	直線と平面
22	図形の性質④	空間図形②	多面体
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
29	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
30	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
31	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
32	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	

授業計画（シラバス）

科目名	総合科目
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>世界と日本の地理・歴史・経済・政治・社会を学習する。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU総合科目</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>ハイレベル総合科目 改定第二版</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	地理①	地球儀と地図、世界の地理的環境	標準時時差、地理情報、世界の地形、世界の気候、世界の植生
2	地理②	世界の国々、世界の資源と産業	世界の国々、世界の産業、世界の資源とエネルギー、世界の交通と通信
3	地理③	人口と都市・村落、世界の生活・文化・宗教	世界の人口、世界の都市・村落、衣食住、言語と宗教
4	地理④	自然環境と災害・防災、日本の国土と環境、日本の産業と貿易	世界の自然災害、防災、日本の国土・環境・気候・産業・貿易、交通・通信
5	歴史①	市民革命と産業革命、国民国家の形成	市民革命と産業革命、ウィーン体制、南北戦争
6	歴史②	帝国主義と植民地化、日本の近代化とアジア	帝国主義時代の欧米列強、日本の近代化
7	歴史③	第一次世界大戦とロシア革命、世界恐慌から第二次世界大戦へ、冷戦と現代の世界	第一次世界大戦、世界恐慌、第二次世界大戦、冷戦体制、日本の戦後史
8	現代の経済	経済体制、経済循環と現代の企業	資本主義経済、社会主義経済、国民経済と経済循環、現代の企業
9	現代の経済	市場と価格、国民所得と景気変動	市場経済の仕組み、国民所得、経済成長
10	現代の経済	金融政策、財政政策	金融政策、金融問題、財政の機能と政策
11	現代の経済	日本経済の歩み、日本経済の諸問題	第二次世界大戦前後の日本経済、中小企業・消費者・労働問題
12	現代の経済	国際経済（1）－貿易と為替	貿易と国際収支、外国為替相場
13	現代の経済	国際経済（2）－国際経済の仕組み①	国際貿易体制
14	現代の経済	国際経済（2）－国際経済の仕組み②	自由貿易協定と経済連携協定
15	現代の政治	民主主義の基本原則	民主政治の成立、近代民主政治の基本原則
16	現代の政治 期末試験	世界の政治制度 期末試験	議院内閣制と大統領制

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	現代の政治	日本国憲法、日本の統治機構	国民主権、基本的人権と法の支配、平和主義、国会、内閣、裁判所
18	現代の政治	政党と政党政治、現代政治の諸問題	日本の政党政治、行政機能の拡大と民主化、選挙と政治参加
19	現代の国際社会	国際連合と国際機構	国際法、国際連盟、国際連合と国際機構
20	現代の国際社会	国際平和と国際協力、南北問題	国連平和維持活動、軍縮の歩み、南北問題、南南問題
21	現代の国際社会	民族問題、地球環境問題	人種・民族問題、エスニシティ、難民問題、地球環境問題と環境保全
22	現代の社会	現代社会の特質、日本の人口と少子・高齢化社会、社会保障制度	大衆社会、管理社会、情報社会、高齢社会・少子社会、sy会保障と社会福祉
23	現代の社会	多文化理解、生命倫理、不平等の是正、食料・エネルギー・環境問題	多文化主義・バイオエシックス、法の下の平等、食料問題、エネルギー問題
24	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文①（生物多様性）	生物多様性、外来種、絶滅危惧種
25	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文②（食品ロス）	食品ロス、食料問題、子ども食堂
26	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文③（少子高齢化）	少子化・高齢化・地域社会
27	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文④（経済のグローバル化）	経済のグローバル化のメリット、デメリット
28	大学経済学への導入	ゲーム理論入門①	利得行列、囚人のジレンマ
29	大学経済学への導入	ゲーム理論入門②	戦略形、ゲームナッシュ均衡
30	大学経済学への導入	ゲーム理論入門③	展開系ゲーム
31	大学政治学への導入	政治思想・政治哲学①	自由主義と民主主義
32	大学政治学への導入	政治思想・政治哲学②	功利主義、正義

授業計画（シラバス）

科目名	キャリアデザイン I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①学生が進路決定できるように様々な知識を伝えていく。（主に進路について：自己分析、受験についての情報、志望理由書、面接）</p> <p>②学生が自発的に行動できるように導く。</p> <p>③学園やクラスへの帰属意識を高め、メンター、講師も巻き込んで、学生同士がお互いに高め合っている雰囲気を作る。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・メンターの紹介 ・エール学園のルール ・クラスのルール	エール学園のルールを身につける。	メンター キャリアデザイン CD
2	・面談事前調査票 ・日本の大学のランク	個人面談の準備をする。 日本の大学のランクや評価を知る	個人面談 大学ランク
3	・大学受験に英語が必要な大学と、 必要ない大学	大学受験に英語が必要な大学と、必要ない大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	英語、TOEFL、TOEIC、IELTS
4	・DiSCについて	性格診断を行い、自分について理解する。	自己分析 DiSC
5	早期出願国公立・難関私大	早めの受験雰囲気を作成する 自分の現在の持ち点を振り返る	早期出願
6	・EJUその他科目が少ない国公立大学	EJUその他科目が少ない（特に文系にとって数学）大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	数学
7	・校外学習について①	校外学習の意義とルールを学ぶ。	校外学習 クラスコミュニティ
8	・校外学習について②	校外学習を振り返って、学んだことを共有し学びを深める。	校外学習 クラスコミュニティ
9	・EJU模試講評とEJUの勉強法 ・進路オリエンテーションについて	EJU模試講評で、強味弱みを理解し、今後の勉強方法を考える。 進路オリエンテーションについて学ぶ。	模擬試験 オリエンテーション
10	・面接練習	国公立・難関私大の面接に求められる面接マナーを理解する	面接マナー
11	・国際交流祭について①	国際交流祭の意義を学ぶ。 国際交流祭の準備をする。	国際交流祭 クラスコミュニティ
12	・国際交流祭について② ・講師アンケート	国際交流祭を振り返って、感じたことを共有し学びを深める。	国際交流祭 クラスコミュニティ
13	・面接シート内容①	勉強以外にしたいことなど、基本的な質問への答え方を理解する	勉強以外にしたいこと、経費思弁
14	・面接シート内容②	日本留学理由、その大学・学部を選んだ理由など、面接の根幹的質問への答え方を理解する	来日理由、志望理由
15	・期末試験 ・英語の試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。 英語試験への理解を深める	TOEFL、TOEIC、IELTS

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	・面接のない国公立大学	面接が苦手な場合でも、国公立大学を受験できることを理解し、受験の科目の型を学。	面接なし
17	大学受験への準備	英語・数学を使うか、EJU・二次試験・面接・小論文重視かなどの評価の配点まで含めて、条件に適した複数の適正校の受験の大切さを理解する。	受験の科目配点
18	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
19	・国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
20	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
21	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
22	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
23	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
24	・在留資格の取消 ・国公立大学募集要項	ビザのルールについて学び、留学生としての意識を高める。 国公立大学受験の準備をする	ビザ 留学生 在留資格 入国管理局 不法滞在
25	・地域清掃について（導入） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動の意義を学ぶ。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
26	・地域清掃について（実施） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動をしやりがいを感じる。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
27	・地域清掃について（振り返り） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動を通じて学んだことをまとめ共有し、学びを深める。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
28	日本の就活について	日本の就職活動について理解する	就活
29	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	
30	面接マナー等振り返り	入試直前に、再度面接マナーを振り返る	面接
31	大学進学後について（大学生生活・院試・就職活動・就職後）	メンター自身の経験等を話すことで、大学進学後の具体的なイメージを持ち、前向きに受験に挑む	大学生生活
32	1年の振り返り	これまでの日本での生活を振り返り、自信を持つ	これまでの総括

授業計画（シラバス）

科目名	TOEFL受験対策
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈文系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEFL</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>英語（国公立）</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>なし</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	TOEFLとは何か	TOEFLの試験を理解する。	
2	リーディングセッション①	TOEFLのリーディングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
3	リーディングセッション②	リーディングセッション問題演習①	
4	リーディングセッション③	リーディングセッション問題演習②	
5	リスニングセッション①	TOEFLのリスニングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
6	リスニングセッション②	リスニングセッション問題演習①	
7	リスニングセッション③	リスニングセッション問題演習②	
8	ライティングセッション①	TOEFLのライティングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
9	ライティングセッション②	ライティングセッション問題演習①	
10	ライティングセッション③	ライティングセッション問題演習②	
11	スピーキングセッション①	TOEFLのスピーキングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
12	スピーキングセッション②	スピーキングセッション問題演習①	
13	スピーキングセッション③	スピーキングセッション問題演習②	
14	総合問題演習①	リーディング・リスニングセッション問題演習	
15	総合問題演習②	ライティング・スピーキングセッション問題演習	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	前期のみ	前期のみ	
18	前期のみ	前期のみ	
19	前期のみ	前期のみ	
20	前期のみ	前期のみ	
21	前期のみ	前期のみ	
22	前期のみ	前期のみ	
23	前期のみ	前期のみ	
24	前期のみ	前期のみ	
25	前期のみ	前期のみ	
26	前期のみ	前期のみ	
27	前期のみ	前期のみ	
28	前期のみ	前期のみ	
29	前期のみ	前期のみ	
30	前期のみ	前期のみ	
31	前期のみ	前期のみ	
32	前期のみ	前期のみ	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1A
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	32時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>JLPT N1</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>考える漢字・語彙 上級編</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	1課	導入	
2	1課	体系理解	
3	1課	類義語とコロケーション	
4	2課	導入	
5	2課	体系理解	
6	2課	類義語とコロケーション	
7	3課	導入	
8	3課	体系理解	
9	3課	類義語とコロケーション	
10	4課	導入	
11	4課	体系理解	
12	4課	類義語とコロケーション	
13	5課	導入	
14	5課	体系理解	
15	5課	類義語とコロケーション	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	6課	導入、体系理解	
18	6課	類義語とコロケーション	
19	7課	導入、体系理解	
20	7課	類義語とコロケーション	
21	8課	導入、体系理解	
22	8課	類義語とコロケーション	
23	9課	導入、体系理解	
24	9課	類義語とコロケーション	
25	10課	導入、体系理解	
26	10課	類義語とコロケーション	
27	11課	導入、体系理解	
28	11課	類義語とコロケーション	
29	12課	導入、体系理解	
30	1 2課	類義語とコロケーション	
31	総復習	総復習	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1B
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	32時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU読解・聴解・聴読解</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU過去問</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	EJU過去問演習①	EJU過去問演習読解①	
2	EJU過去問演習②	EJU過去問演習聴読解①	
3	EJU過去問演習③	EJU過去問演習聴解①	
4	EJU過去問演習④	EJU過去問演習読解②	
5	EJU過去問演習⑤	EJU過去問演習聴読解②	
6	EJU過去問演習⑥	EJU過去問演習聴解②	
7	EJU過去問演習⑦	EJU過去問演習読解③	
8	EJU過去問演習⑧	EJU過去問演習聴読解③	
9	EJU過去問演習⑨	EJU過去問演習聴解③	
10	EJU過去問演習⑩	EJU過去問演習読解④	
11	EJU過去問演習⑪	EJU過去問演習聴読解④	
12	EJU過去問演習⑫	EJU過去問演習聴解④	
13	EJU過去問演習⑬	EJU過去問演習読解⑤	
14	EJU過去問演習⑭	EJU過去問演習聴読解⑤	
15	EJU過去問演習⑮	EJU過去問演習聴解⑤	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	EJU過去問演習⑯	EJU過去問演習読解⑥	
18	EJU過去問演習⑰	EJU過去問演習聴読解⑥	
19	EJU過去問演習⑱	EJU過去問演習聴解⑥	
20	EJU過去問演習⑲	EJU過去問演習読解⑦	
21	EJU過去問演習⑳	EJU過去問演習聴読解⑦	
22	EJU過去問演習㉑	EJU過去問演習聴解⑦	
23	グループディスカッション①	グループディスカッション①	
24	グループディスカッション②	グループディスカッション②	
25	グループディスカッション③	グループディスカッション③	
26	グループディスカッション④	グループディスカッション④	
27	グループディスカッション⑤	グループディスカッション⑤	
28	グループディスカッション⑥	グループディスカッション⑥	
29	グループディスカッション⑦	グループディスカッション⑦	
30	グループディスカッション⑧	グループディスカッション⑧	
31	グループディスカッション⑨	グループディスカッション⑨	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1C
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>上級者のための日本語読解ワークブック</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・異文化理解①	・異文化の狭間で生きる	
2	・異文化理解②	・迫られる意識改革	
3	・異文化理解③	・日本人の行動パターン	
4	・異文化理解④	・お箸の文化	
5	・環境と人間①	・暮らしの木	
6	・環境と人間②	・破局が来る前に	
7	・環境と人間③	・環境問題の発端	
8	・環境と人間④	・日本最後のトキ	
9	・ITと情報社会①	・情報社会に生きる	
10	・ITと情報社会②	・コミュニケーション下手の日本人	
11	・ITと情報社会③	・「情報伝達」という神話	
12	・ITと情報社会④	・O×式の弊害	
13	・調整	・調整	
14	調整	調整	
15	調整	調整	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	・生物と自然①	・植物の生き方	
18	・生物と自然②	海の森	
19	・科学と技術①	・科学への夢は語れるか	
20	・科学と技術②	・科学の知	
21	・科学と技術③	・研究者の戒め	
22	・現代の社会①	・貧困の定義	
23	・現代の社会②	・高度成長がもたらしたもの	
24	・現代の社会③	・高齢化社会のもう一つの視点	
25	・現代の社会④	・社会学とは何か	
26	・余暇と娯楽①	・女子マラソン	
27	・余暇と娯楽②	・メルヘンの知恵	
28	・余暇と娯楽③	・一人旅の魅力	
29	調整	調整	
30	調整	調整	
31	調整	調整	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	数学Ⅱ
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	192時限

【授業内容・到達目標】
TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
EJU数学コースⅡ

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
なし

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	三角関数①	弧度法	弧度法
2	三角関数②	正弦定理・余弦定理	正弦、余弦、正接
3	三角関数③	加法定理	加法定理、積、和の書きかえ
4	指数・対数関数①	指数関数①	指数の拡張
5	指数・対数関数②	指数関数②	指数関数のグラフ
6	指数・対数関数③	対数関数①	対数の性質、対数関数のグラフ
7	指数・対数関数④	対数関数②	常用対数
8	微分・積分の考え①	微積の考え①	微分係数と導関数
9	微分・積分の考え②	微積の考え②	接線、関数値の増減
10	微分・積分の考え③	積分の考え①	不定積分と定積分
11	微分・積分の考え④	積分の考え②	面積
12	微分法①	導関数	関数の和・差・積・商の関数、合成関数、逆関数
13	微分法②	導関数の応用	速度、加速度
14	積分法①	不定積分①	置換積分法
15	積分法①	不定積分①	置換積分法
16	積分法③ 期末試験	定積分① 期末試験	定積分の置換積分・奇関数・偶関数の定積分

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	積分法④	定積分②	定積分の部分積分
18	積分法⑤	積分の応用	面積、体積、長さ
19	数列①	数列とその和	等差数列、等比数列
20	数列②	漸化式と数学的帰納法	漸化式、数学的帰納法
21	ベクトル①	平面上のベクトル	ベクトルの演算、ベクトルの内積
22	ベクトル②	空間座標とベクトル	空間座標、空間ベクトル
23	複素数平面①	複素数の図表示・極形式	点の図示、偏角
24	複素数平面②	ドモアブルの定理	ドモアブルの定理
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
30	大学数学への導入	大学数学への導入	
31	大学数学への導入	大学数学への導入	
32	大学数学への導入	大学数学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	英語（国公立）
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	128時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEIC</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>TOEFL受験対策</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>高校リード問題集 英語 I</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	文型	第1文型～第5文型	
2	文の種類	平叙文、疑問文、付加疑問文、否定疑問文、命令文、感嘆文	
3	基本時制	現在時制、過去時制、未来表現、現在進行形、過去進行形、未来進行形	
4	完了形	現在完了、現在完了進行形、過去完了、過去完了進行形	
5	助動詞	助動詞の種類と用法、その他の助動詞、助動詞+完了形	
6	受動態	能動態と受動態、助動詞と受動態、受動態の時制、受動態と文型、群動詞の受動態	
7	問題練習①	まとめテスト①	
8	不定詞	基本3用法、不定詞を含む重要表現、不定詞の否定形完了形受動態、原形不定詞	
9	動名詞	動名詞の用法、動名詞と不定詞、動名詞の否定形完了形受動態意味上の主語、動名詞を含む慣用表現	
10	分詞	分詞の形容詞的用法、SVC(C=分詞)、SVOC(C=分詞)、分詞の慣用表現	
11	使役動詞知覚動詞	使役動詞、知覚動詞、分詞を伴う近く動詞	
12	分詞構文	分詞構文の用法、完了形の分詞構文、否定の分詞構文、独立分詞構文	
13	問題練習②	まとめテスト②	
14	関係代名詞	関係代名詞の格変化、thatの用法、関係代名詞の省略、関係代名詞whatの用法、関係代名詞の非限定用法	
15	関係副詞	関係副詞where,when（制限用法と非制限用法）、関係副詞why,how	
16	比較 期末試験	比較変化、原級による比較、比較級による比較、最上級による比較 期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	問題練習③	まとめテスト③	
18	仮定法	仮定法過去、仮定法過去完了、「もし〜がなければ」	
19	接続詞	等位接続詞、従位接続詞、間接疑問文	
20	句と節	句、節、単文、重文、複文、文の書きかえ	
21	話法	時制の一致、話法の転換（平叙文命令文疑問文感嘆文）	
22	問題練習④	まとめテスト④	
23	名詞、冠詞	名詞の種類複数形所有格、不定冠詞の用法、定冠詞の用法、冠詞の位置と省略	
24	代名詞	人称代名詞、所有代名詞、再帰代名詞、支持用法、疑問代名詞、不定代名詞	
25	形容詞、副詞	形容詞の用法、数量を表す形容詞、副詞の用法と位置、疑問副詞	
26	強調、否定	強調、否定語、準否定語、部分否定、二重否定、慣用表現	
27	前置詞	前置詞の用法と種類、付帯状況のwith、群前置詞、成句を作る前置詞	
28	問題練習⑤	まとめテスト⑤	
29	発音とアクセント	発音、同音異義語、アクセント、文の強勢	
30	問題練習⑥	総合問題①、総合問題②	
31	問題練習⑦	総合問題③、総合問題④	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	キャリアデザイン I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・メンターの紹介 ・エール学園のルール ・クラスのルール	エール学園のルールを身につける。	メンター キャリアデザイン CD
2	・面談事前調査票 ・日本の大学のランク	個人面談の準備をする。 日本の大学のランクや評価を知る	個人面談 大学ランク
3	・大学受験に英語が必要な大学と、 必要ない大学	大学受験に英語が必要な大学と、必要ない大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	英語、TOEFL、TOEIC、IELTS
4	・DiSCについて	性格診断を行い、自分について理解する。	自己分析 DiSC
5	早期出願国公立・難関私大	早めの受験雰囲気醸成する 自分の現在の持ち点を振り返る	早期出願
6	・EJUその他科目が少ない国公立大学	EJUその他科目が少ない（特に文系にとって数学）大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	数学
7	・校外学習について①	校外学習の意義とルールを学ぶ。	校外学習 クラスコミュニティ
8	・校外学習について②	校外学習を振り返って、学んだことを共有し学びを深める。	校外学習 クラスコミュニティ
9	・EJU模試講評とEJUの勉強法 ・進路オリエンについて	EJU模試講評で、強味弱みを理解し、今後の勉強方法を考える。 進路オリエンテーションについて学ぶ。	模擬試験 オリエンテーション
10	・面接練習	国公立・難関私大の面接に求められる面接マナーを理解する	面接マナー
11	・国際交流祭について①	国際交流祭の意義を学ぶ。 国際交流祭の準備をする。	国際交流祭 クラスコミュニティ
12	・国際交流祭について② ・講師アンケート	国際交流祭を振り返って、感じたことを共有し学びを深める。	国際交流祭 クラスコミュニティ
13	・面接シート内容①	勉強以外にしたいことなど、基本的な質問への答え方を理解する	勉強以外にしたいこと、経費思弁
14	・面接シート内容②	日本留学理由、その大学・学部を選んだ理由など、面接の根幹的質問への答え方を理解する	来日理由、志望理由
15	・期末試験 ・英語の試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。 英語試験への理解を深める	TOEFL、TOEIC、IELTS

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	・面接のない国公立大学	面接が苦手な場合でも、国公立大学を受験できることを理解し、受験の科目の型を学。	面接なし
17	大学受験への準備	英語・数学を使うか、EJU・二次試験・面接・小論文重視かなどの評価の配点まで含めて、条件に適した複数の適正校の受験の大切さを理解する。	受験の科目配点
18	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
19	・国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
20	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
21	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
22	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
23	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
24	・在留資格の取消 ・国公立大学募集要項	ビザのルールについて学び、留学生としての意識を高める。 国公立大学受験の準備をする	ビザ 留学生 在留資格 入国管理局 不法滞在
25	・地域清掃について（導入） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動の意義を学ぶ。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
26	・地域清掃について（実施） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動をしやりがいを感じる。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
27	・地域清掃について（振り返り） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動を通じて学んだことをまとめ共有し、学びを深める。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
28	日本の就活について	日本の就職活動について理解する	就活
29	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	
30	面接マナー等振り返り	入試直前に、再度面接マナーを振り返る	面接
31	大学進学後について（大学生活・院試・就職活動・就職後）	メンター自身の経験等を話すことで、大学進学後の具体的なイメージを持ち、前向きに受験に挑む	大学生生活
32	1年の振り返り	これまでの日本での生活を振り返り、自信を持つ	これまでの総括

授業計画（シラバス）

科目名	物理
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	160時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU物理</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>チャレンジ理科〈物理〉 [改訂版]</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・力学① ・熱学①	・力学の基本 ・気体の法則	・運動と力 ・理想気体の状態方程式
2	・力学② ・熱学②	・速度と加速度 ・気体の状態変化	・速度、加速度 ・定積変化、変圧変化、等温変化、断熱変化
3	・力学③ ・熱学③	・落体の運動 ・熱と仕事①	・落体の運動、放物運動（斜方投射・水平投射） ・熱力学第一法則
4	・力学④ ・熱学④	・摩擦力と空気抵抗 ・モル比熱	・重力、摩擦力、抗力 ・定積モル比熱と定圧モル比熱
5	・力学⑤ ・熱学⑤	・運動の法則（いろいろな力、力のつりあい） ・熱と仕事②	・張力、弾性力、力の合成・分解 ・熱効率
6	・力学⑥ ・熱学⑥	・運動の法則（運動方程式） ・熱と仕事	・ニュートンの運動の3法則 熱力学第二法則
7	・力学⑦ ・波動①	・問題演習（運動） ・波	・静止摩擦力、動摩擦力、空気の抵抗 ・正弦波
8	・力学⑧ ・波動②	・仕事 ・音	・仕事の原理、仕事率 ・ドップラー効果
9	・力学⑨ ・波動③	・力学的エネルギー ・光	運動エネルギー、位置エネルギー ・スペクトル
10	・力学⑩ ・波動④	・仕事とエネルギーの関係 ・21世紀の物理学革命	・仕事とエネルギー
11	・力学⑪ ・原子①	・力学的エネルギー保存の法則 ・光電効果	・力学的エネルギー保存の法則 ・光電効果
12	・力学⑫ ・原子②	・問題演習（外力がする仕事） ・原子の構造	・外力 ・水素原子の構造
13	・力学⑬ ・原子③	・運動量と力積 ・原子核①	・運動量、力積 ・核反応
14	・力学⑭ ・原子④	・運動量保存の法則 ・原子核②	・運動量保存則 ・放射線、半減期
15	・力学⑮ ・電気と電磁気①	・問題演習（力積と運動量） ・電場	・力積と運動量 ・電界と電位
16	・力学⑯ ・電気と電磁気② 期末試験	・物体の衝突 ・コンデンサー① 期末試験	・衝突と分裂 ・コンデンサー

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	・力学⑬ ・電気と電磁気③	・反発係数 ・コンデンサー②	・反発係数、弾性衝突・非弾性衝突 ・誘電体
18	・力学⑭ ・電気と電磁気④	・等速円運動 ・直流回路①	・各速度、周期と回転数、向心力 ・オームの法則、ジュール熱
19	・力学⑮ ・電気と電磁気⑤	・慣性力 ・直流回路②	・慣性力、遠心力 ・キルヒホッフの法則
20	・力学⑯ ・電気と電磁気⑥	・単振動 ・電流と磁場	・単振動、ばね振り子、単振り子 ・電界、ローレンツ力
21	・力学⑰ ・電気と電磁気⑦	・万有引力の法則 ・電磁誘導と電磁波	・ケプラーの法則、 ・ファラデーの電磁誘導の法則、自己誘導
22	・力学⑱ ・電気と電磁気⑧	・剛体の力学 ・交流回路と電磁波	・力のモーメント、合力、偶力、剛体のつりあい ・リアクタンス
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
30	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
31	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
32	大学物理学への導入	大学物理学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	化学
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	160時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU化学</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>エクセル化学総合版 新課程</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	有機化学	有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、	異性体、元素分析、組成式、炭化水素の反応経路図
2	有機化学	酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物	アルコール、エステル、セッケン、芳香族炭化水素、フェノール類
3	物質の変化	モル計算、溶液の濃度	原子量・分子量・式量、物質質量、モル質量、モル濃度
4	物質の変化	結晶格子、物質の三態	結晶、気体、液体、個体、状態変化
5	物質	気体	ボイル・シャルルの法則
6	物質	気体	気体の状態方程式
7	物質	固体の溶解度	飽和溶液、再結晶
8	物質	気体の溶解度	ヘンリーの法則
9	物質	希薄溶液	希薄溶液
10	物質	酸・塩基	水素イオン、中和
11	物質	熱化学	反応熱、ヘスの法則
12	物質	化学反応速度	反応速度式
13	物質	化学平衡	化学平衡の法則
14	物質	化学平衡	ルシャトリエの原理
15	物質	酸化還元	酸化数、酸化剤と還元剤、酸化還元反応
16	物質 期末試験	電池・電気分解 期末試験	ダニエル電池、陽極・陰極、ファラデーの法則

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	無機化学	無機物質	非金属元素、典型金属元素、遷移元素
18	無機化学	無機物質	金属イオンの分離と推定、無機物質と人間生活
19	高分子化合物	天然分子化学	糖
20	高分子化合物	天然分子化学	アミノ酸とタンパク質・核酸
21	高分子化合物	合成高分子化学	合成繊維、合成樹脂、合成ゴム
22	高分子化合物	合成高分子化学	機能性高分子化合物、有機化合物と人間生活
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学化学への導入	大学化学への導入	
30	大学化学への導入	大学化学への導入	
31	大学化学への導入	大学化学への導入	
32	大学化学への導入	大学化学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	生物
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	160時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU生物</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	細胞と遺伝子①	生物の多様性と共通性	細胞、顕微鏡とマイクロメーター、ATPと酵素、光合成と呼吸
2	生命現象と物質①	細胞と分子①	タンパク質、細胞膜と細胞骨格、抗体と生体防御
3	生命現象と物質①	細胞と分子①	発酵、細菌の炭酸同化、窒素同化、
4	細胞と遺伝子②	遺伝子とそのはたらき	DNAの構造、ゲノム、遺伝情報
5	生命現象と物質①	遺伝情報とその発見	DNAとその複製、形質発現と調節、バイオテクノロジー
6	生殖と発生①	生殖と遺伝	減数分裂と染色体、染色体と遺伝子組換え
7	生殖と発生②	発生とそのしくみ	卵割、誘導、形態形成と遺伝子、植物の生殖と発生
8	生物の体内環境の維持①	体内環境	体液、細胞膜、腎臓と肝臓
9	生物の体内環境の維持②	体内環境の調節と免疫	自律神経、ホルモン、免疫
10	生物の環境応答①	動物の刺激の受容と反応	ニューロン、受容器、中枢神経系と末梢神経系、効果器
11	生物の環境応答①	植物の環境応答	刺激に対する植物の反応
12	生物の環境応答①	植物の環境応答	発芽と成長の調節
13	生物の多様性と生態系①	植生とその移り変わり	植物の遷移
14	生物の多様性と生態系①	植生とその移り変わり	気候とバイオーム
15	生物の多様性と生態系②	生態系とその保全	食物連鎖、物質循環とエネルギーの流れ
16	生物の多様性と生態系② 期末試験	生態系とその保全 期末試験	生態系の平衡と人間活動

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	生態系と環境①	生物群衆と生態系	個体群と環境、個体群内・個体群間の相互作用
18	生態系と環境①	生物群衆と生態系	生態系の物質収支
19	生物の進化と系統①	生物の起源と進化	海での生物の誕生、陸への進出
20	生物の進化と系統①	生物の起源と進化	進化の証拠、進化の仕組み
21	生物の進化と系統①	生物の系統と分類	細菌ドメインと古細菌ドメイン
22	生物の進化と系統①	生物の系統と分類	真核生物ドメイン (原生生物界・植物界・菌界・動物界)
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
30	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
31	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
32	大学生物学への導入	大学生物学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	TOEFL受験対策
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（東大・京大・阪大進学コース1年制）〈理系〉
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEFL</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>英語（国公立）</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	TOEFLとは何か	TOEFLの試験を理解する。	
2	リーディングセッション①	TOEFLのリーディングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
3	リーディングセッション②	リーディングセッション問題演習①	
4	リーディングセッション③	リーディングセッション問題演習②	
5	リスニングセッション①	TOEFLのリスニングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
6	リスニングセッション②	リスニングセッション問題演習①	
7	リスニングセッション③	リスニングセッション問題演習②	
8	ライティングセッション①	TOEFLのライティングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
9	ライティングセッション②	ライティングセッション問題演習①	
10	ライティングセッション③	ライティングセッション問題演習②	
11	スピーキングセッション①	TOEFLのスピーキングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
12	スピーキングセッション②	スピーキングセッション問題演習①	
13	スピーキングセッション③	スピーキングセッション問題演習②	
14	総合問題演習①	リーディング・リスニングセッション問題演習	
15	総合問題演習②	ライティング・スピーキングセッション問題演習	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	前期のみ	前期のみ	
18	前期のみ	前期のみ	
19	前期のみ	前期のみ	
20	前期のみ	前期のみ	
21	前期のみ	前期のみ	
22	前期のみ	前期のみ	
23	前期のみ	前期のみ	
24	前期のみ	前期のみ	
25	前期のみ	前期のみ	
26	前期のみ	前期のみ	
27	前期のみ	前期のみ	
28	前期のみ	前期のみ	
29	前期のみ	前期のみ	
30	前期のみ	前期のみ	
31	前期のみ	前期のみ	
32	前期のみ	前期のみ	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1A
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（文系）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>① JLPT出題基準となる語彙、または重要度の高い語彙（頻度値・親密度値の高い語彙）を能動的に学習する。 ② ①の語彙を体系的に理解する。 ③ ①の語彙の、コロケーションを考え、類義語との使い分けができるようになる。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>JLPT N1</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>考える漢字・語彙 上級編</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	1課	導入	
2	1課	体系理解	
3	1課	類義語とコロケーション	
4	2課	導入	
5	2課	体系理解	
6	2課	類義語とコロケーション	
7	3課	導入	
8	3課	体系理解	
9	3課	類義語とコロケーション	
10	4課	導入	
11	4課	体系理解	
12	4課	類義語とコロケーション	
13	5課	導入	
14	5課	体系理解	
15	5課	類義語とコロケーション	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	6課	導入、体系理解	
18	6課	類義語とコロケーション	
19	7課	導入、体系理解	
20	7課	類義語とコロケーション	
21	8課	導入、体系理解	
22	8課	類義語とコロケーション	
23	9課	導入、体系理解	
24	9課	類義語とコロケーション	
25	10課	導入、体系理解	
26	10課	類義語とコロケーション	
27	11課	導入、体系理解	
28	11課	類義語とコロケーション	
29	12課	導入、体系理解	
30	1 2課	類義語とコロケーション	
31	総復習	総復習	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1B
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（文系）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学進学後の授業に対応できる実践的な聴解力を身につける。読解の問題を読んでわかるだけでなく、聞いて理解し、発話、ディスカッションに発展させる力を同時に養う。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU読解・聴解・聴読解</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU過去問</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	EJU過去問演習①	EJU過去問演習読解①	
2	EJU過去問演習②	EJU過去問演習聴読解①	
3	EJU過去問演習③	EJU過去問演習聴解①	
4	EJU過去問演習④	EJU過去問演習読解②	
5	EJU過去問演習⑤	EJU過去問演習聴読解②	
6	EJU過去問演習⑥	EJU過去問演習聴解②	
7	EJU過去問演習⑦	EJU過去問演習読解③	
8	EJU過去問演習⑧	EJU過去問演習聴読解③	
9	EJU過去問演習⑨	EJU過去問演習聴解③	
10	EJU過去問演習⑩	EJU過去問演習読解④	
11	EJU過去問演習⑪	EJU過去問演習聴読解④	
12	EJU過去問演習⑫	EJU過去問演習聴解④	
13	EJU過去問演習⑬	EJU過去問演習読解⑤	
14	EJU過去問演習⑭	EJU過去問演習聴読解⑤	
15	EJU過去問演習⑮	EJU過去問演習聴解⑤	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	EJU過去問演習⑯	EJU過去問演習読解⑥	
18	EJU過去問演習⑰	EJU過去問演習聴読解⑥	
19	EJU過去問演習⑱	EJU過去問演習聴解⑥	
20	EJU過去問演習⑲	EJU過去問演習読解⑦	
21	EJU過去問演習⑳	EJU過去問演習聴読解⑦	
22	EJU過去問演習㉑	EJU過去問演習聴解⑦	
23	グループディスカッション①	グループディスカッション①	
24	グループディスカッション②	グループディスカッション②	
25	グループディスカッション③	グループディスカッション③	
26	グループディスカッション④	グループディスカッション④	
27	グループディスカッション⑤	グループディスカッション⑤	
28	グループディスカッション⑥	グループディスカッション⑥	
29	グループディスカッション⑦	グループディスカッション⑦	
30	グループディスカッション⑧	グループディスカッション⑧	
31	グループディスカッション⑨	グループディスカッション⑨	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1C
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（文系）
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①日本語の文章に慣れること、文法知識と語彙を増やすこと、背景知識を増やすこと ②①の結果、EJU日本語科目高得点取得、大学受験対応、大学進学後の授業に対応すること</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>上級者のための日本語読解ワークブック</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・異文化理解① ・日本語の世界①	・異文化の狭間で生きる ・ヤマトコトバ	
2	・異文化理解② ・日本語の世界②	・迫られる意識改革 ・日本語の一人称はなぜ多い	
3	・異文化理解③ ・日本語の世界③	・日本人の行動パターン ・方言の見直し	
4	・異文化理解④ ・日本の文化①	・お箸の文化 ・豊かな縄文文化	
5	・環境と人間① ・日本の文化②	・暮らしの木 ・日本の仕切	
6	・環境と人間② ・日本の文化③	・破局が来る前に ・羞恥心はどこへ消えた？	
7	・環境と人間③ ・日本の文化④	・環境問題の発端 ・形の美	
8	・環境と人間④ ・日本人の行動様式①	・日本最後のトキ ・赤信号、みんなで渡れば怖くない	
9	・ITと情報社会① ・日本人の行動様式②	・情報社会に生きる ・「べた靴」現象とひきこもり	
10	・ITと情報社会② ・日本人の行動様式③	・コミュニケーション下手の日本人 ・逆立ち現象	
11	・ITと情報社会③ ・言語とコミュニケーション①	・「情報伝達」という神話 ・社会と言語	
12	・ITと情報社会④ ・言語とコミュニケーション②	・O×式の弊害 ・「名づけ」という行動	
13	・調整 ・言語とコミュニケーション③	・調整 ・言語の習得	
14	調整	調整	
15	調整	調整	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	・生物と自然① ・心理と哲学①	・植物の生き方 ・固定観念	
18	・生物と自然② ・心理と哲学②	海の森 ・仮面の役割	
19	・科学と技術① ・心理と哲学③	・科学への夢は語れるか ・自由であること	
20	・科学と技術② ・心理と哲学④	・科学の知 ・歴史とは何か	
21	・科学と技術③ ・教育と学び①	・研究者の戒め ・「個性」を煽られる子ども	
22	・現代の社会① ・教育と学び②	・貧困の定義 ・学びの主体性	
23	・現代の社会② ・教育と学び③	・高度成長がもたらしたもの ・学ぶ喜び	
24	・現代の社会③ ・教育と学び④	・高齢化社会のもう一つの視点 ・嫉と感化	
25	・現代の社会④ ・報道とマスコミ①	・社会学とは何か ・犯罪報道について	
26	・余暇と娯楽① ・報道とマスコミ②	・女子マラソン ・報道写真の真実	
27	・余暇と娯楽② ・報道とマスコミ③	・メルヘンの知恵 ・メディアの虚実	
28	・余暇と娯楽③ ・調整	・一人旅の魅力 ・調整	
29	調整	調整	
30	調整	調整	
31	調整	調整	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	小論文
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学進学後の授業に対応できる論述力を身につける。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU記述</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU過去問記述、基礎からベストex.小論文</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	ガイダンス・レベルチェック 「昨年の振り返り」400字	「小論文」とは？受験で求められるものは？	
2	「昨年振り返り」によるレベル チェックと添削	出題の意図をくみ取り深い論述ができているか	
3	EJU記述過去問	小論文実践	
4	EJU記述過去問	小論文実践	
5	EJU記述過去問	小論文実践	
6	EJU記述過去問	小論文実践	
7	EJU記述過去問	小論文実践	
8	EJU記述過去問	小論文実践	
9	EJU記述過去問	小論文実践	
10	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
11	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
12	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
13	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
14	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
15	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	EJU記述過去問	小論文実践	
18	EJU記述過去問	小論文実践	
19	EJU記述過去問	小論文実践	
20	EJU記述過去問	小論文実践	
21	EJU記述過去問	小論文実践	
22	EJU記述過去問	小論文実践	
23	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
24	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
25	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
26	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
27	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
28	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
29	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
30	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
31	基礎からベストex.小論文	小論文実践	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	英語（国公立）
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（文系）
時限	128時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>日本の高校生が学ぶ英文法を理解し、英文和訳・和文英訳の力を身につける。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEIC</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>TOEFL受験対策</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>高校リード問題集 英語 I</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	文型	第1文型～第5文型	
2	文の種類	平叙文、疑問文、付加疑問文、否定疑問文、命令文、感嘆文	
3	基本時制	現在時制、過去時制、未来表現、現在進行形、過去進行形、未来進行形	
4	完了形	現在完了、現在完了進行形、過去完了、過去完了進行形	
5	助動詞	助動詞の種類と用法、その他の助動詞、助動詞+完了形	
6	受動態	能動態と受動態、助動詞と受動態、受動態の時制、受動態と文型、群動詞の受動態	
7	問題練習①	まとめテスト①	
8	不定詞	基本3用法、不定詞を含む重要表現、不定詞の否定形完了形受動態、原形不定詞	
9	動名詞	動名詞の用法、動名詞と不定詞、動名詞の否定形完了形受動態意味上の主語、動名詞を含む慣用表現	
10	分詞	分詞の形容詞的用法、SVC(C=分詞)、SVOC(C=分詞)、分詞の慣用表現	
11	使役動詞知覚動詞	使役動詞、知覚動詞、分詞を伴う近く動詞	
12	分詞構文	分詞構文の用法、完了形の分詞構文、否定の分詞構文、独立分詞構文	
13	問題練習②	まとめテスト②	
14	関係代名詞	関係代名詞の格変化、thatの用法、関係代名詞の省略、関係代名詞whatの用法、関係代名詞の非限定用法	
15	関係副詞	関係副詞where,when（制限用法と非制限用法）、関係副詞why,how	
16	比較 期末試験	比較変化、原級による比較、比較級による比較、最上級による比較 期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	問題練習③	まとめテスト③	
18	仮定法	仮定法過去、仮定法過去完了、「もし〜がなければ」	
19	接続詞	等位接続詞、従位接続詞、間接疑問文	
20	句と節	句、節、単文、重文、複文、文の書きかえ	
21	話法	時制の一致、話法の転換（平叙文命令文疑問文感嘆文）	
22	問題練習④	まとめテスト④	
23	名詞、冠詞	名詞の種類複数形所有格、不定冠詞の用法、定冠詞の用法、冠詞の位置と省略	
24	代名詞	人称代名詞、所有代名詞、再帰代名詞、支持用法、疑問代名詞、不定代名詞	
25	形容詞、副詞	形容詞の用法、数量を表す形容詞、副詞の用法と位置、疑問副詞	
26	強調、否定	強調、否定語、準否定語、部分否定、二重否定、慣用表現	
27	前置詞	前置詞の用法と種類、付帯状況のwith、群前置詞、成句を作る前置詞	
28	問題練習⑤	まとめテスト⑤	
29	発音とアクセント	発音、同音異義語、アクセント、文の強勢	
30	問題練習⑥	総合問題①、総合問題②	
31	問題練習⑦	総合問題③、総合問題④	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	文系数学
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）〈文系〉
時限	128時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>数学ⅠAを学習する。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU数学コースⅠ</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	図形と計量①	三角比①	正弦、余弦、接弦
2	図形と計量②	三角比②	三角比の相互関係
3	図形と計量③	三角比と図形①	正弦定理
4	図形と計量④	三角比と図形②	余弦定理
5	図形と計量⑤	三角比と図形③	図形の計量
6	2次関数①	2次関数とそのグラフ①	2次関数の値の変化
7	2次関数②	2次関数とそのグラフ②	2次関数の値の最大・最小
8	2次関数③	2次関数とそのグラフ③	2次関数の決定
9	2次関数④	2次方程式・2次不等式①	2次方程式の解
10	2次関数⑤	2次方程式・2次不等式①	2次関数のグラフと2次方程式
11	場合の数と確率①	場合の数①	集合の要素の個数
12	場合の数と確率②	場合の数②	和の法則
13	場合の数と確率③	場合の数③	積の法則
14	場合の数と確率④	場合の数④	数列
15	場合の数と確率⑤	場合の数⑤	組み合わせ
16	場合の数と確率⑥ 期末試験	確率① 期末試験	確率とその基本的な性質

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	場合の数と確率⑦	確率②	独立な試行と確率
18	場合の数と確率⑧	確率③	条件付き確率
19	図形の性質①	平面図形①	三角形の性質
20	図形の性質②	平面図形②	円の性質
21	図形の性質③	空間図形①	直線と平面
22	図形の性質④	空間図形②	多面体
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
29	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
30	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
31	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	
32	復習と一般教養としての数学	復習と一般教養としての数学	

授業計画（シラバス）

科目名	総合科目
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（文系）
時限	192時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>世界と日本の地理・歴史・経済・政治・社会を学習する。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU総合科目</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>ハイレベル総合科目 改定第二版</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	地理①	地球儀と地図、世界の地理的環境	標準時時差、地理情報、世界の地形、世界の気候、世界の植生
2	地理②	世界の国々、世界の資源と産業	世界の国々、世界の産業、世界の資源とエネルギー、世界の交通と通信
3	地理③	人口と都市・村落、世界の生活・文化・宗教	世界の人口、世界の都市・村落、衣食住、言語と宗教
4	地理④	自然環境と災害・防災、日本の国土と環境、日本の産業と貿易	世界の自然災害、防災、日本の国土・環境・気候・産業・貿易、交通・通信
5	歴史①	市民革命と産業革命、国民国家の形成	市民革命と産業革命、ウィーン体制、南北戦争
6	歴史②	帝国主義と植民地化、日本の近代化とアジア	帝国主義時代の欧米列強、日本の近代化
7	歴史③	第一次世界大戦とロシア革命、世界恐慌から第二次世界大戦へ、冷戦と現代の世界	第一次世界大戦、世界恐慌、第二次世界大戦、冷戦体制、日本の戦後史
8	現代の経済	経済体制、経済循環と現代の企業	資本主義経済、社会主義経済、国民経済と経済循環、現代の企業
9	現代の経済	市場と価格、国民所得と景気変動	市場経済の仕組み、国民所得、経済成長
10	現代の経済	金融政策、財政政策	金融政策、金融問題、財政の機能と政策
11	現代の経済	日本経済の歩み、日本経済の諸問題	第二次世界大戦前後の日本経済、中小企業・消費者・労働問題
12	現代の経済	国際経済（1）－貿易と為替	貿易と国際収支、外国為替相場
13	現代の経済	国際経済（2）－国際経済の仕組み①	国際貿易体制
14	現代の経済	国際経済（2）－国際経済の仕組み②	自由貿易協定と経済連携協定
15	現代の政治	民主主義の基本原則	民主政治の成立、近代民主政治の基本原則
16	現代の政治 期末試験	世界の政治制度 期末試験	議院内閣制と大統領制

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	現代の政治	日本国憲法、日本の統治機構	国民主権、基本的人権と法の支配、平和主義、国会、内閣、裁判所
18	現代の政治	政党と政党政治、現代政治の諸問題	日本の政党政治、行政機能の拡大と民主化、選挙と政治参加
19	現代の国際社会	国際連合と国際機構	国際法、国際連盟、国際連合と国際機構
20	現代の国際社会	国際平和と国際協力、南北問題	国連平和維持活動、軍縮の歩み、南北問題、南南問題
21	現代の国際社会	民族問題、地球環境問題	人種・民族問題、エスニシティ、難民問題、地球環境問題と環境保全
22	現代の社会	現代社会の特質、日本の人口と少子・高齢化社会、社会保障制度	大衆社会、管理社会、情報社会、高齢社会・少子社会、sy会保障と社会福祉
23	現代の社会	多文化理解、生命倫理、不平等の是正、食料・エネルギー・環境問題	多文化主義・バイオエシックス、法の下の平等、食料問題、エネルギー問題
24	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文①（生物多様性）	生物多様性、外来種、絶滅危惧種
25	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文②（食品ロス）	食品ロス、食料問題、子ども食堂
26	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文③（少子高齢化）	少子化・高齢化・地域社会
27	大学入試二次試験対策	社会科学系小論文④（経済のグローバル化）	経済のグローバル化のメリット、デメリット
28	大学経済学への導入	ゲーム理論入門①	利得行列、囚人のジレンマ
29	大学経済学への導入	ゲーム理論入門②	戦略形、ゲームナッシュ均衡
30	大学経済学への導入	ゲーム理論入門③	展開系ゲーム
31	大学政治学への導入	政治思想・政治哲学①	自由主義と民主主義
32	大学政治学への導入	政治思想・政治哲学②	功利主義、正義

授業計画（シラバス）

科目名	キャリアデザイン I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（文系）
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①学生が進路決定できるように様々な知識を伝えていく。（主に進路について：自己分析、受験についての情報、志望理由書、面接）</p> <p>②学生が自発的に行動できるように導く。</p> <p>③学園やクラスへの帰属意識を高め、メンター、講師も巻き込んで、学生同士がお互いに高め合っている雰囲気を作る。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・メンターの紹介 ・エール学園のルール ・クラスのルール	エール学園のルールを身につける。	メンター キャリアデザイン CD
2	・面談事前調査票 ・日本の大学のランク	個人面談の準備をする。 日本の大学のランクや評価を知る	個人面談 大学ランク
3	・大学受験に英語が必要な大学と、 必要ない大学	大学受験に英語が必要な大学と、必要ない大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	英語、TOEFL、TOEIC、IELTS
4	・DiSCについて	性格診断を行い、自分について理解する。	自己分析 DiSC
5	早期出願国公立・難関私大	早めの受験雰囲気醸成する 自分の現在の持ち点を振り返る	早期出願
6	・EJUその他科目が少ない国公立大学	EJUその他科目が少ない（特に文系にとって数学）大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	数学
7	・校外学習について①	校外学習の意義とルールを学ぶ。	校外学習 クラスコミュニティ
8	・校外学習について②	校外学習を振り返って、学んだことを共有し学びを深める。	校外学習 クラスコミュニティ
9	・EJU模試講評とEJUの勉強法 ・進路オリエンについて	EJU模試講評で、強味弱みを理解し、今後の勉強方法を考える。 進路オリエンテーションについて学ぶ。	模擬試験 オリエンテーション
10	・面接練習	国公立・難関私大の面接に求められる面接マナーを理解する	面接マナー
11	・国際交流祭について①	国際交流祭の意義を学ぶ。 国際交流祭の準備をする。	国際交流祭 クラスコミュニティ
12	・国際交流祭について② ・講師アンケート	国際交流祭を振り返って、感じたことを共有し学びを深める。	国際交流祭 クラスコミュニティ
13	・面接シート内容①	勉強以外にしたいことなど、基本的な質問への答え方を理解する	勉強以外にしたいこと、経費思弁
14	・面接シート内容②	日本留学理由、その大学・学部を選んだ理由など、面接の根幹的質問への答え方を理解する	来日理由、志望理由
15	・期末試験 ・英語の試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。 英語試験への理解を深める	TOEFL、TOEIC、IELTS

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	・面接のない国公立大学	面接が苦手な場合でも、国公立大学を受験できることを理解し、受験の科目の型を学。	面接なし
17	大学受験への準備	英語・数学を使うか、EJU・二次試験・面接・小論文重視かなどの評価の配点まで含めて、条件に適した複数の適正校の受験の大切さを理解する。	受験の科目配点
18	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
19	・国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
20	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
21	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
22	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
23	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
24	・在留資格の取消 ・国公立大学募集要項	ビザのルールについて学び、留学生としての意識を高める。 国公立大学受験の準備をする	ビザ 留学生 在留資格 入国管理局 不法滞在
25	・地域清掃について（導入） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動の意義を学ぶ。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
26	・地域清掃について（実施） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動をしやりがいを感じる。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
27	・地域清掃について（振り返り） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動を通じて学んだことをまとめ共有し、学びを深める。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
28	日本の就活について	日本の就職活動について理解する	就活
29	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	
30	面接マナー等振り返り	入試直前に、再度面接マナーを振り返る	面接
31	大学進学後について（大学生活・院試・就職活動・就職後）	メンター自身の経験等を話すことで、大学進学後の具体的なイメージを持ち、前向きに受験に挑む	大学生生活
32	1年の振り返り	これまでの日本での生活を振り返り、自信を持つ	これまでの総括

授業計画（シラバス）

科目名	TOEFL受験対策
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（文系）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEFL</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>英語（国公立）</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	TOEFLとは何か	TOEFLの試験を理解する。	
2	リーディングセッション①	TOEFLのリーディングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
3	リーディングセッション②	リーディングセッション問題演習①	
4	リーディングセッション③	リーディングセッション問題演習②	
5	リスニングセッション①	TOEFLのリスニングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
6	リスニングセッション②	リスニングセッション問題演習①	
7	リスニングセッション③	リスニングセッション問題演習②	
8	ライティングセッション①	TOEFLのライティングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
9	ライティングセッション②	ライティングセッション問題演習①	
10	ライティングセッション③	ライティングセッション問題演習②	
11	スピーキングセッション①	TOEFLのスピーキングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
12	スピーキングセッション②	スピーキングセッション問題演習①	
13	スピーキングセッション③	スピーキングセッション問題演習②	
14	総合問題演習①	リーディング・リスニングセッション問題演習	
15	総合問題演習②	ライティング・スピーキングセッション問題演習	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	前期のみ	前期のみ	
18	前期のみ	前期のみ	
19	前期のみ	前期のみ	
20	前期のみ	前期のみ	
21	前期のみ	前期のみ	
22	前期のみ	前期のみ	
23	前期のみ	前期のみ	
24	前期のみ	前期のみ	
25	前期のみ	前期のみ	
26	前期のみ	前期のみ	
27	前期のみ	前期のみ	
28	前期のみ	前期のみ	
29	前期のみ	前期のみ	
30	前期のみ	前期のみ	
31	前期のみ	前期のみ	
32	前期のみ	前期のみ	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1A
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	32時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>① JLPT出題基準となる語彙、または重要度の高い語彙（頻度値・親密度値の高い語彙）を能動的に学習する。 ② ①の語彙を体系的に理解する。 ③ ①の語彙の、コロケーションを考え、類義語との使い分けができるようになる。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>JLPT N1</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>考える漢字・語彙 上級編</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	1課	導入	
2	1課	体系理解	
3	1課	類義語とコロケーション	
4	2課	導入	
5	2課	体系理解	
6	2課	類義語とコロケーション	
7	3課	導入	
8	3課	体系理解	
9	3課	類義語とコロケーション	
10	4課	導入	
11	4課	体系理解	
12	4課	類義語とコロケーション	
13	5課	導入	
14	5課	体系理解	
15	5課	類義語とコロケーション	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	6課	導入、体系理解	
18	6課	類義語とコロケーション	
19	7課	導入、体系理解	
20	7課	類義語とコロケーション	
21	8課	導入、体系理解	
22	8課	類義語とコロケーション	
23	9課	導入、体系理解	
24	9課	類義語とコロケーション	
25	10課	導入、体系理解	
26	10課	類義語とコロケーション	
27	11課	導入、体系理解	
28	11課	類義語とコロケーション	
29	12課	導入、体系理解	
30	1 2課	類義語とコロケーション	
31	総復習	総復習	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1B
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	32時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>大学進学後の授業に対応できる実践的な聴解力を身につける。読解の問題を読んでわかるだけでなく、聞いて理解し、発話、ディスカッションに発展させる力を同時に養う。</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU読解・聴解・聴読解</p>
--

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>EJU過去問</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	EJU過去問演習①	EJU過去問演習読解①	
2	EJU過去問演習②	EJU過去問演習聴読解①	
3	EJU過去問演習③	EJU過去問演習聴解①	
4	EJU過去問演習④	EJU過去問演習読解②	
5	EJU過去問演習⑤	EJU過去問演習聴読解②	
6	EJU過去問演習⑥	EJU過去問演習聴解②	
7	EJU過去問演習⑦	EJU過去問演習読解③	
8	EJU過去問演習⑧	EJU過去問演習聴読解③	
9	EJU過去問演習⑨	EJU過去問演習聴解③	
10	EJU過去問演習⑩	EJU過去問演習読解④	
11	EJU過去問演習⑪	EJU過去問演習聴読解④	
12	EJU過去問演習⑫	EJU過去問演習聴解④	
13	EJU過去問演習⑬	EJU過去問演習読解⑤	
14	EJU過去問演習⑭	EJU過去問演習聴読解⑤	
15	EJU過去問演習⑮	EJU過去問演習聴解⑤	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	EJU過去問演習⑯	EJU過去問演習読解⑥	
18	EJU過去問演習⑰	EJU過去問演習聴読解⑥	
19	EJU過去問演習⑱	EJU過去問演習聴解⑥	
20	EJU過去問演習⑲	EJU過去問演習読解⑦	
21	EJU過去問演習⑳	EJU過去問演習聴読解⑦	
22	EJU過去問演習㉑	EJU過去問演習聴解⑦	
23	グループディスカッション①	グループディスカッション①	
24	グループディスカッション②	グループディスカッション②	
25	グループディスカッション③	グループディスカッション③	
26	グループディスカッション④	グループディスカッション④	
27	グループディスカッション⑤	グループディスカッション⑤	
28	グループディスカッション⑥	グループディスカッション⑥	
29	グループディスカッション⑦	グループディスカッション⑦	
30	グループディスカッション⑧	グループディスカッション⑧	
31	グループディスカッション⑨	グループディスカッション⑨	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	外国語学習1C
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①日本語の文章に慣れること、文法知識と語彙を増やすこと、背景知識を増やすこと ②①の結果、EJU日本語科目高得点取得、大学受験対応、大学進学後の授業に対応すること</p>
--

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>上級者のための日本語読解ワークブック</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・異文化理解①	・異文化の狭間で生きる	
2	・異文化理解②	・迫られる意識改革	
3	・異文化理解③	・日本人の行動パターン	
4	・異文化理解④	・お箸の文化	
5	・環境と人間①	・暮らしの木	
6	・環境と人間②	・破局が来る前に	
7	・環境と人間③	・環境問題の発端	
8	・環境と人間④	・日本最後のトキ	
9	・ITと情報社会①	・情報社会に生きる	
10	・ITと情報社会②	・コミュニケーション下手の日本人	
11	・ITと情報社会③	・「情報伝達」という神話	
12	・ITと情報社会④	・O×式の弊害	
13	・調整	・調整	
14	調整	調整	
15	調整	調整	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	・生物と自然①	・植物の生き方	
18	・生物と自然②	海の森	
19	・科学と技術①	・科学への夢は語れるか	
20	・科学と技術②	・科学の知	
21	・科学と技術③	・研究者の戒め	
22	・現代の社会①	・貧困の定義	
23	・現代の社会②	・高度成長がもたらしたもの	
24	・現代の社会③	・高齢化社会のもう一つの視点	
25	・現代の社会④	・社会学とは何か	
26	・余暇と娯楽①	・女子マラソン	
27	・余暇と娯楽②	・メルヘンの知恵	
28	・余暇と娯楽③	・一人旅の魅力	
29	調整	調整	
30	調整	調整	
31	調整	調整	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	数学Ⅱ
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	192時限

【授業内容・到達目標】
<p>数学ⅡBⅢを学習する。</p>

【授業方針・評価方法】
<p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>

【この授業で狙える資格、検定試験】
<p>EJU数学コースⅡ</p>

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	三角関数①	弧度法	弧度法
2	三角関数②	正弦定理・余弦定理	正弦、余弦、正接
3	三角関数③	加法定理	加法定理、積、和の書きかえ
4	指数・対数関数①	指数関数①	指数の拡張
5	指数・対数関数②	指数関数②	指数関数のグラフ
6	指数・対数関数③	対数関数①	対数の性質、対数関数のグラフ
7	指数・対数関数④	対数関数②	常用対数
8	微分・積分の考え①	微積の考え①	微分係数と導関数
9	微分・積分の考え②	微積の考え②	接線、関数値の増減
10	微分・積分の考え③	積分の考え①	不定積分と定積分
11	微分・積分の考え④	積分の考え②	面積
12	微分法①	導関数	関数の和・差・積・商の関数、合成関数、逆関数
13	微分法②	導関数の応用	速度、加速度
14	積分法①	不定積分①	置換積分法
15	積分法①	不定積分①	置換積分法
16	積分法③ 期末試験	定積分① 期末試験	定積分の置換積分・奇関数・偶関数の定積分

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	積分法④	定積分②	定積分の部分積分
18	積分法⑤	積分の応用	面積、体積、長さ
19	数列①	数列とその和	等差数列、等比数列
20	数列②	漸化式と数学的帰納法	漸化式、数学的帰納法
21	ベクトル①	平面上のベクトル	ベクトルの演算、ベクトルの内積
22	ベクトル②	空間座標とベクトル	空間座標、空間ベクトル
23	複素数平面①	複素数の図表示・極形式	点の図示、偏角
24	複素数平面②	ドモアブルの定理	ドモアブルの定理
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
30	大学数学への導入	大学数学への導入	
31	大学数学への導入	大学数学への導入	
32	大学数学への導入	大学数学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	英語（国公立）
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	128時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>日本の高校生が学ぶ英文法を理解し、英文和訳・和文英訳の力を身につける。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEIC</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>TOEFL受験対策</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>高校リード問題集 英語 I</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	文型	第1文型～第5文型	
2	文の種類	平叙文、疑問文、付加疑問文、否定疑問文、命令文、感嘆文	
3	基本時制	現在時制、過去時制、未来表現、現在進行形、過去進行形、未来進行形	
4	完了形	現在完了、現在完了進行形、過去完了、過去完了進行形	
5	助動詞	助動詞の種類と用法、その他の助動詞、助動詞+完了形	
6	受動態	能動態と受動態、助動詞と受動態、受動態の時制、受動態と文型、群動詞の受動態	
7	問題練習①	まとめテスト①	
8	不定詞	基本3用法、不定詞を含む重要表現、不定詞の否定形完了形受動態、原形不定詞	
9	動名詞	動名詞の用法、動名詞と不定詞、動名詞の否定形完了形受動態意味上の主語、動名詞を含む慣用表現	
10	分詞	分詞の形容詞的用法、SVC(C=分詞)、SVOC(C=分詞)、分詞の慣用表現	
11	使役動詞知覚動詞	使役動詞、知覚動詞、分詞を伴う近く動詞	
12	分詞構文	分詞構文の用法、完了形の分詞構文、否定の分詞構文、独立分詞構文	
13	問題練習②	まとめテスト②	
14	関係代名詞	関係代名詞の格変化、thatの用法、関係代名詞の省略、関係代名詞whatの用法、関係代名詞の非限定用法	
15	関係副詞	関係副詞where,when（制限用法と非制限用法）、関係副詞why,how	
16	比較 期末試験	比較変化、原級による比較、比較級による比較、最上級による比較 期末試験	

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	問題練習③	まとめテスト③	
18	仮定法	仮定法過去、仮定法過去完了、「もし〜がなければ」	
19	接続詞	等位接続詞、従位接続詞、間接疑問文	
20	句と節	句、節、単文、重文、複文、文の書きかえ	
21	話法	時制の一致、話法の転換（平叙文命令文疑問文感嘆文）	
22	問題練習④	まとめテスト④	
23	名詞、冠詞	名詞の種類複数形所有格、不定冠詞の用法、定冠詞の用法、冠詞の位置と省略	
24	代名詞	人称代名詞、所有代名詞、再帰代名詞、支持用法、疑問代名詞、不定代名詞	
25	形容詞、副詞	形容詞の用法、数量を表す形容詞、副詞の用法と位置、疑問副詞	
26	強調、否定	強調、否定語、準否定語、部分否定、二重否定、慣用表現	
27	前置詞	前置詞の用法と種類、付帯状況のwith、群前置詞、成句を作る前置詞	
28	問題練習⑤	まとめテスト⑤	
29	発音とアクセント	発音、同音異義語、アクセント、文の強勢	
30	問題練習⑥	総合問題①、総合問題②	
31	問題練習⑦	総合問題③、総合問題④	
32	期末試験	期末試験	

授業計画（シラバス）

科目名	キャリアデザイン I
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	96時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>①学生が進路決定できるように様々な知識を伝えていく。（主に進路について：自己分析、受験についての情報、志望理由書、面接）</p> <p>②学生が自発的に行動できるように導く。</p> <p>③学園やクラスへの帰属意識を高め、メンター、講師も巻き込んで、学生同士がお互いに高め合っている雰囲気を作る。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・メンターの紹介 ・エール学園のルール ・クラスのルール	エール学園のルールを身につける。	メンター キャリアデザイン CD
2	・面談事前調査票 ・日本の大学のランク	個人面談の準備をする。 日本の大学のランクや評価を知る	個人面談 大学ランク
3	・大学受験に英語が必要な大学と、 必要ない大学	大学受験に英語が必要な大学と、必要ない大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	英語、TOEFL、TOEIC、IELTS
4	・DiSCについて	性格診断を行い、自分について理解する。	自己分析 DiSC
5	早期出願国公立・難関私大	早めの受験雰囲気醸成する 自分の現在の持ち点を振り返る	早期出願
6	・EJUその他科目が少ない国公立大学	EJUその他科目が少ない（特に文系にとって数学）大学を知り、受験の科目の型を学ぶ	数学
7	・校外学習について①	校外学習の意義とルールを学ぶ。	校外学習 クラスコミュニティ
8	・校外学習について②	校外学習を振り返って、学んだことを共有し学びを深める。	校外学習 クラスコミュニティ
9	・EJU模試講評とEJUの勉強法 ・進路オリエンについて	EJU模試講評で、強味弱みを理解し、今後の勉強方法を考える。 進路オリエンテーションについて学ぶ。	模擬試験 オリエンテーション
10	・面接練習	国公立・難関私大の面接に求められる面接マナーを理解する	面接マナー
11	・国際交流祭について①	国際交流祭の意義を学ぶ。 国際交流祭の準備をする。	国際交流祭 クラスコミュニティ
12	・国際交流祭について② ・講師アンケート	国際交流祭を振り返って、感じたことを共有し学びを深める。	国際交流祭 クラスコミュニティ
13	・面接シート内容①	勉強以外にしたいことなど、基本的な質問への答え方を理解する	勉強以外にしたいこと、経費思弁
14	・面接シート内容②	日本留学理由、その大学・学部を選んだ理由など、面接の根幹的質問への答え方を理解する	来日理由、志望理由
15	・期末試験 ・英語の試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。 英語試験への理解を深める	TOEFL、TOEIC、IELTS

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
16	・面接のない国公立大学	面接が苦手な場合でも、国公立大学を受験できることを理解し、受験の科目の型を学。	面接なし
17	大学受験への準備	英語・数学を使うか、EJU・二次試験・面接・小論文重視かなどの評価の配点まで含めて、条件に適した複数の適正校の受験の大切さを理解する。	受験の科目配点
18	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
19	・国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
20	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
21	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
22	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
23	国公立大学募集要項	国公立大学受験の準備をする	国公立大学受験
24	・在留資格の取消 ・国公立大学募集要項	ビザのルールについて学び、留学生としての意識を高める。 国公立大学受験の準備をする	ビザ 留学生 在留資格 入国管理局 不法滞在
25	・地域清掃について（導入） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動の意義を学ぶ。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
26	・地域清掃について（実施） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動をやりがいを感じる。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
27	・地域清掃について（振り返り） ・国公立大学募集要項	地域清掃などの地域貢献活動を通じて学んだことをまとめ共有し、学びを深める。 国公立大学受験の準備をする	地域貢献 地域清掃 クラスコミュニティ
28	日本の就活について	日本の就職活動について理解する	就活
29	期末試験	学んだことを振り返り、知識の定着を感じる。	
30	面接マナー等振り返り	入試直前に、再度面接マナーを振り返る	面接
31	大学進学後について（大学生活・院試・就職活動・就職後）	メンター自身の経験等を話すことで、大学進学後の具体的なイメージを持ち、前向きに受験に挑む	大学生生活
32	1年の振り返り	これまでの日本での生活を振り返り、自信を持つ	これまでの総括

授業計画（シラバス）

科目名	物理
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	160時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>物理学を学習する。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU物理</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>チャレンジ理科（物理） [改訂版]</p>
--

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	・力学① ・熱学①	・力学の基本 ・気体の法則	・運動と力 ・理想気体の状態方程式
2	・力学② ・熱学②	・速度と加速度 ・気体の状態変化	・速度、加速度 ・定積変化、変圧変化、等温変化、断熱変化
3	・力学③ ・熱学③	・落体の運動 ・熱と仕事①	・落体の運動、放物運動（斜方投射・水平投射） ・熱力学第一法則
4	・力学④ ・熱学④	・摩擦力と空気抵抗 ・モル比熱	・重力、摩擦力、抗力 ・定積モル比熱と定圧モル比熱
5	・力学⑤ ・熱学⑤	・運動の法則（いろいろな力、力のつりあい） ・熱と仕事②	・張力、弾性力、力の合成・分解 ・熱効率
6	・力学⑥ ・熱学⑥	・運動の法則（運動方程式） ・熱と仕事	・ニュートンの運動の3法則 熱力学第二法則
7	・力学⑦ ・波動①	・問題演習（運動） ・波	・静止摩擦力、動摩擦力、空気の抵抗 ・正弦波
8	・力学⑧ ・波動②	・仕事 ・音	・仕事の原理、仕事率 ・ドップラー効果
9	・力学⑨ ・波動③	・力学的エネルギー ・光	運動エネルギー、位置エネルギー ・スペクトル
10	・力学⑩ ・波動④	・仕事とエネルギーの関係 ・21世紀の物理学革命	・仕事とエネルギー
11	・力学⑪ ・原子①	・力学的エネルギー保存の法則 ・光電効果	・力学的エネルギー保存の法則 ・光電効果
12	・力学⑫ ・原子②	・問題演習（外力がする仕事） ・原子の構造	・外力 ・水素原子の構造
13	・力学⑬ ・原子③	・運動量と力積 ・原子核①	・運動量、力積 ・核反応
14	・力学⑭ ・原子④	・運動量保存の法則 ・原子核②	・運動量保存則 ・放射線、半減期
15	・力学⑮ ・電気と電磁気①	・問題演習（力積と運動量） ・電場	・力積と運動量 ・電界と電位
16	・力学⑯ ・電気と電磁気② 期末試験	・物体の衝突 ・コンデンサー① 期末試験	・衝突と分裂 ・コンデンサー

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	・力学⑬ ・電気と電磁気③	・反発係数 ・コンデンサー②	・反発係数、弾性衝突・非弾性衝突 ・誘電体
18	・力学⑭ ・電気と電磁気④	・等速円運動 ・直流回路①	・各速度、周期と回転数、向心力 ・オームの法則、ジュール熱
19	・力学⑮ ・電気と電磁気⑤	・慣性力 ・直流回路②	・慣性力、遠心力 ・キルヒホッフの法則
20	・力学⑯ ・電気と電磁気⑥	・単振動 ・電流と磁場	・単振動、ばね振り子、単振り子 ・電界、ローレンツ力
21	・力学⑰ ・電気と電磁気⑦	・万有引力の法則 ・電磁誘導と電磁波	・ケプラーの法則、 ・ファラデーの電磁誘導の法則、自己誘導
22	・力学⑱ ・電気と電磁気⑧	・剛体の力学 ・交流回路と電磁波	・力のモーメント、合力、偶力、剛体のつりあい ・リアクタンス
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
30	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
31	大学物理学への導入	大学物理学への導入	
32	大学物理学への導入	大学物理学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	化学
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	160時限

【授業内容・到達目標】
化学を学習する。

【授業方針・評価方法】
出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。

【この授業で狙える資格、検定試験】
EJU化学

【他科目・他クラスとの関連可能要素】

【使用テキスト・教材、参考文献】
エクセル化学総合版 新課程

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	有機化学	有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、	異性体、元素分析、組成式、炭化水素の反応経路図
2	有機化学	酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物	アルコール、エステル、セッケン、芳香族炭化水素、フェノール類
3	物質の変化	モル計算、溶液の濃度	原子量・分子量・式量、物質質量、モル質量、モル濃度
4	物質の変化	結晶格子、物質の三態	結晶、気体、液体、個体、状態変化
5	物質	気体	ボイル・シャルルの法則
6	物質	気体	気体の状態方程式
7	物質	固体の溶解度	飽和溶液、再結晶
8	物質	気体の溶解度	ヘンリーの法則
9	物質	希薄溶液	希薄溶液
10	物質	酸・塩基	水素イオン、中和
11	物質	熱化学	反応熱、ヘスの法則
12	物質	化学反応速度	反応速度式
13	物質	化学平衡	化学平衡の法則
14	物質	化学平衡	ルシャトリエの原理
15	物質	酸化還元	酸化数、酸化剤と還元剤、酸化還元反応
16	物質 期末試験	電池・電気分解 期末試験	ダニエル電池、陽極・陰極、ファラデーの法則

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	無機化学	無機物質	非金属元素、典型金属元素、遷移元素
18	無機化学	無機物質	金属イオンの分離と推定、無機物質と人間生活
19	高分子化合物	天然分子化学	糖
20	高分子化合物	天然分子化学	アミノ酸とタンパク質・核酸
21	高分子化合物	合成高分子化学	合成繊維、合成樹脂、合成ゴム
22	高分子化合物	合成高分子化学	機能性高分子化合物、有機化合物と人間生活
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学化学への導入	大学化学への導入	
30	大学化学への導入	大学化学への導入	
31	大学化学への導入	大学化学への導入	
32	大学化学への導入	大学化学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	生物
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	160時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>生物学を学習する。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>EJU生物</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p>

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	細胞と遺伝子①	生物の多様性と共通性	細胞、顕微鏡とマイクロメーター、ATPと酵素、光合成と呼吸
2	生命現象と物質①	細胞と分子①	タンパク質、細胞膜と細胞骨格、抗体と生体防御
3	生命現象と物質①	細胞と分子①	発酵、細菌の炭酸同化、窒素同化、
4	細胞と遺伝子②	遺伝子とそのはたらき	DNAの構造、ゲノム、遺伝情報
5	生命現象と物質①	遺伝情報とその発見	DNAとその複製、形質発現と調節、バイオテクノロジー
6	生殖と発生①	生殖と遺伝	減数分裂と染色体、染色体と遺伝子組換え
7	生殖と発生②	発生とそのしくみ	卵割、誘導、形態形成と遺伝子、植物の生殖と発生
8	生物の体内環境の維持①	体内環境	体液、細胞膜、腎臓と肝臓
9	生物の体内環境の維持②	体内環境の調節と免疫	自律神経、ホルモン、免疫
10	生物の環境応答①	動物の刺激の受容と反応	ニューロン、受容器、中枢神経系と末梢神経系、効果器
11	生物の環境応答①	植物の環境応答	刺激に対する植物の反応
12	生物の環境応答①	植物の環境応答	発芽と成長の調節
13	生物の多様性と生態系①	植生とその移り変わり	植物の遷移
14	生物の多様性と生態系①	植生とその移り変わり	気候とバイオーム
15	生物の多様性と生態系②	生態系とその保全	食物連鎖、物質循環とエネルギーの流れ
16	生物の多様性と生態系② 期末試験	生態系とその保全 期末試験	生態系の平衡と人間活動

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
17	生態系と環境①	生物群衆と生態系	個体群と環境、個体群内・個体群間の相互作用
18	生態系と環境①	生物群衆と生態系	生態系の物質収支
19	生物の進化と系統①	生物の起源と進化	海での生物の誕生、陸への進出
20	生物の進化と系統①	生物の起源と進化	進化の証拠、進化の仕組み
21	生物の進化と系統①	生物の系統と分類	細菌ドメインと古細菌ドメイン
22	生物の進化と系統①	生物の系統と分類	真核生物ドメイン（原生物界・植物界・菌界・動物界）
23	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
24	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
25	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
26	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
27	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
28	大学入試二次試験対策	大学入試二次試験対策	
29	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
30	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
31	大学生物学への導入	大学生物学への導入	
32	大学生物学への導入	大学生物学への導入	

授業計画（シラバス）

科目名	TOEFL受験対策
学年	1

学科・コース	応用日本語学科（国公立大学進学コース1年制）（理系）
時限	64時限

<p>【授業内容・到達目標】</p> <p>TOEFLの試験を理解し、受験準備をする。</p>

<p>【授業方針・評価方法】</p> <p>出席、平常点、試験の総合評価として学校の基準によりABCDEの5段階評価とする。Eは単位認定不可とする。</p>
--

<p>【この授業で狙える資格、検定試験】</p> <p>TOEFL</p>

<p>【他科目・他クラスとの関連可能要素】</p> <p>英語（国公立）</p>
--

<p>【使用テキスト・教材、参考文献】</p> <p>なし</p>

学習計画（授業スケジュール）

週目	授業課題（テーマ）	学習目標	キーワード
1	TOEFLとは何か	TOEFLの試験を理解する。	
2	リーディングセッション①	TOEFLのリーディングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
3	リーディングセッション②	リーディングセッション問題演習①	
4	リーディングセッション③	リーディングセッション問題演習②	
5	リスニングセッション①	TOEFLのリスニングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
6	リスニングセッション②	リスニングセッション問題演習①	
7	リスニングセッション③	リスニングセッション問題演習②	
8	ライティングセッション①	TOEFLのライティングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
9	ライティングセッション②	ライティングセッション問題演習①	
10	ライティングセッション③	ライティングセッション問題演習②	
11	スピーキングセッション①	TOEFLのスピーキングセッションの出題形式や傾向を理解する。	
12	スピーキングセッション②	スピーキングセッション問題演習①	
13	スピーキングセッション③	スピーキングセッション問題演習②	
14	総合問題演習①	リーディング・リスニングセッション問題演習	
15	総合問題演習②	ライティング・スピーキングセッション問題演習	
16	期末試験	期末試験	

週目	授業課題 (テーマ)	学習目標	キーワード
17	前期のみ	前期のみ	
18	前期のみ	前期のみ	
19	前期のみ	前期のみ	
20	前期のみ	前期のみ	
21	前期のみ	前期のみ	
22	前期のみ	前期のみ	
23	前期のみ	前期のみ	
24	前期のみ	前期のみ	
25	前期のみ	前期のみ	
26	前期のみ	前期のみ	
27	前期のみ	前期のみ	
28	前期のみ	前期のみ	
29	前期のみ	前期のみ	
30	前期のみ	前期のみ	
31	前期のみ	前期のみ	
32	前期のみ	前期のみ	